

IV. 調査結果の分析

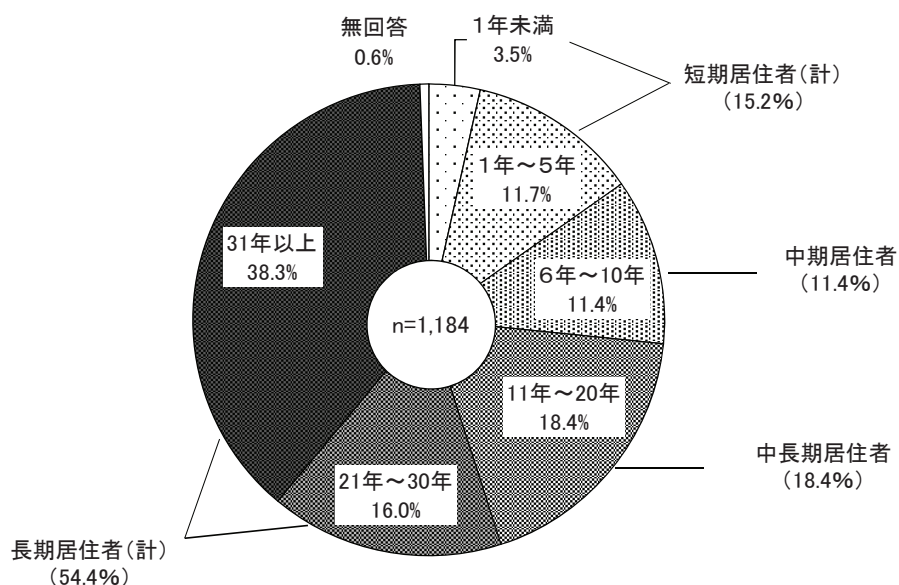
1 区の施策および評価について

(1) 居住年数

◇『長期居住者』が5割台半ば

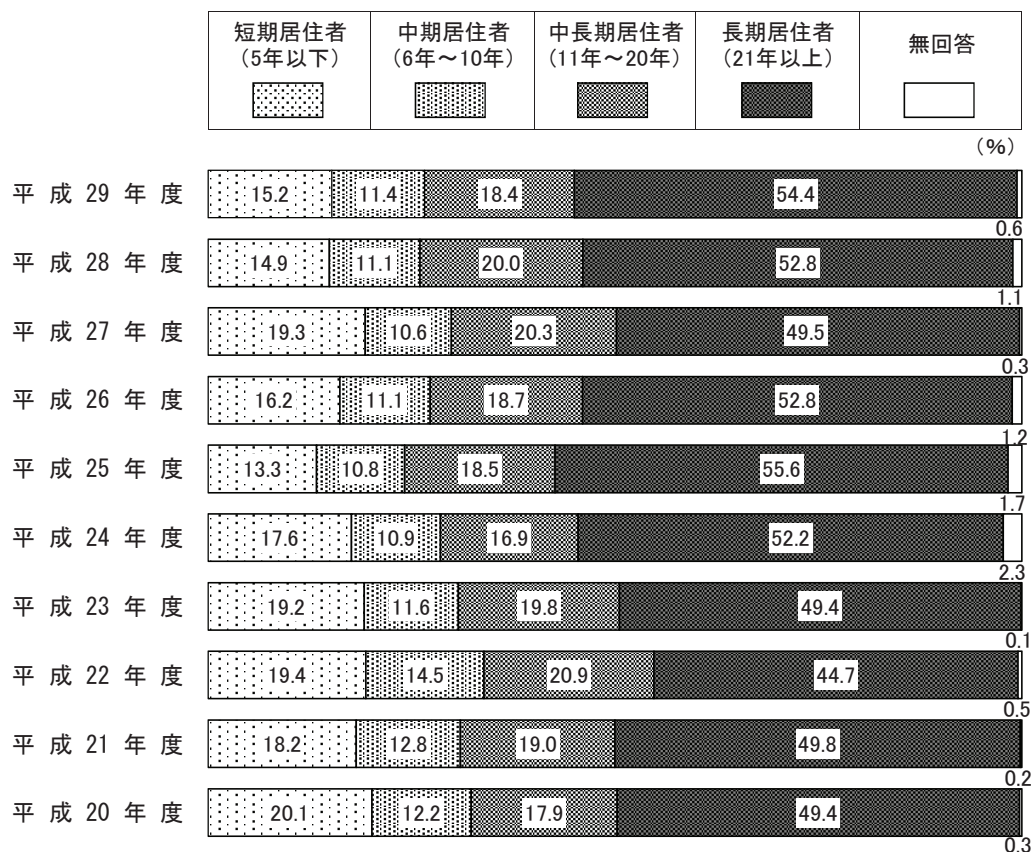
問1 あなたは、練馬区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

図1-1-1 居住年数



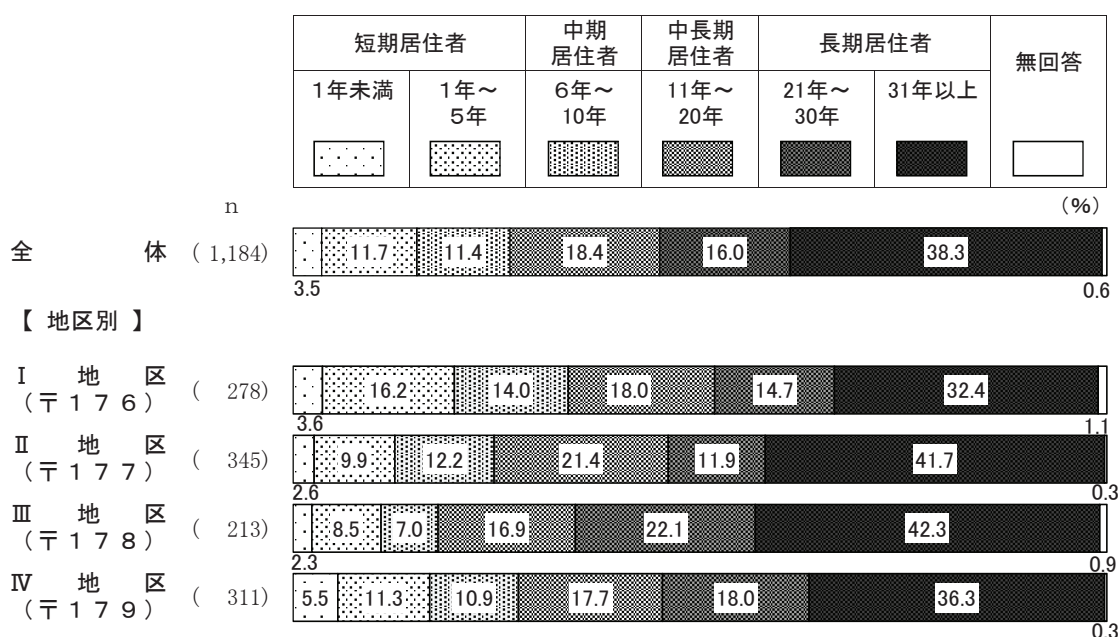
練馬区に住んで何年になるか聞いたところ、「31年以上」(38.3%)と「21年～30年」(16.0%)を合わせた『長期居住者』(54.4%)が5割台半ばとなっている。また、「11年～20年」の『中長期居住者』(18.4%)が2割近く、「6年～10年」の『中期居住者』(11.4%)が1割台、「1年～5年」(11.7%)と「1年未満」(3.5%)を合わせた『短期居住者』(15.2%)が1割台半ばとなっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住年数—過年度比較



過去の調査と比較すると、『長期居住者（21年以上）』は前回調査（平成28年度）から1.6ポイント増加し、過去9年と同様、最も多くの割合を占めている。（図1-1-2）

図 1-1-3 居住年数—地区別



地区別にみると、『長期居住者（21年以上）』はⅢ地区（〒178）で6割台半ばと最も多くなっている。『短期居住者（5年以下）』はⅠ地区（〒176）で約2割と多くなっている。

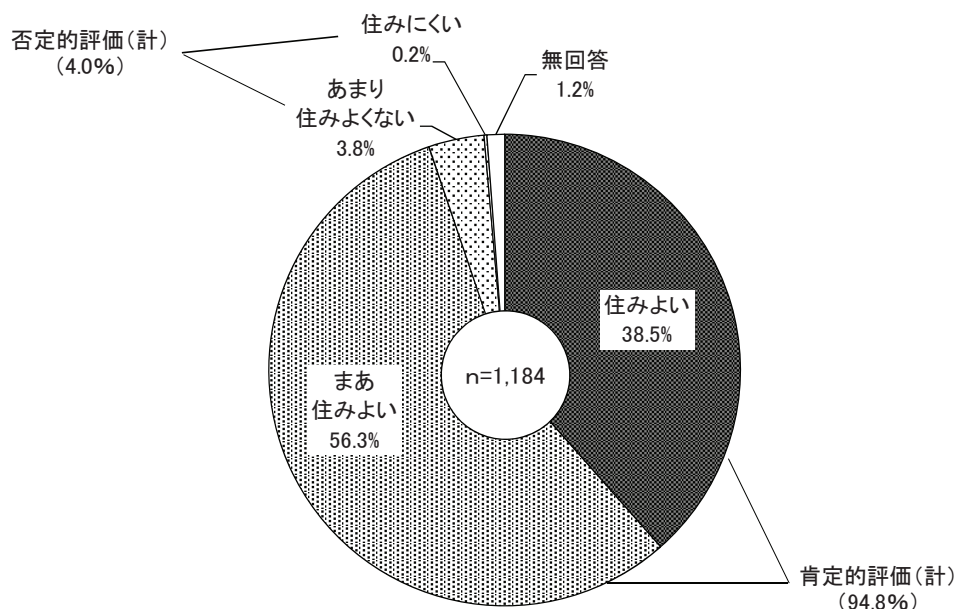
（図1-1-3）

(2) 住みごち

◇『肯定的評価』が9割台半ば

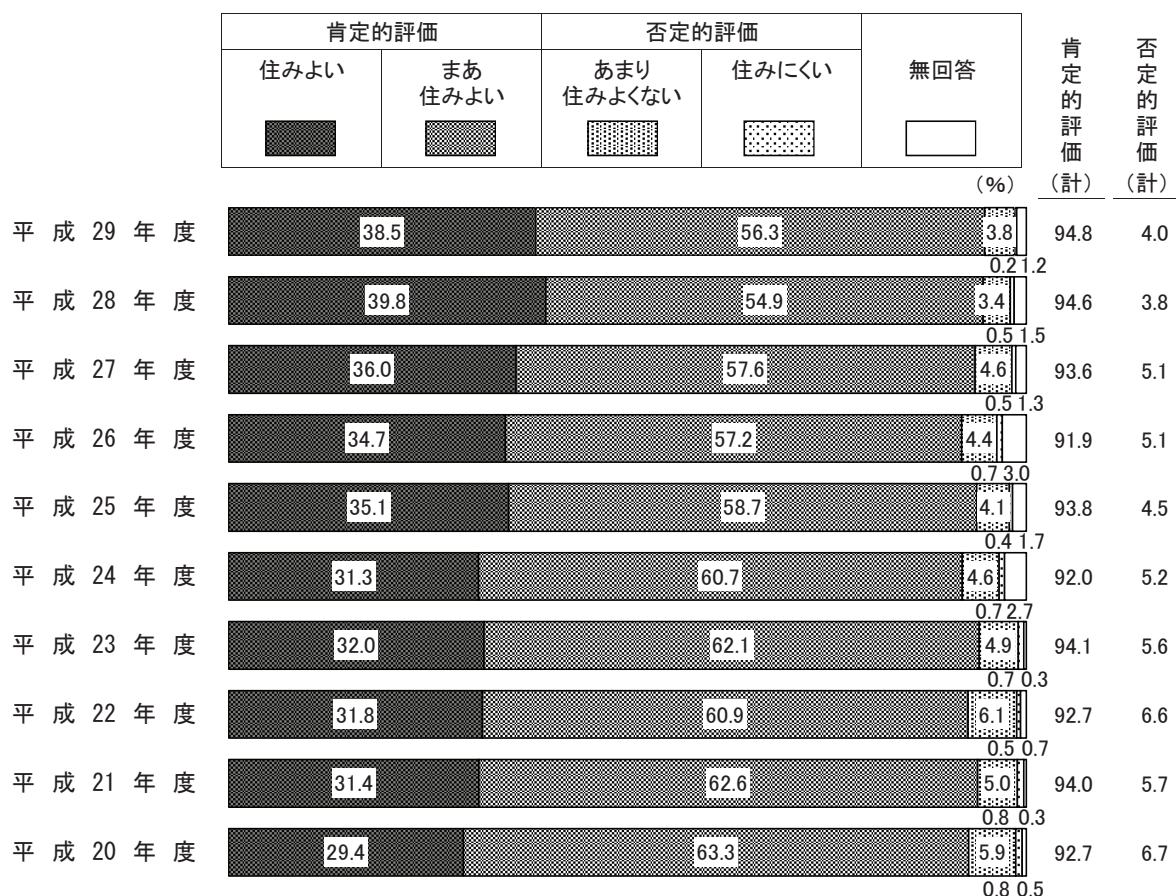
問2 あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか。(○は1つ)

図1-2-1 住みごち



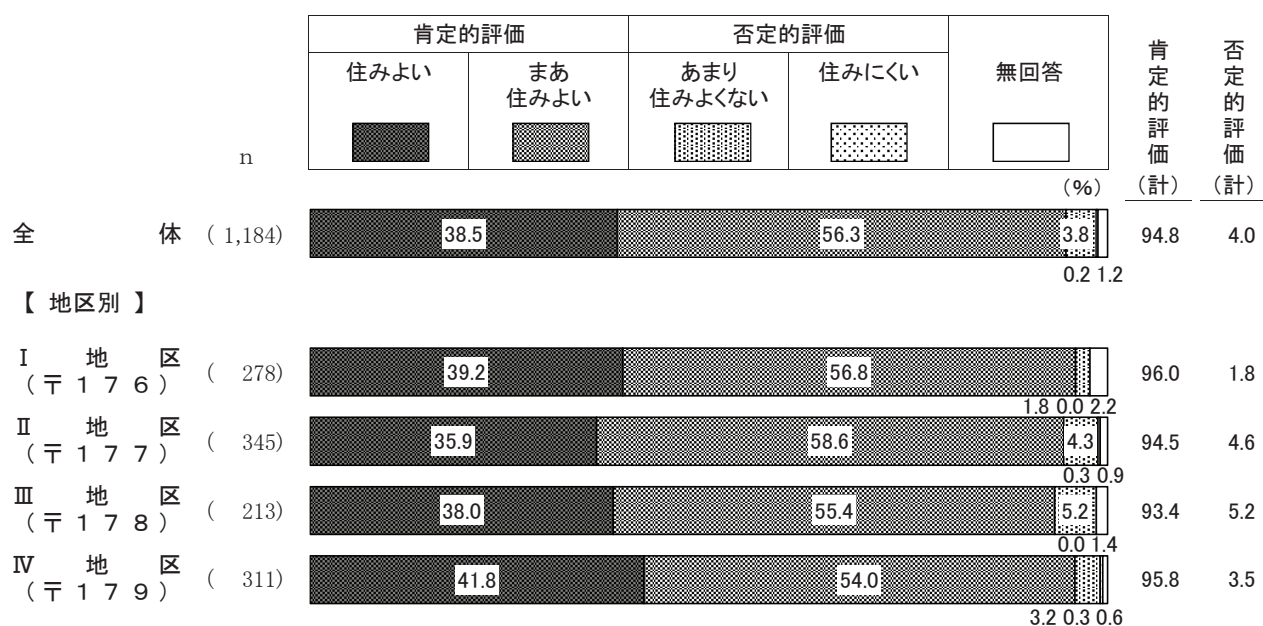
練馬区の住みごちを聞いたところ、「住みよい」(38.5%)が4割近く、「まあ住みよい」(56.3%)が5割台半ばで、この2つを合わせた『肯定的評価』(94.8%)が9割台半ばを占めている。一方、「あまり住みよくない」(3.8%)、「住みにくい」(0.2%)を合わせた『否定的評価』(4.0%)は1割に満たない。(図1-2-1)

図1-2-2 住みごころー過年度比較



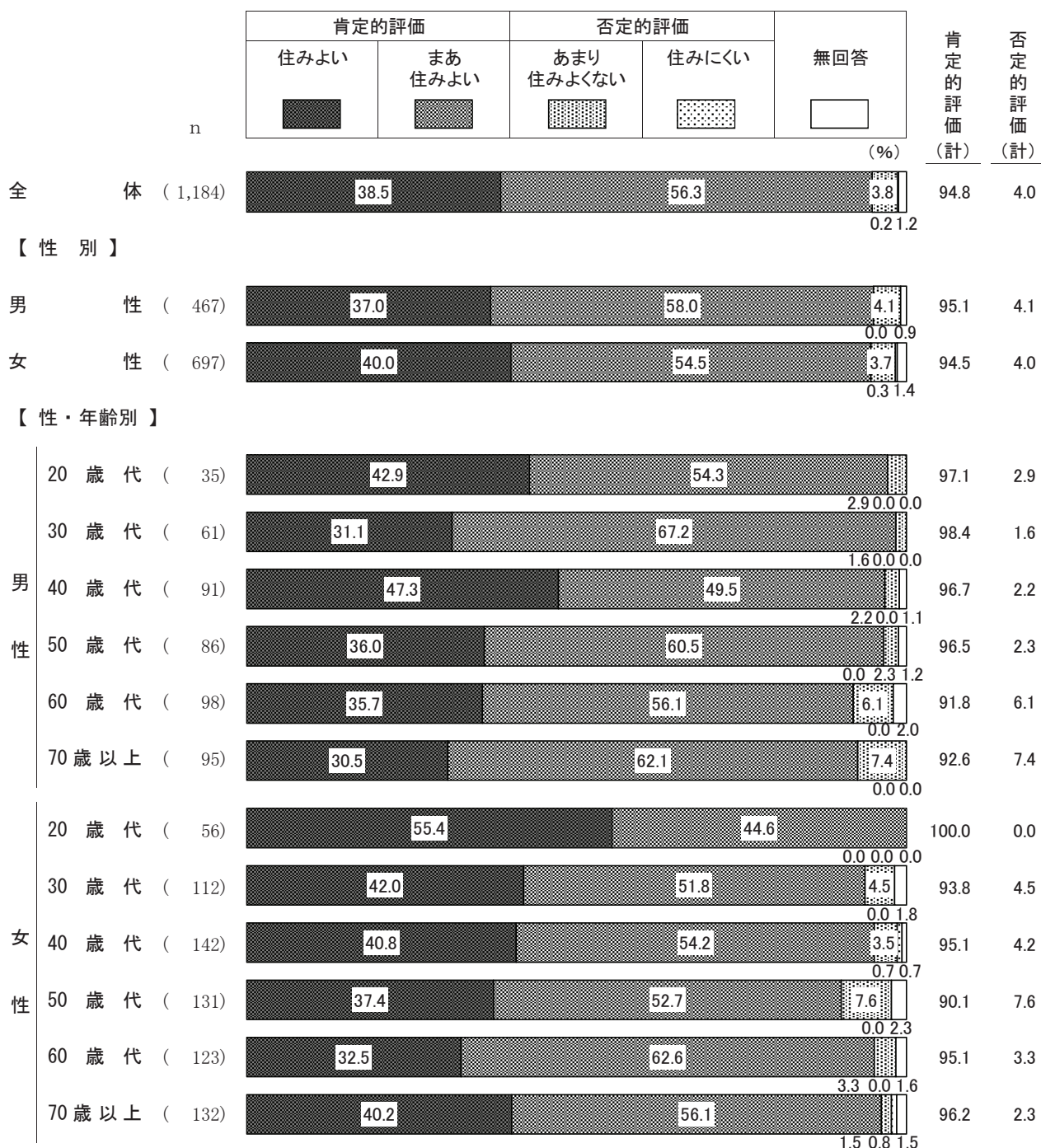
過去の調査と比較すると、『肯定的評価』は平成20年度以降いずれも9割以上となっている。(図1-2-2)

図1-2-3 住みごころー地区別



地区別にみると、『肯定的評価』はすべての地区で9割台となっている。(図1-2-3)

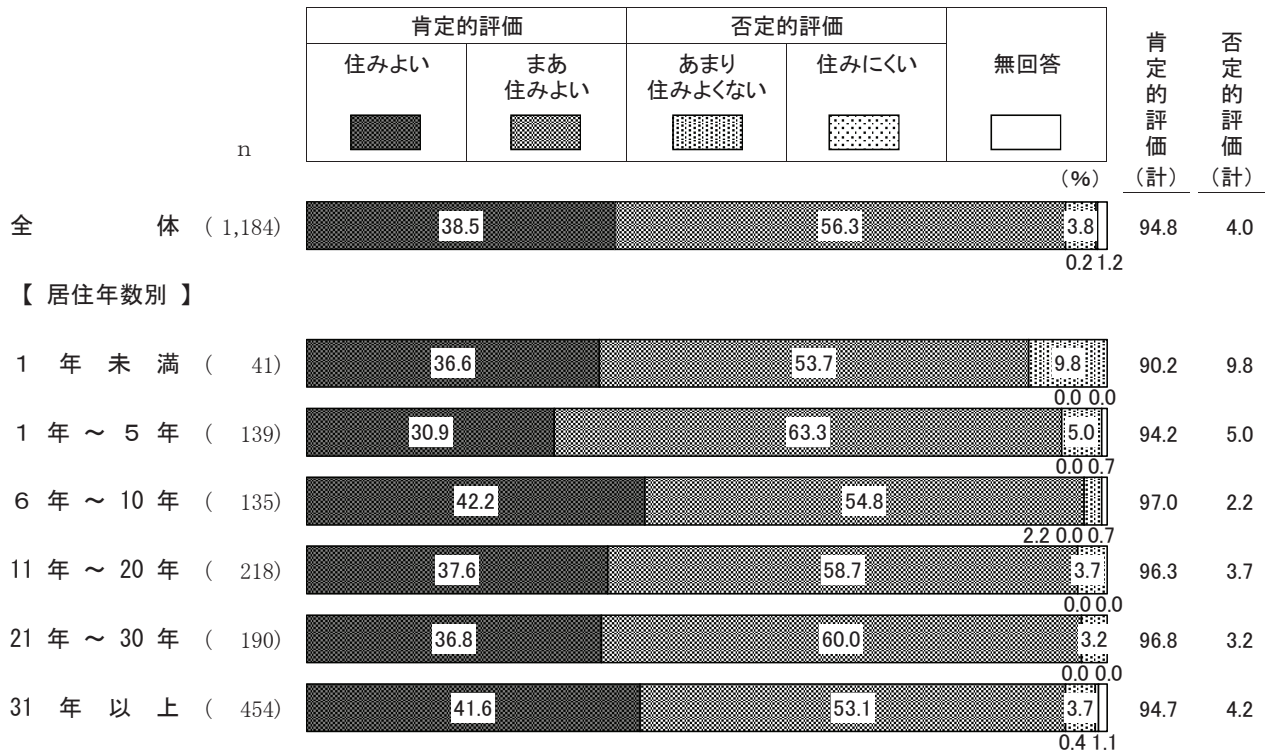
図1-2-4 住みごころ—性別／性・年齢別



性別にみると、男女ともに『肯定的評価』は9割台半ばとなっている。

性・年齢別にみると、「住みよい」は女性20歳代で5割台半ばと多くなっている。また、『肯定的評価』はすべての性・年代で9割台以上となっている。(図1-2-4)

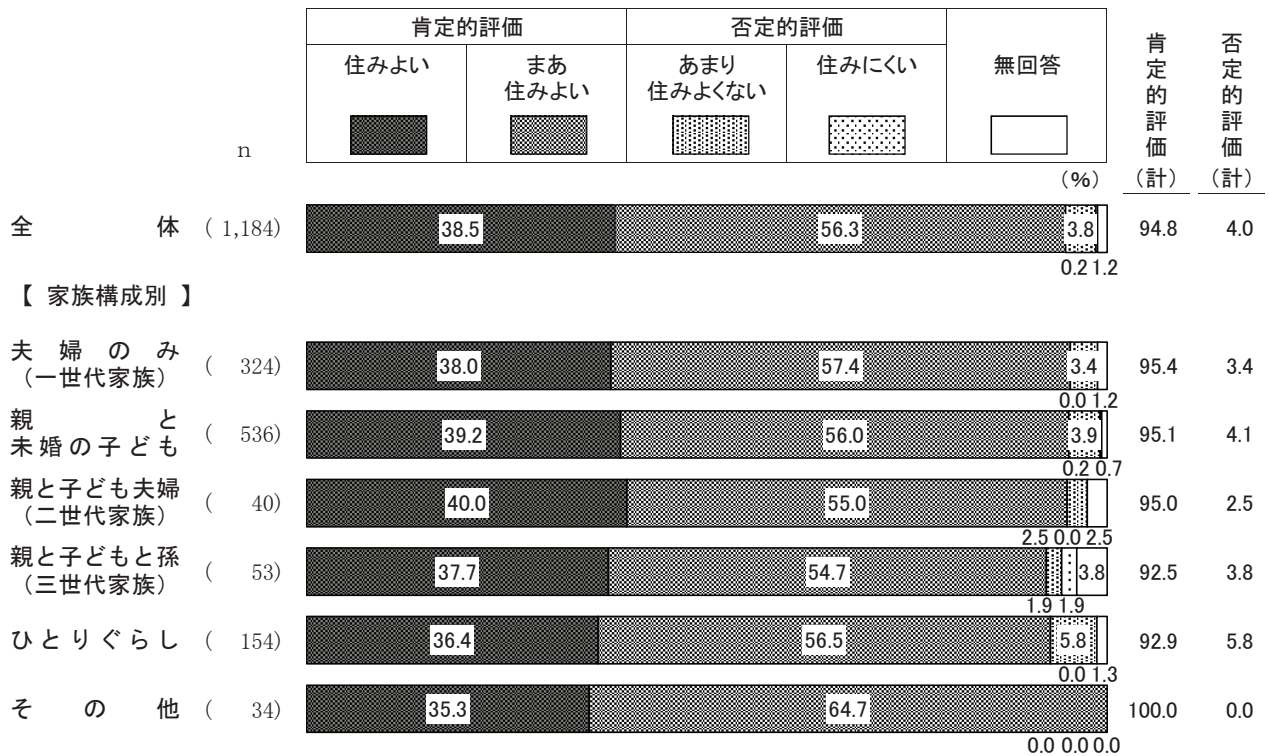
図 1-2-5 住みごち—居住年数別



居住年数別にみると、『肯定的評価』はすべての居住年数で9割台となっている。

(図 1-2-5)

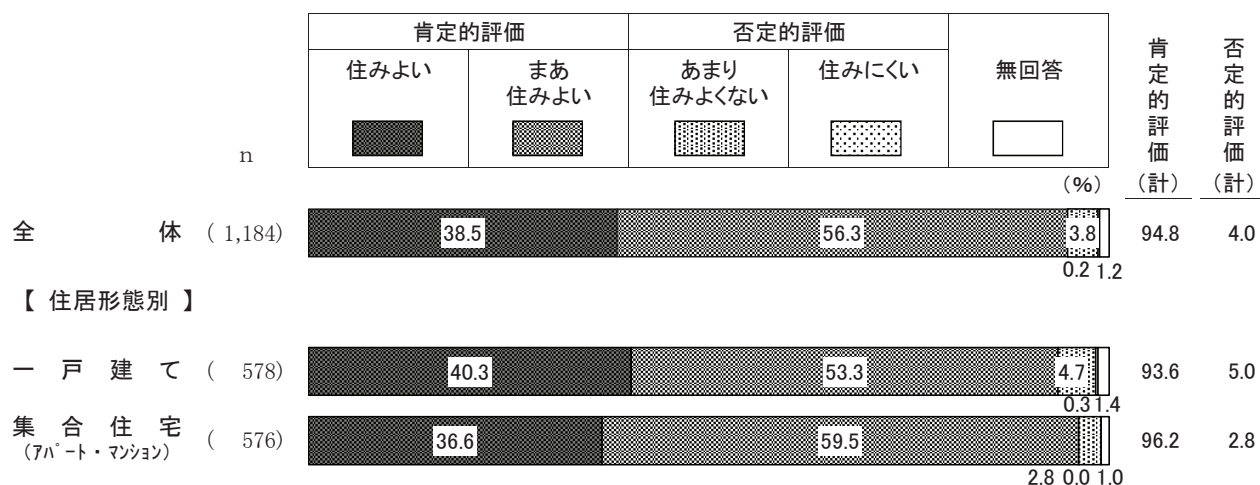
図 1-2-6 住みごち—家族構成別



家族構成別にみると、『肯定的評価』はすべての家族構成で9割台となっている。

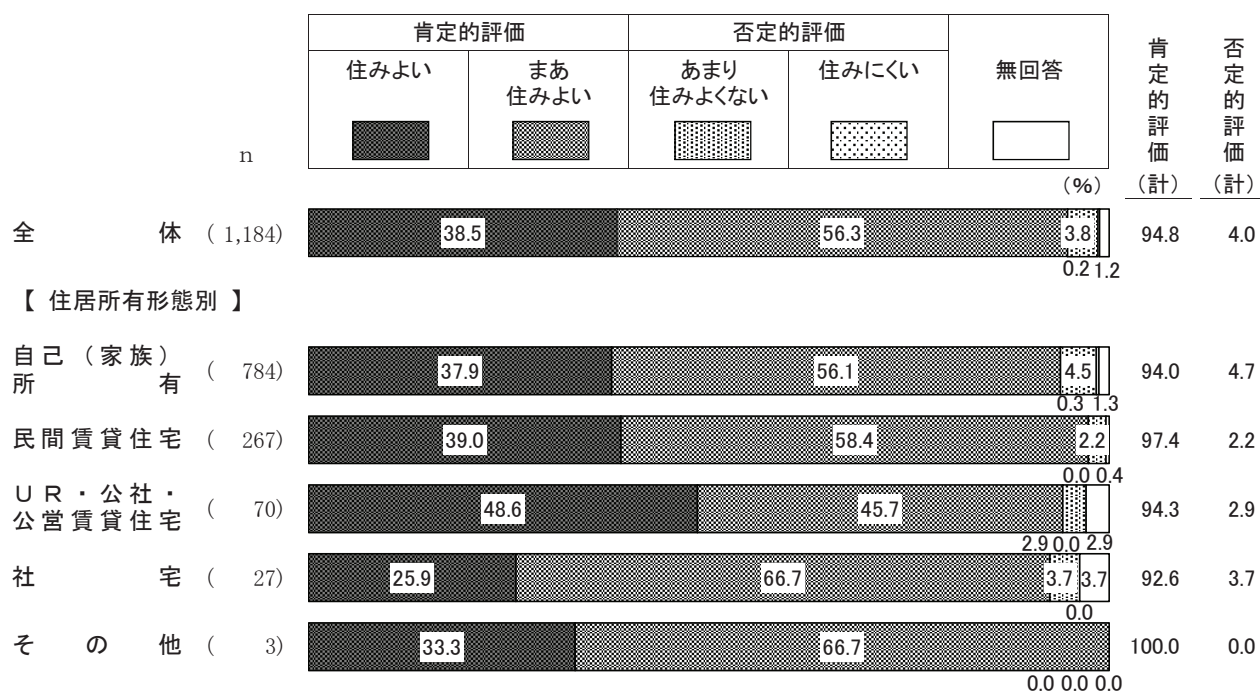
(図 1-2-6)

図1-2-7 住みごころ—住居形態別



住居形態別にみると、「住みよい」は一戸建ての方が3.7ポイント高く、約4割となっている。(図1-2-7)

図1-2-8 住みごころ—住居所有形態別



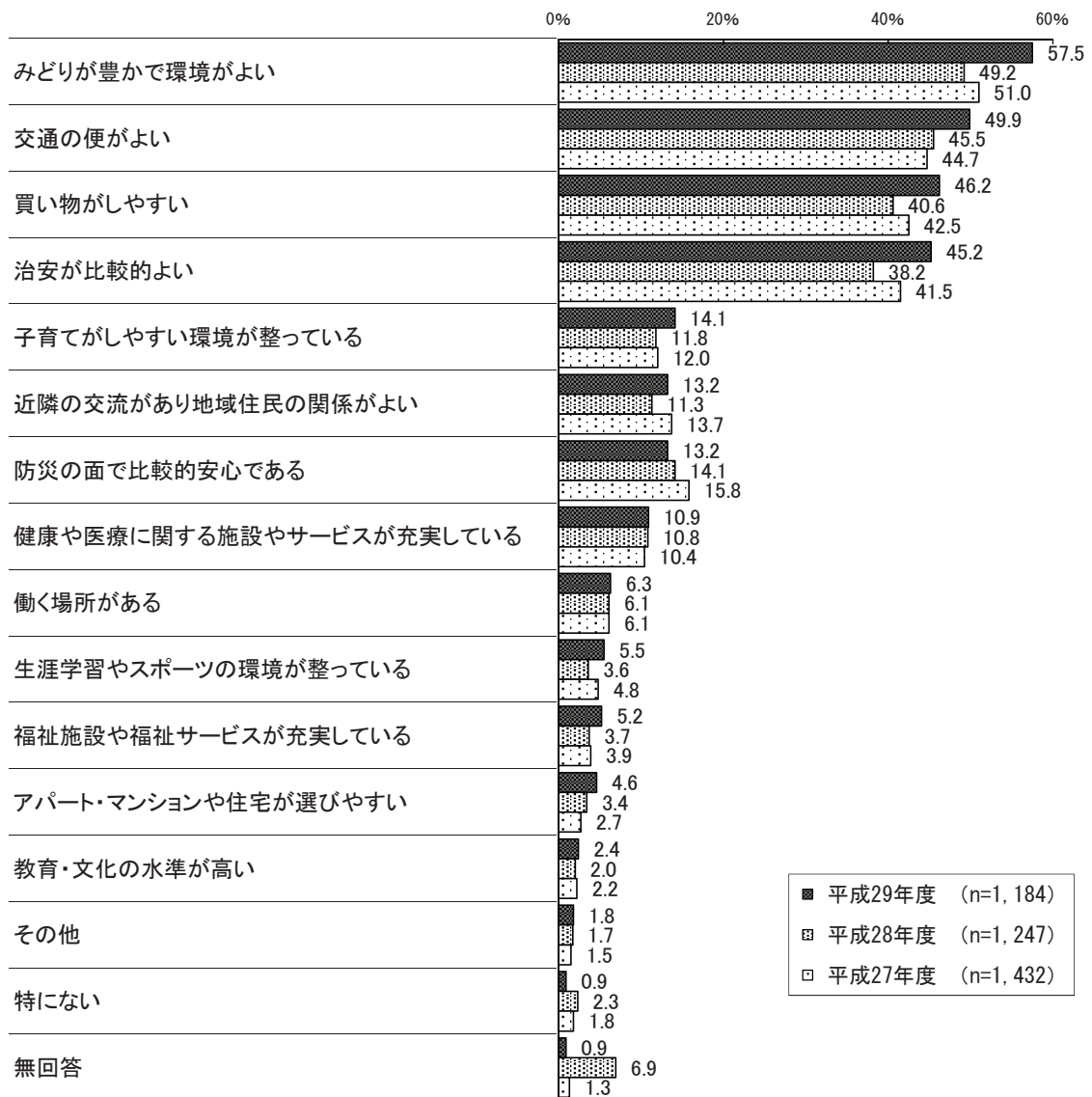
住居所有形態別にみると、「住みよい」はUR・公社・公営賃貸住宅で5割近くと多くなっている。『肯定的評価』はすべての住居所有形態で9割台となっている。(図1-2-8)

(3) 練馬区が住みよいと感じるところ

◇「みどりが豊かで環境がよい」が6割近く、「交通の便がよい」が約5割

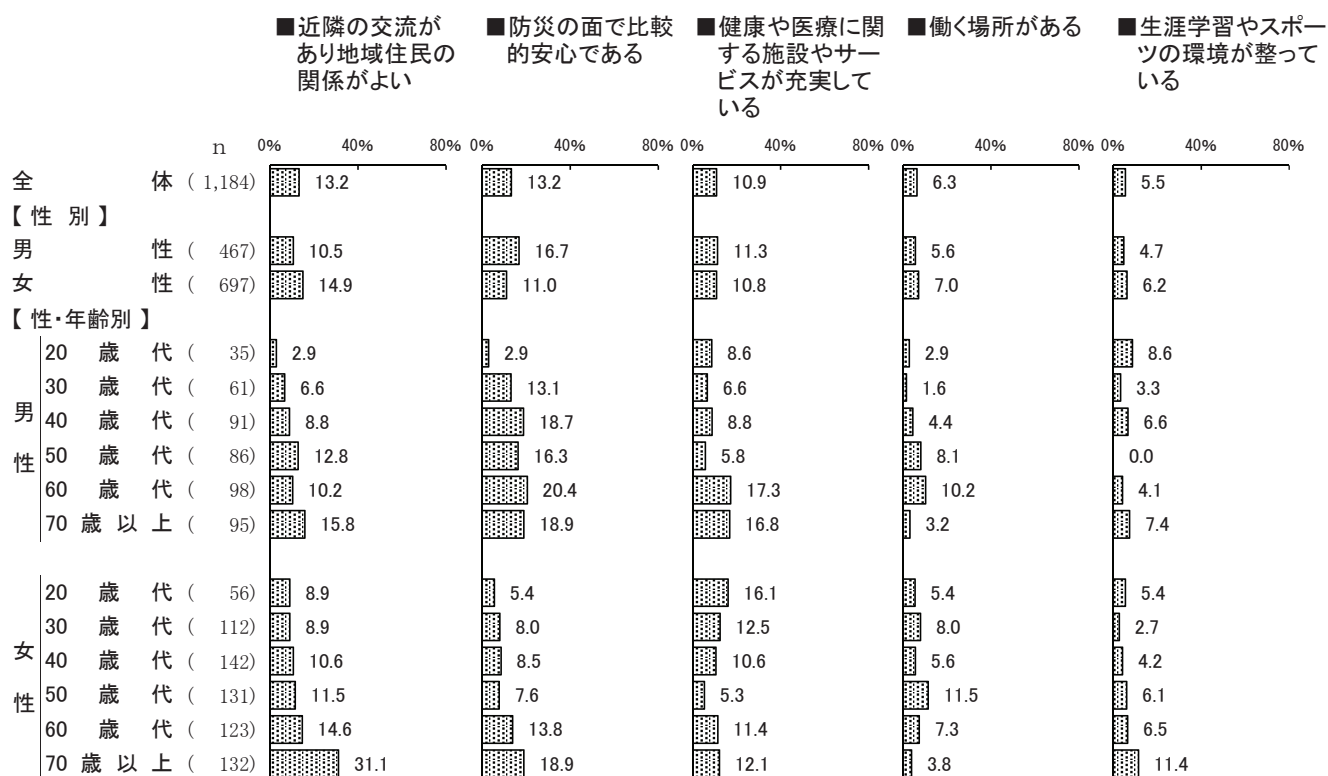
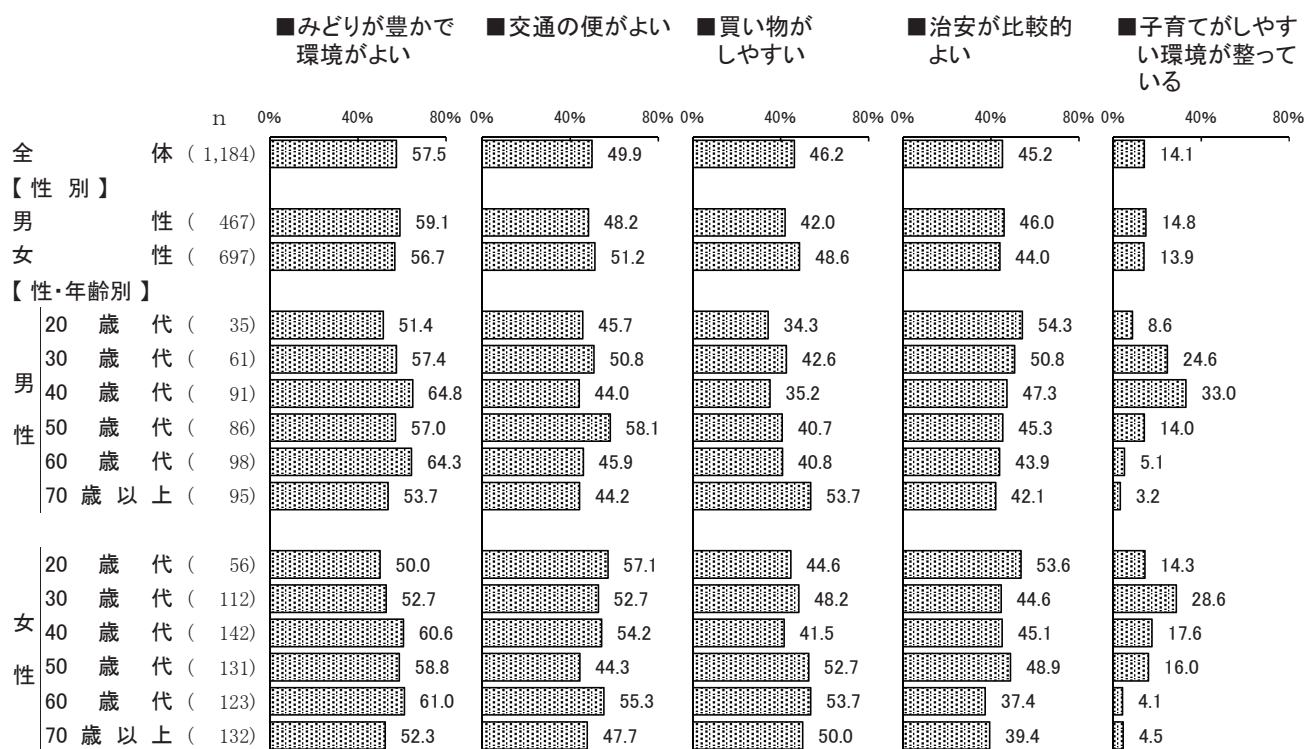
問3 あなたが、練馬区が住みよいと感じるところは、どんなところですか。
次の中から住みよいと感じることを3つまで選んで、右の欄に番号をご記入
ください。(3つまで)

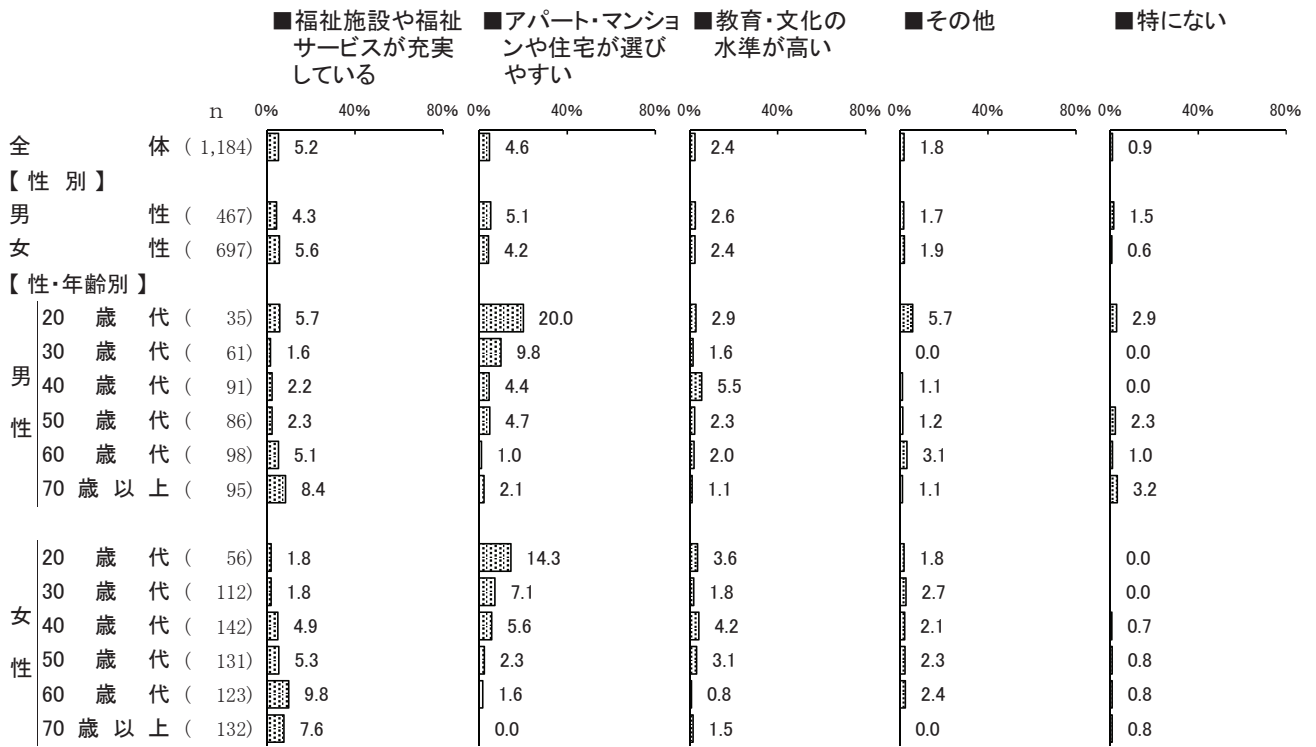
図1-3-1 練馬区が住みよいと感じるところ



練馬区が住みよいと感じるところを聞いたところ、「みどりが豊かで環境がよい」(57.5%)が6割近くと最も多く、次いで「交通の便がよい」(49.9%)、「買い物がしやすい」(46.2%)、「治安が比較的よい」(45.2%)、「子育てがしやすい環境が整っている」(14.1%)などの順となっている。(図1-3-1)

図1-3-2 練馬区が住みよいと感じるところ—性別／性・年齢別

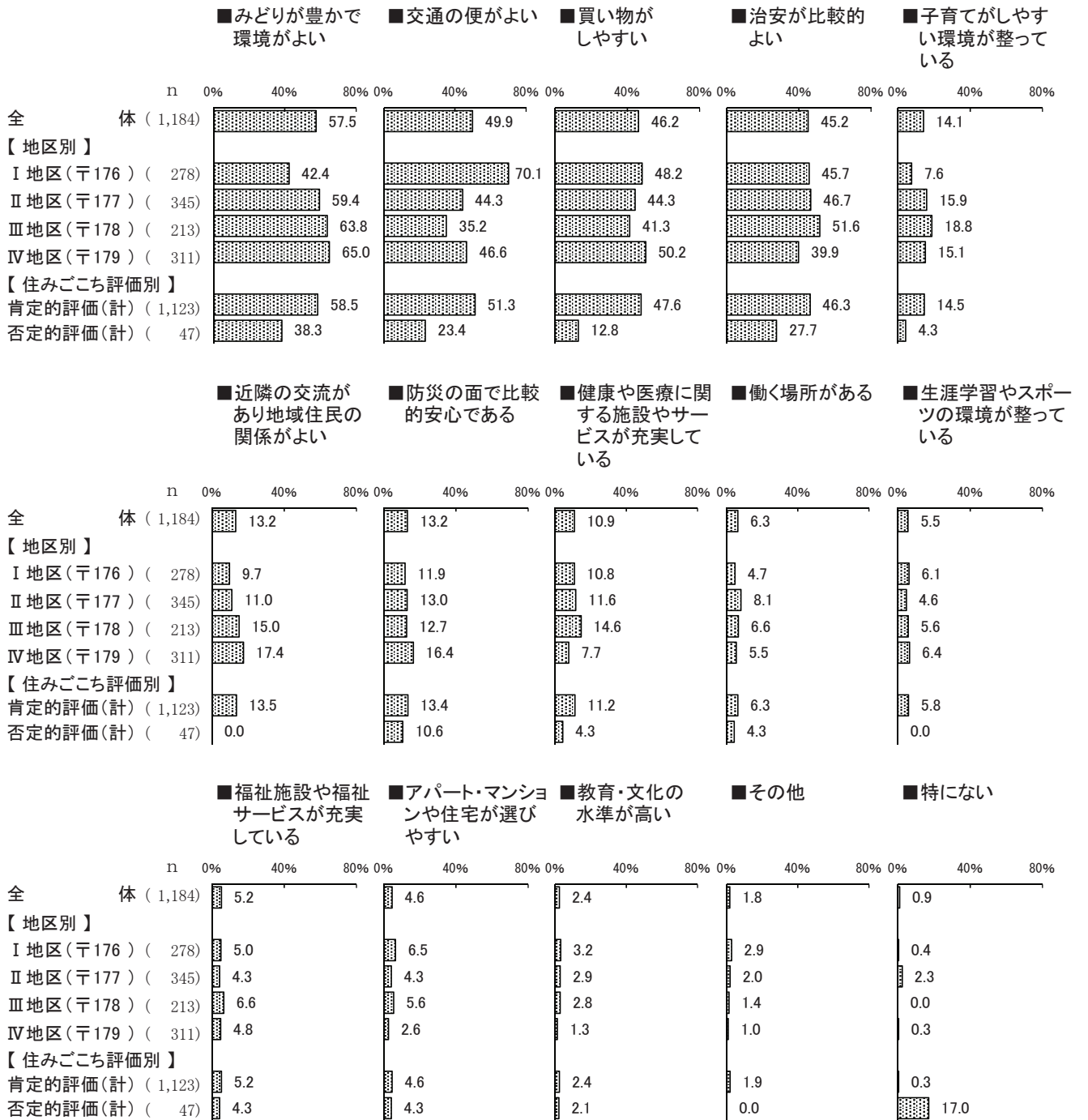




性別にみると、「買い物しやすい」は女性の方が6.6ポイント、「防災の面で比較的安心である」は男性の方が5.7ポイント、「近隣の交流があり地域住民の関係がよい」は女性の方が4.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」は男性40歳代・60歳代、女性40歳代・60歳代で6割を超えて多くなっている。「治安が比較的よい」は男女ともに概ね年代が下がるほど割合が多く、「近隣の交流があり地域住民の関係がよい」や「防災の面で比較的安心である」は男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多い傾向となっている。（図1-3-2）

図 1-3-3 練馬区が住みよいと感じるところ—地区別／住みごち評価別



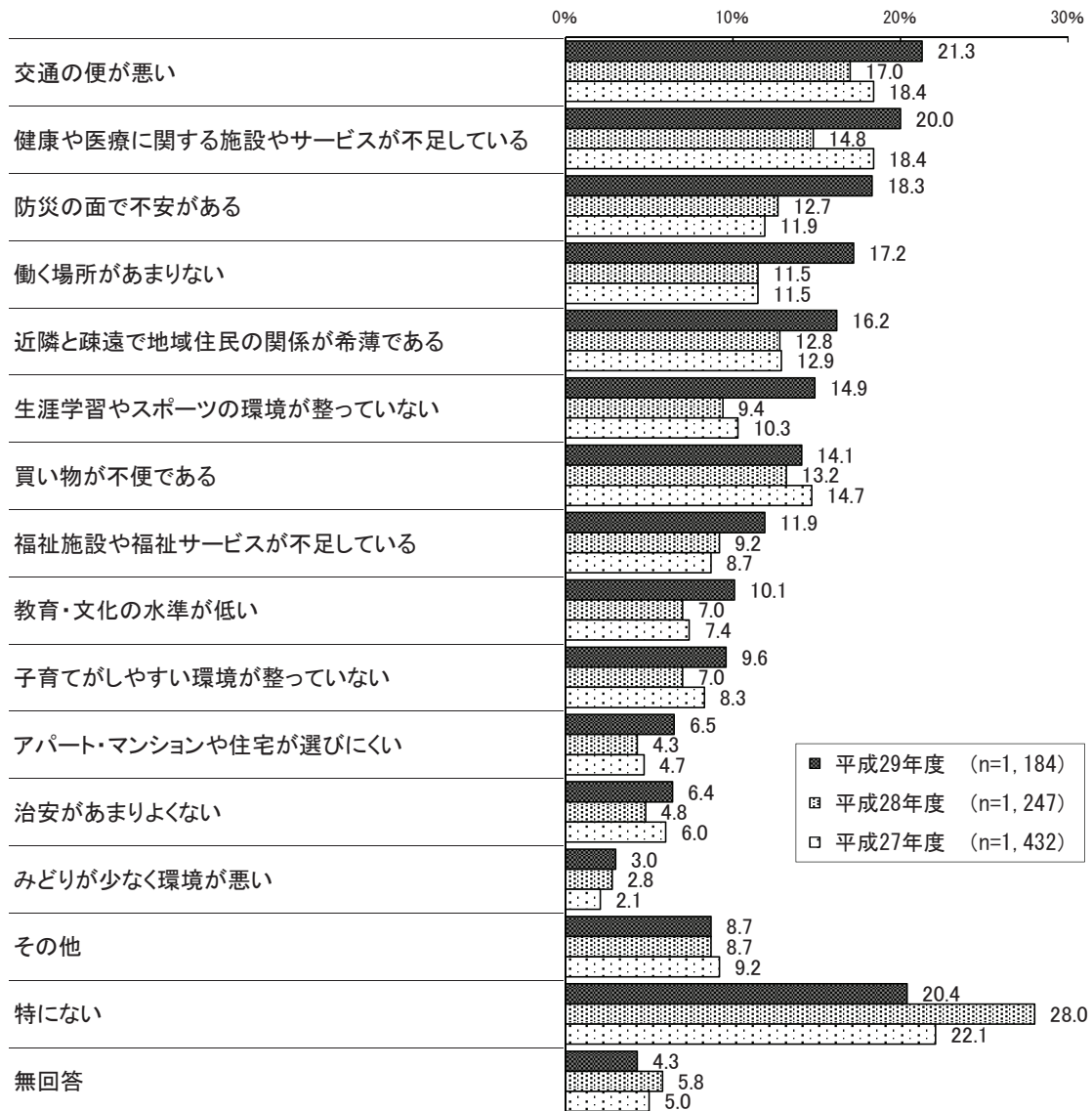
地区別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」はIII地区（〒178）、IV地区（〒179）で6割を超えて多くなっている。「交通の便がよい」はI地区（〒176）で約7割と多くなっている。（図1-3-3）

(4) 練馬区が住みにくいと感ずるところ

◇「交通の便が悪い」「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」がそれぞれ2割台

問4 では反対に、あなたが、練馬区が住みにくいと感ずるところは、どんなところですか。次の中から住みにくいと感ずることを3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。(3つまで)

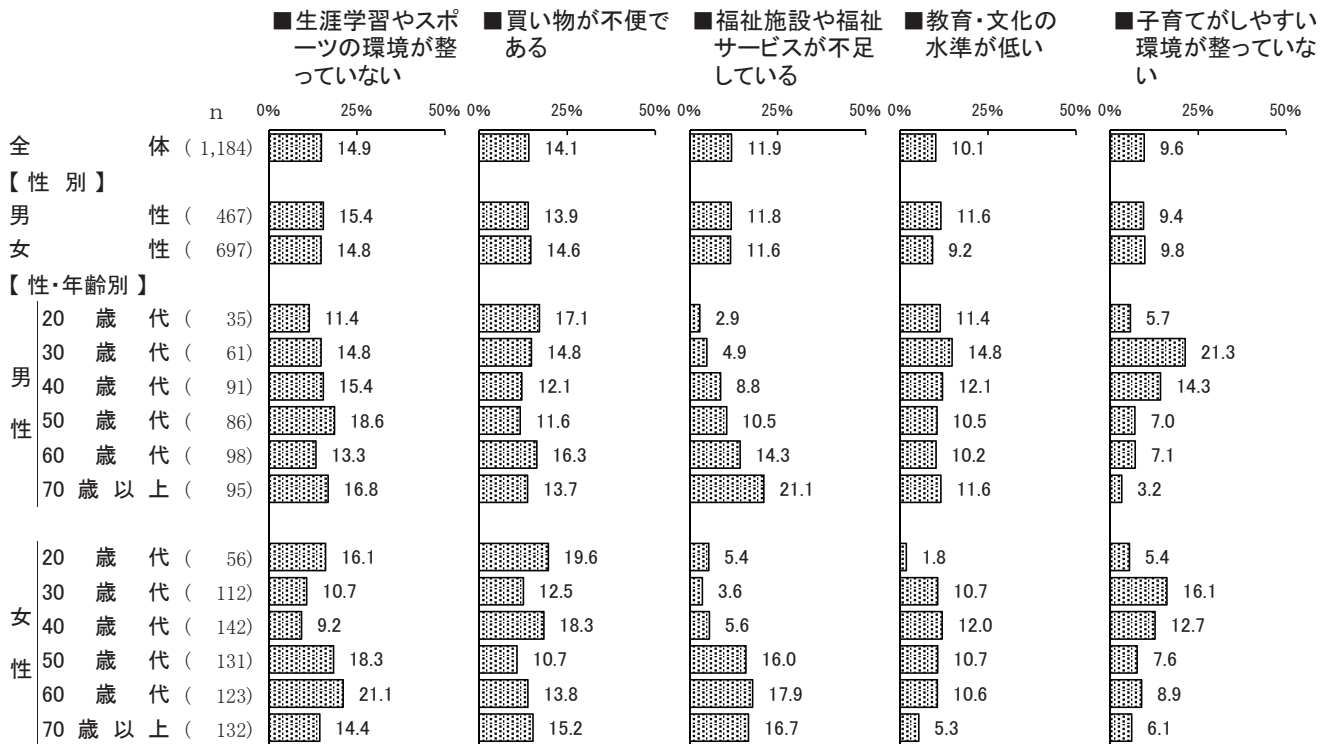
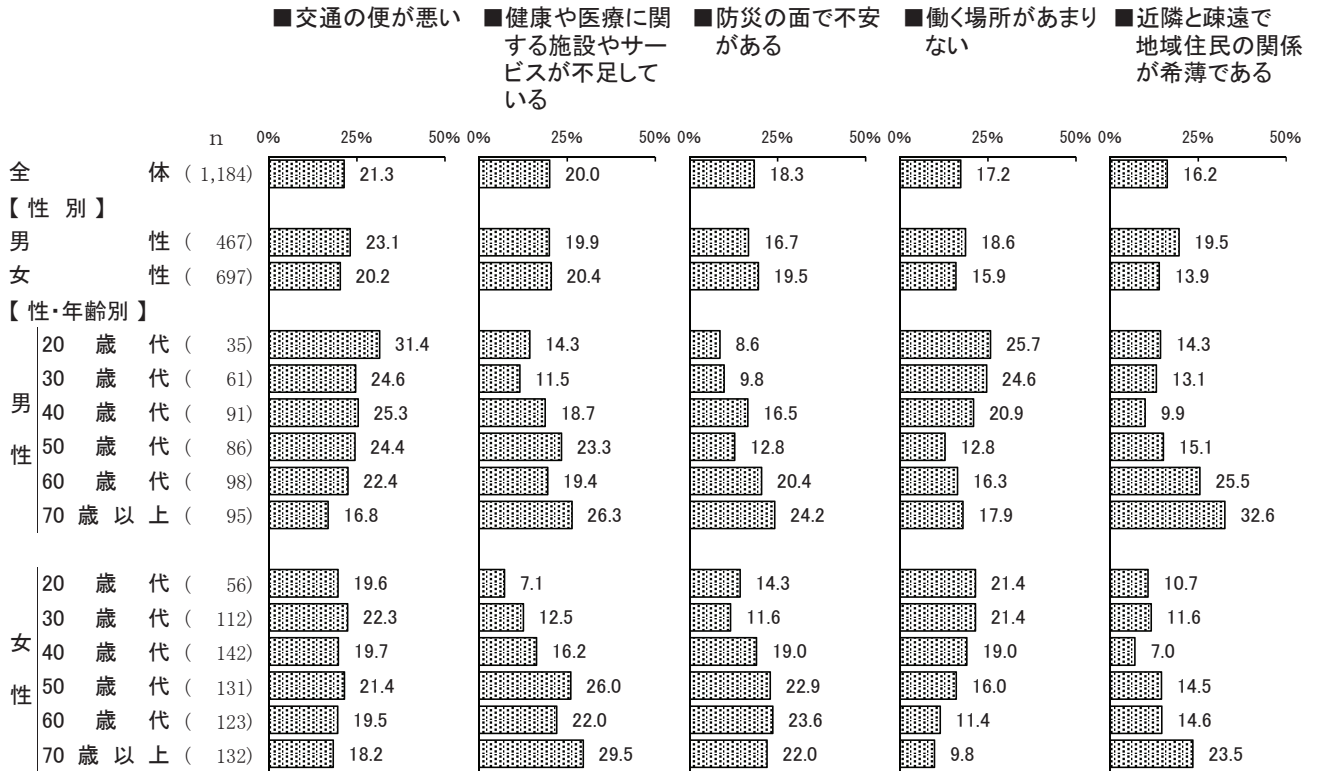
図1-4-1 練馬区が住みにくいと感ずるところ

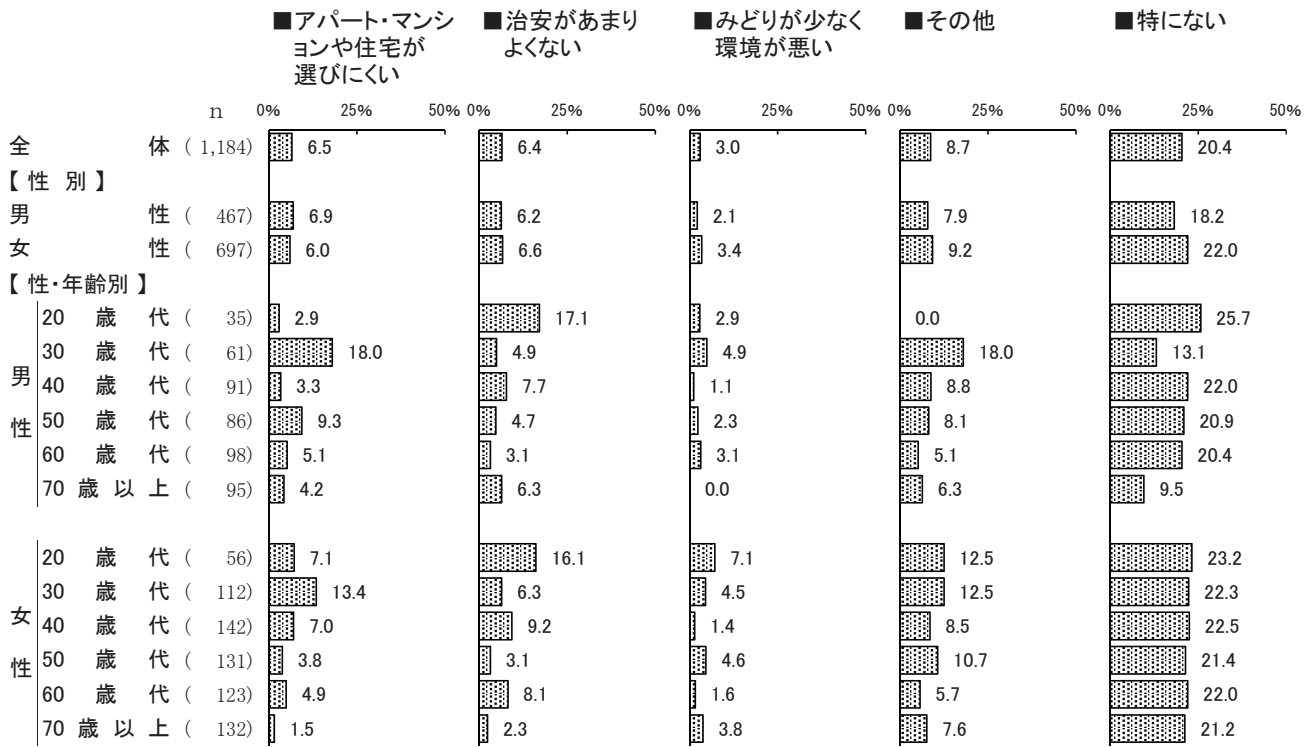


練馬区が住みにくいと感ずるところを聞いたところ、「交通の便が悪い」(21.3%)が2割を超えて最も多く、次いで「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(20.0%)、「防災の面で不安がある」(18.3%)、「働く場所があまりない」(17.2%)、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」(16.2%)などの順となっている。

(図1-4-1)

図1-4-2 練馬区が住みにくいと感じるところ－性別／性・年齢別

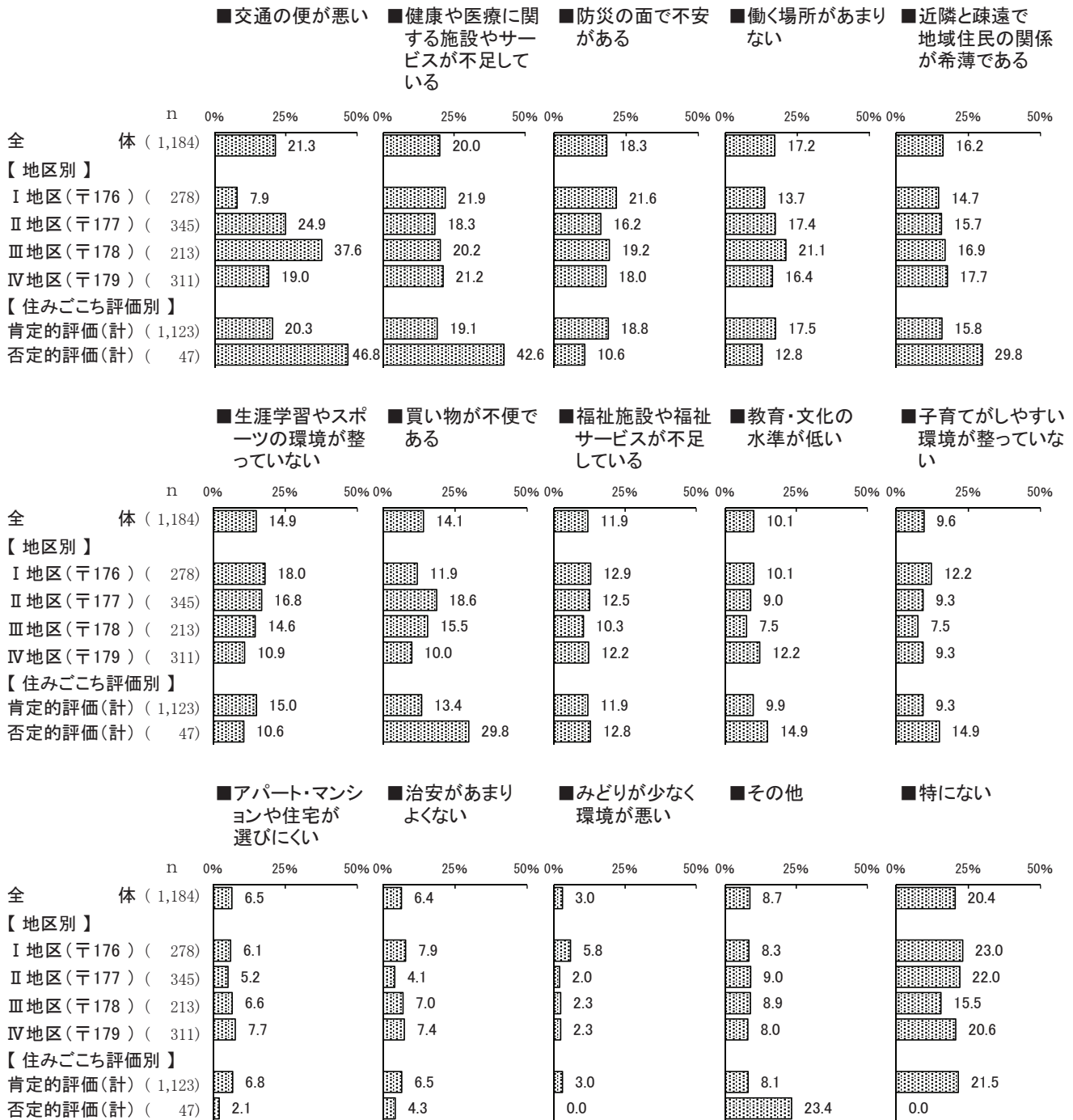




性別にみると、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」は男性の方が5.6ポイント、「交通の便が悪い」は男性の方が2.9ポイント高く、「防災の面で不安がある」は女性の方が2.8ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「交通の便が悪い」は男性20歳代で3割を超えて多く、男性は概ね年代が下がるほど割合が多い傾向となっている。「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」「防災の面で不安がある」「福祉施設や福祉サービスが不足している」は男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多く、「働く場所があまりない」は男女ともに概ね年代が下がるほど割合が多い傾向となっている。「子育てがしやすい環境が整っていない」や「アパート・マンションや住宅が選びにくい」は男女ともに30歳代で他の年代より多くなっている。(図1-4-2)

図1-4-3 練馬区が住みにくいと感ずるところ—地区別／住みごち評価別



地区別にみると、「交通の便が悪い」はIII地区（〒178）で4割近くと多く、「防災の面で不安がある」はI地区（〒176）で、「働く場所があまりない」はIII地区（〒178）でそれぞれ2割を超えて多くなっている。

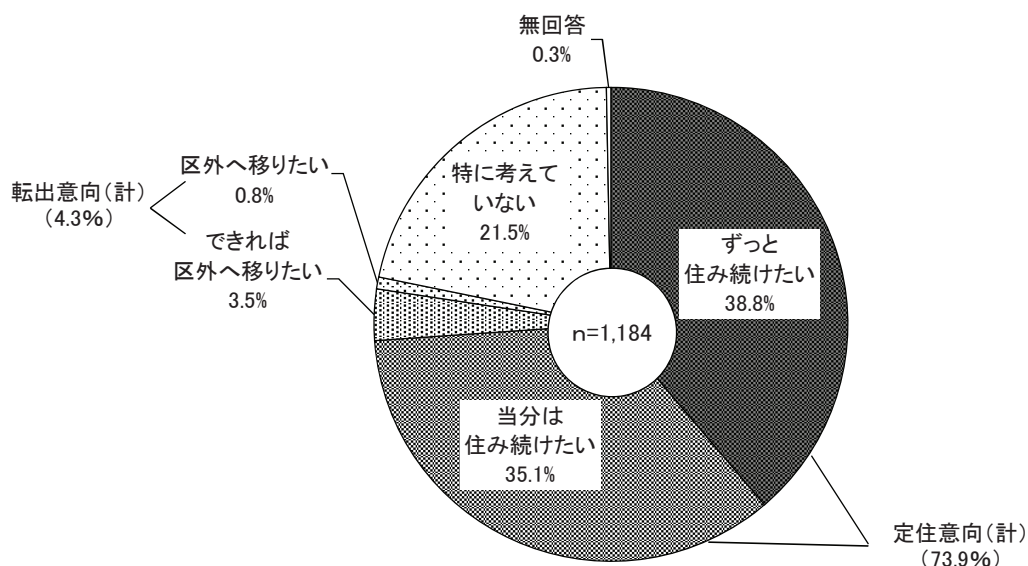
住みごち評価別にみると、『否定的評価』は『肯定的評価』より「交通の便が悪い」が26.5ポイント、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」が23.5ポイント、「買い物が不便である」が16.4ポイント、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」が14.0ポイント高くなっている。（図1-4-3）

(5) 定住意向

◇『定住意向』が7割を超える

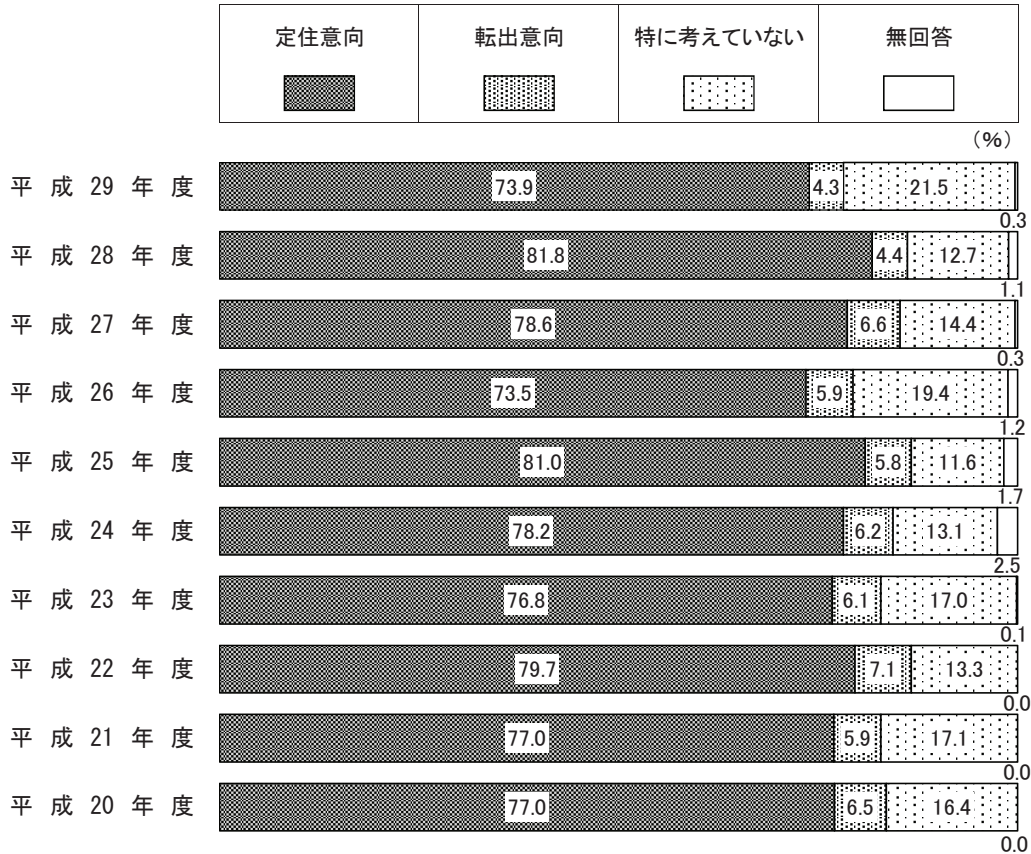
問5 あなたは、これからも引き続き練馬区に住みたいと思いますか。(○は1つ)

図1-5-1 定住意向



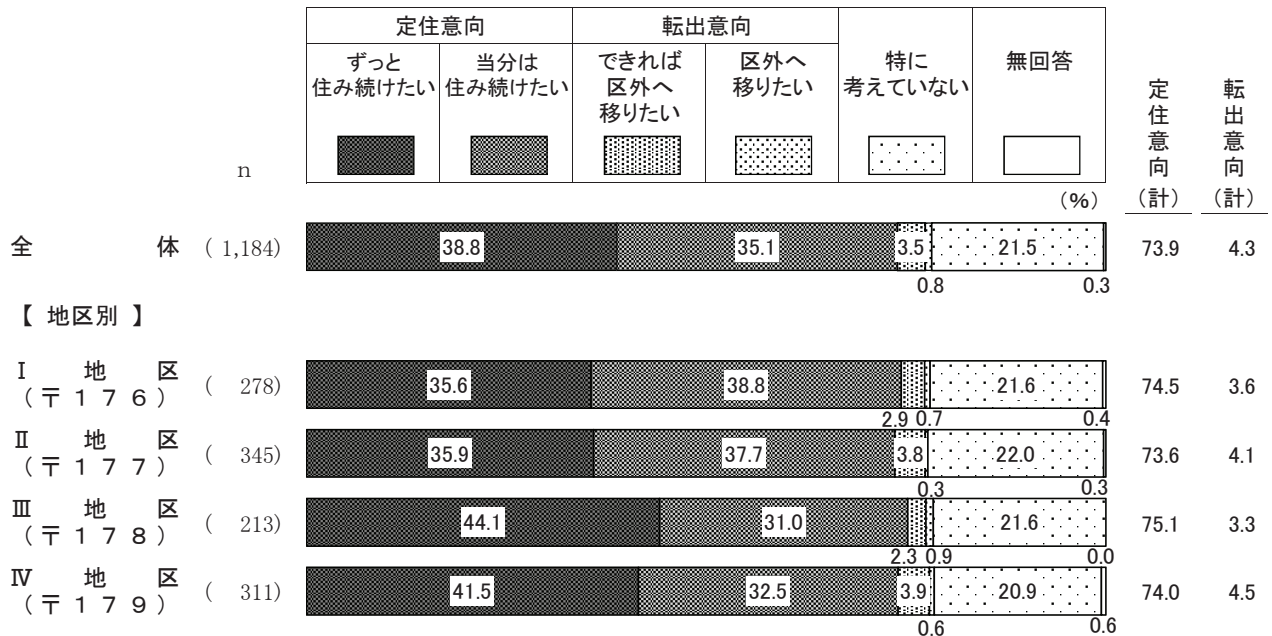
これからも引き続き練馬区に住みたいと思うか聞いたところ、「ずっと住みたい」(38.8%)と「当分は住みたい」(35.1%)を合わせた『定住意向』(73.9%)が7割を超えている。一方、「できれば区外へ移りたい」(3.5%)と「区外へ移りたい」(0.8%)を合わせた『転出意向』(4.3%)は1割に満たない。(図1-5-1)

図 1-5-2 定住意向一過年度比較



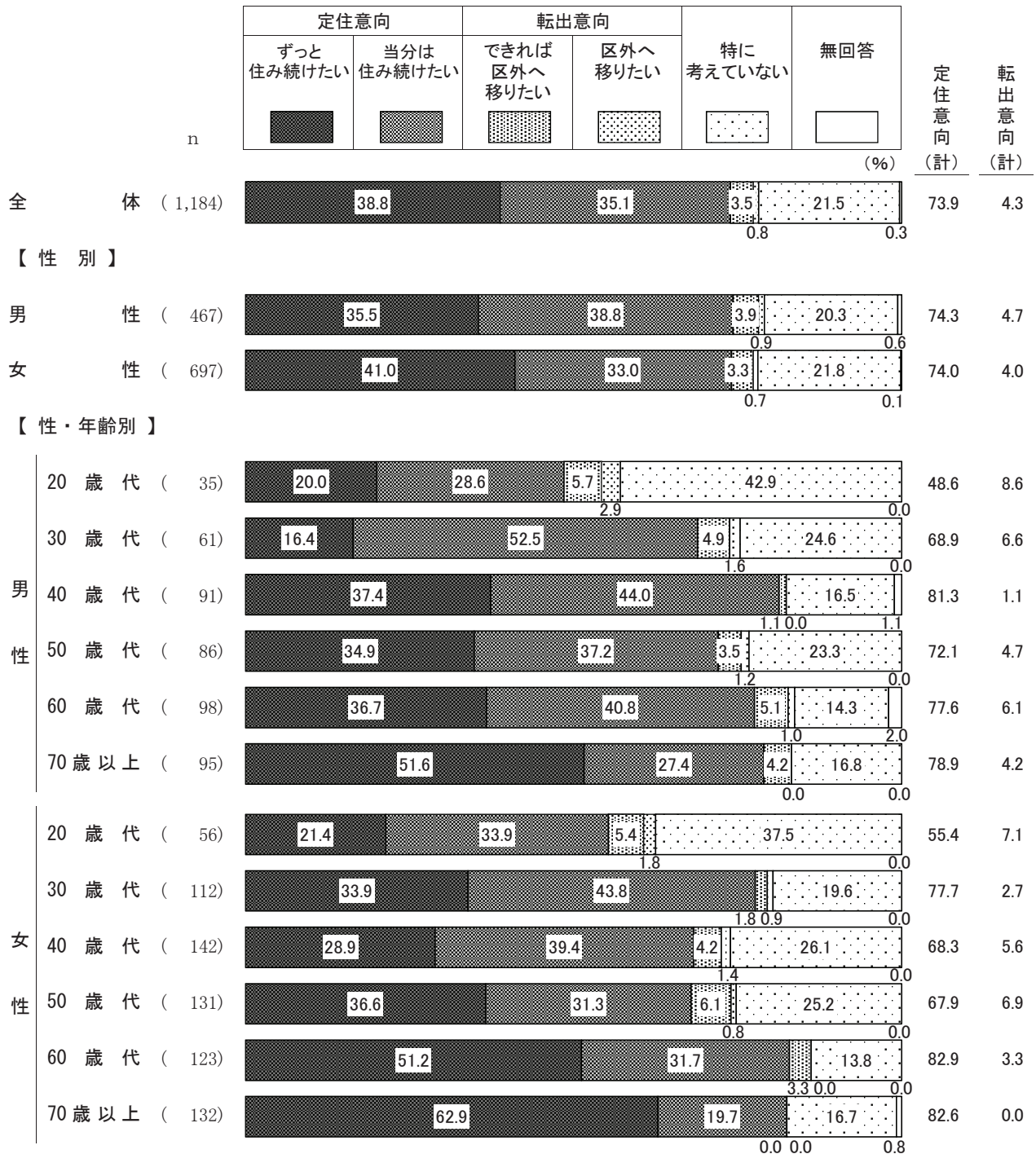
過去の調査と比較すると、『定住意向』は前回調査（平成28年度）では8割を超えたが、今回調査では7.9ポイント減少し再び7割台に戻っている。（図1-5-2）

図 1-5-3 定住意向一地区別



地区別にみると、「ずっと住み続けたい」はⅢ地区（〒178）で4割台半ばと多くなっている。（図1-5-3）

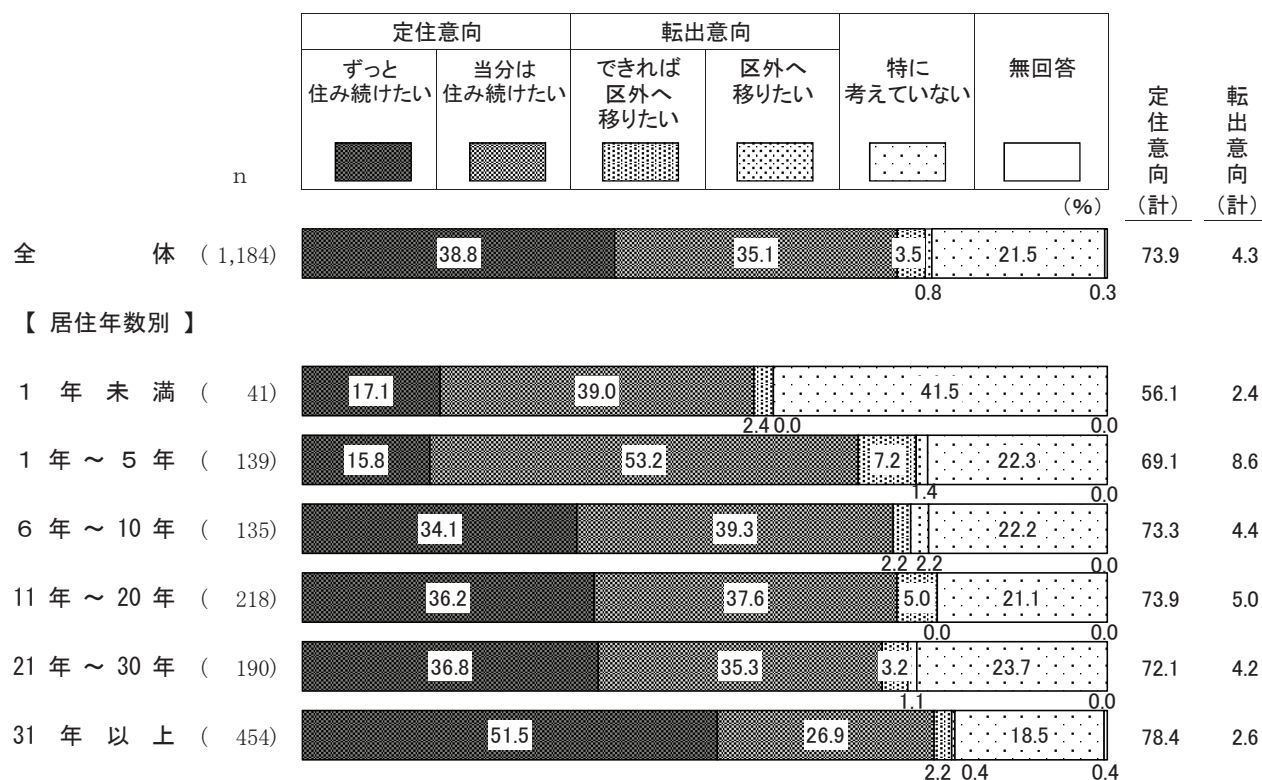
図1-5-4 定住意向—性別／性・年齢別



性別にみると、「ずっと住み続けたい」は女性の方が5.5ポイント高いが、『定住意向』は男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」は女性70歳以上で6割を超え、男性70歳以上、女性60歳代で5割を超えて多くなっている。『定住意向』は男性40歳代、女性60歳代・70歳以上で8割を超えて多くなっている。(図1-5-4)

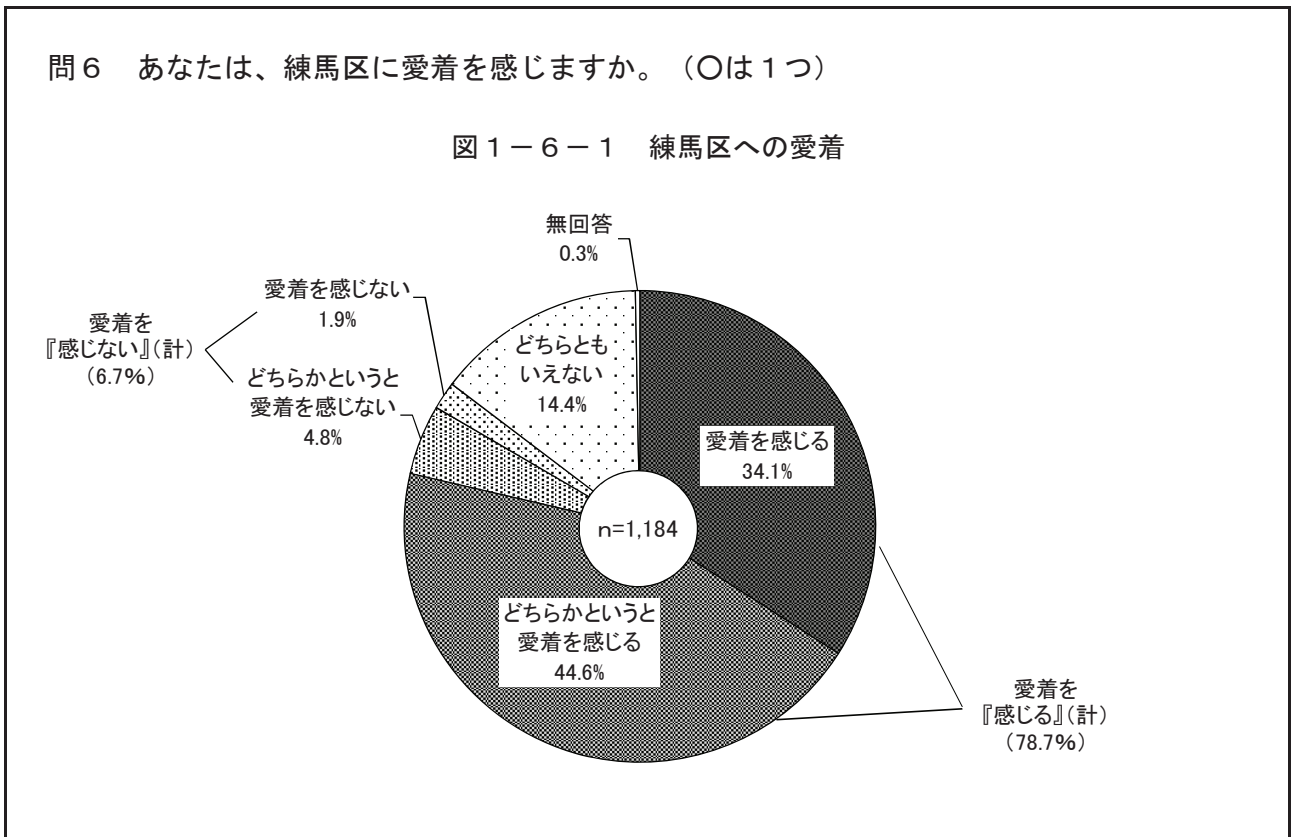
図 1-5-5 定住意向—居住年数別



居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で5割を超えて多くなっている。(図1-5-5)

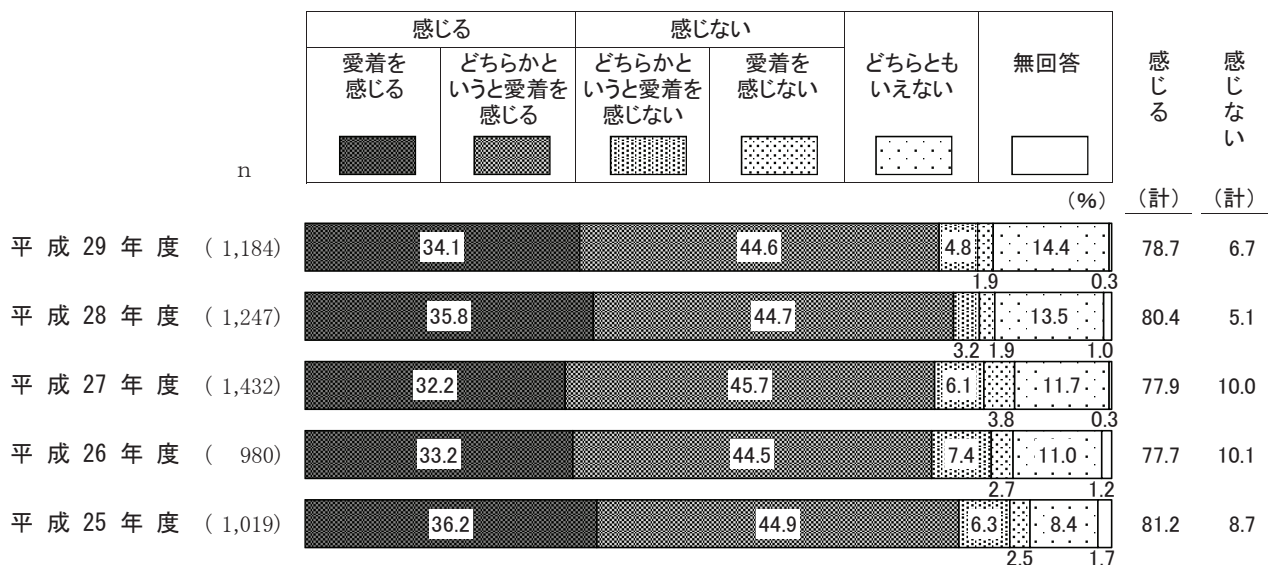
(6) 練馬区への愛着

◇愛着を『感じる』が8割近く



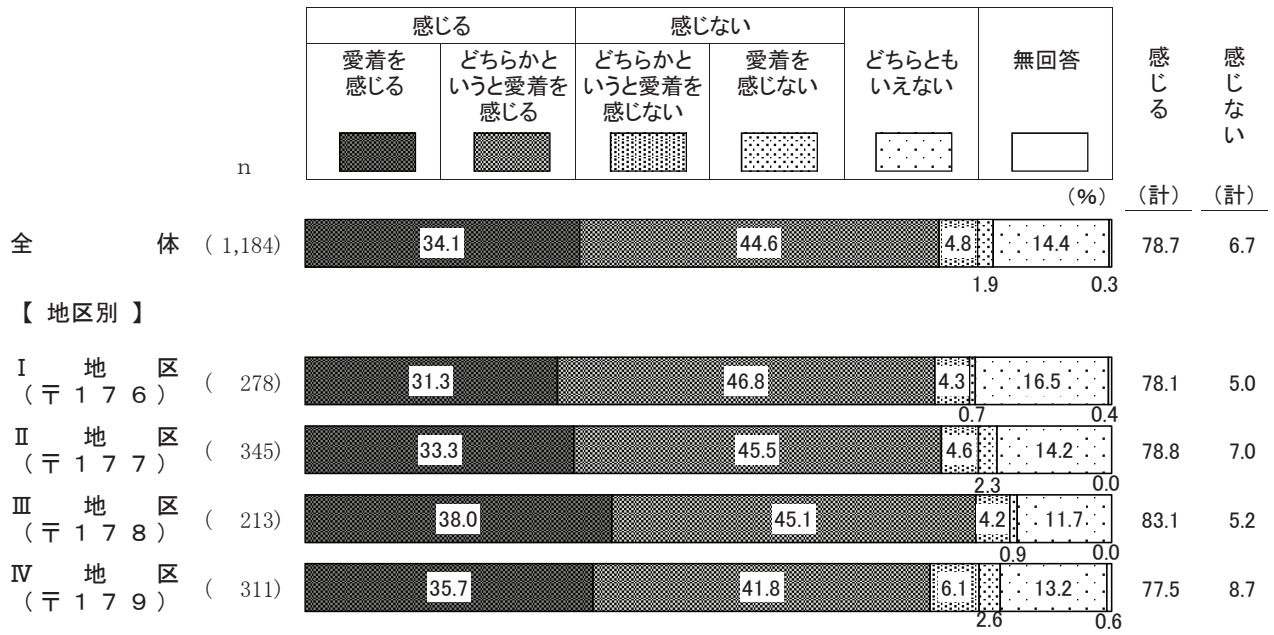
練馬区に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じる」(34.1%)と「どちらかという愛着を感じる」(44.6%)を合わせた、愛着を『感じる』(78.7%)が8割近くとなっている。一方、「どちらかという愛着を感じない」(4.8%)と「愛着を感じない」(1.9%)を合わせた、愛着を『感じない』(6.7%)は1割に満たない。(図1-6-1)

図1-6-2 練馬区への愛着—過年度比較



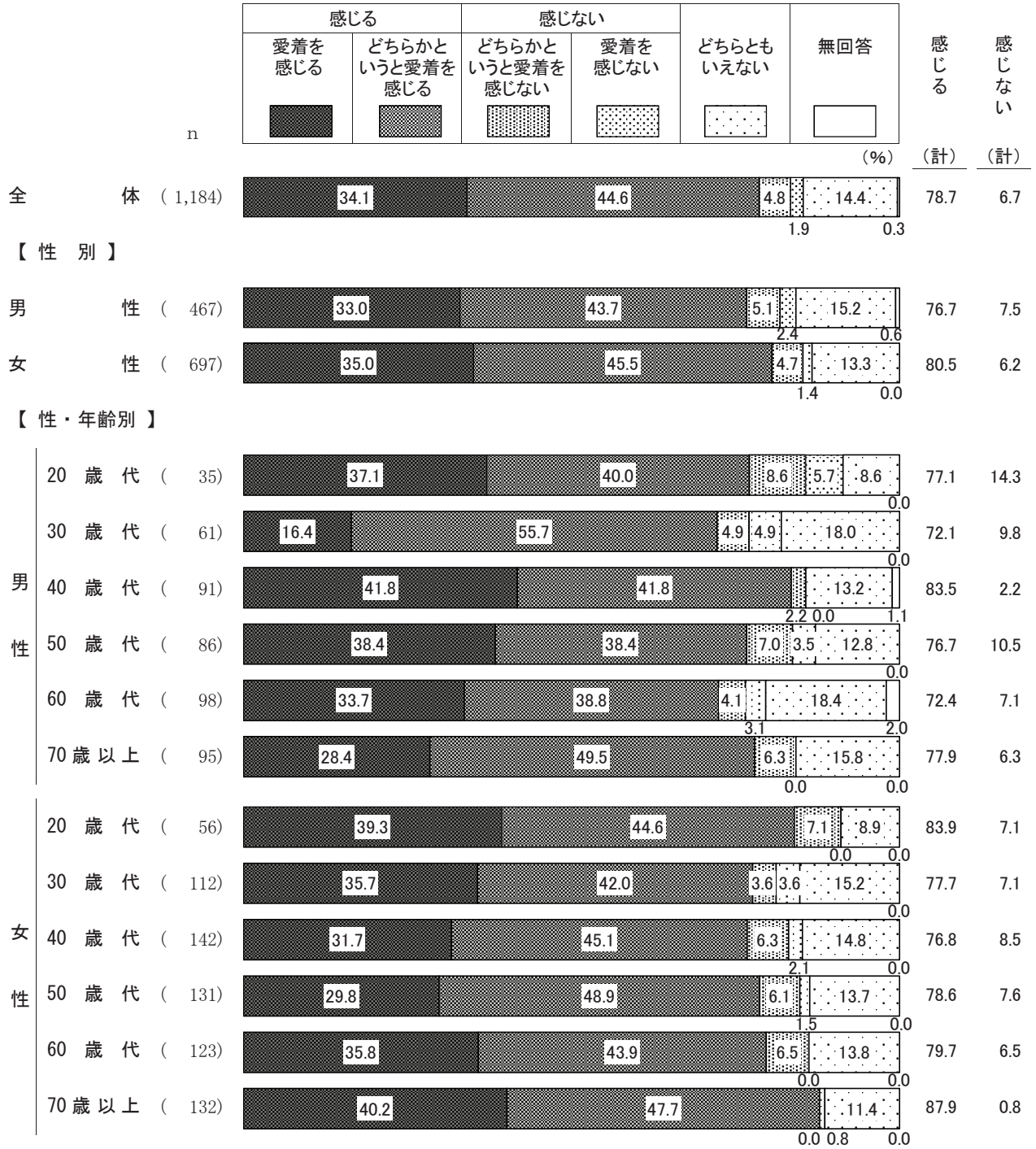
過去の調査と比較すると、愛着を『感じる』は前回調査(平成28年度)から1.7ポイント減少している。(図1-6-2)

図1-6-3 練馬区への愛着—地区別



地区別にみると、愛着を『感じる』はⅢ地区（〒178）で8割を超えて多くなっている。
（図1-6-3）

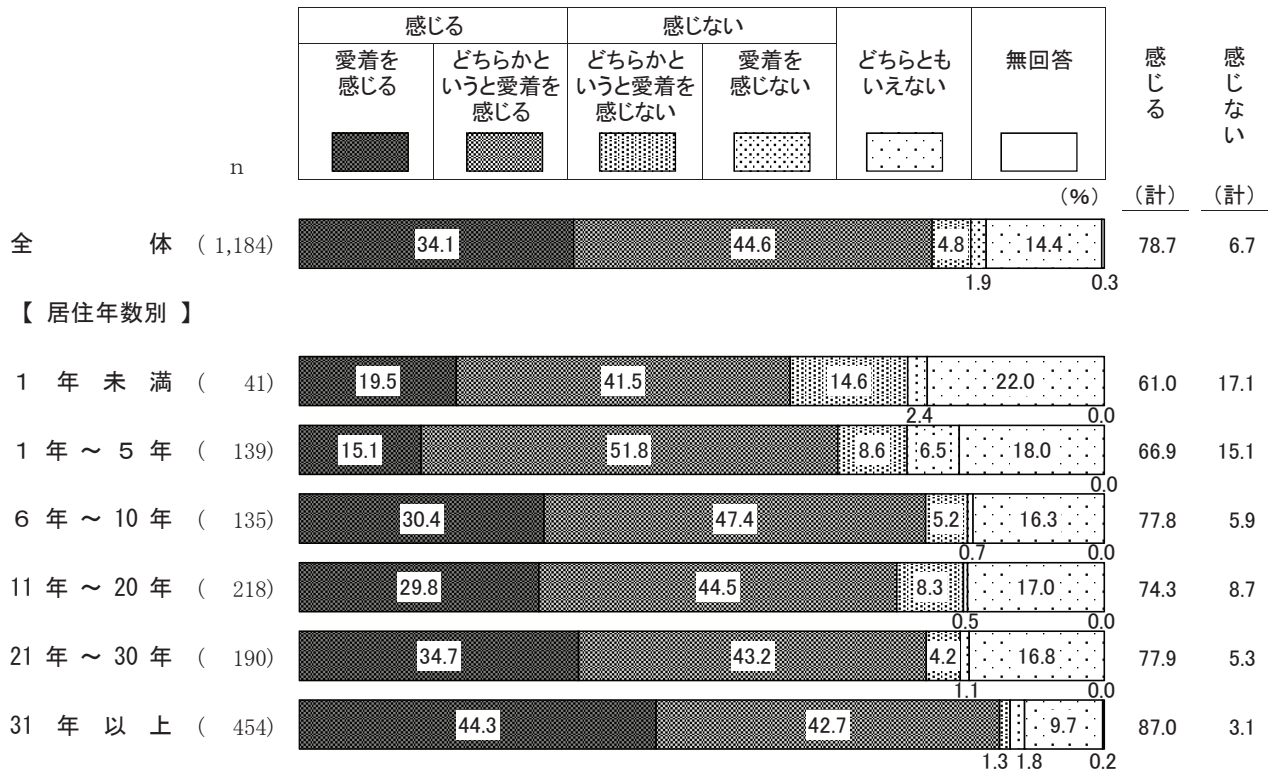
図1-6-4 練馬区への愛着—性別／性・年齢別



性別にみると、愛着を『感じる』は女性の方が3.8ポイント高く、約8割となっている。

性・年齢別にみると、「愛着を感じる」は男性40歳代、女性70歳以上で4割を超えて多くなっている。愛着を『感じる』は女性70歳以上で9割近く、女性20歳代、男性40歳代で8割を超えて多くなっている。(図1-6-4)

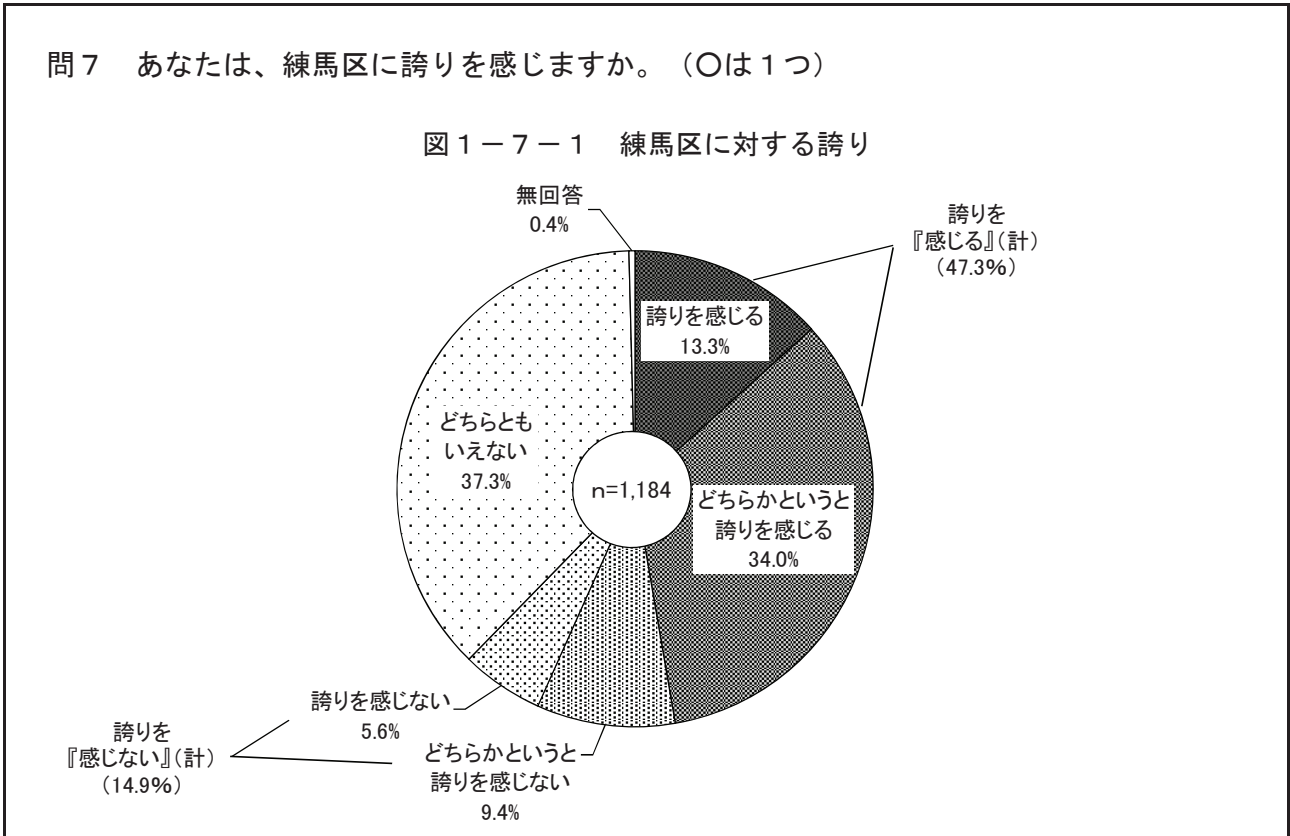
図 1-6-5 練馬区への愛着—居住年数別



居住年数別にみると、愛着を『感じる』は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で9割近くと多くなっている。(図1-6-5)

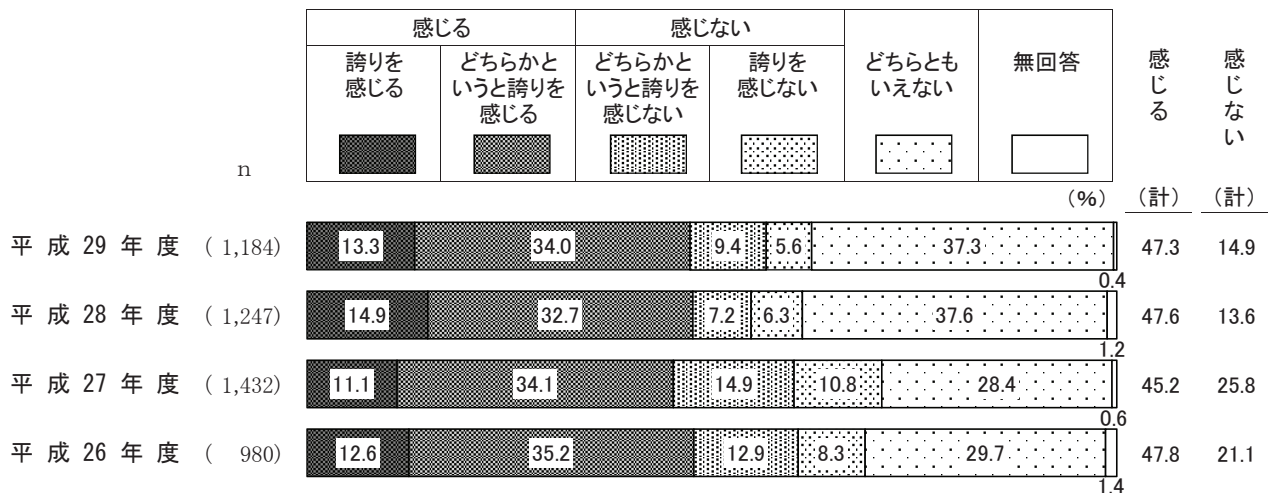
(7) 練馬区に対する誇り

◇誇りを『感じる』が5割近く



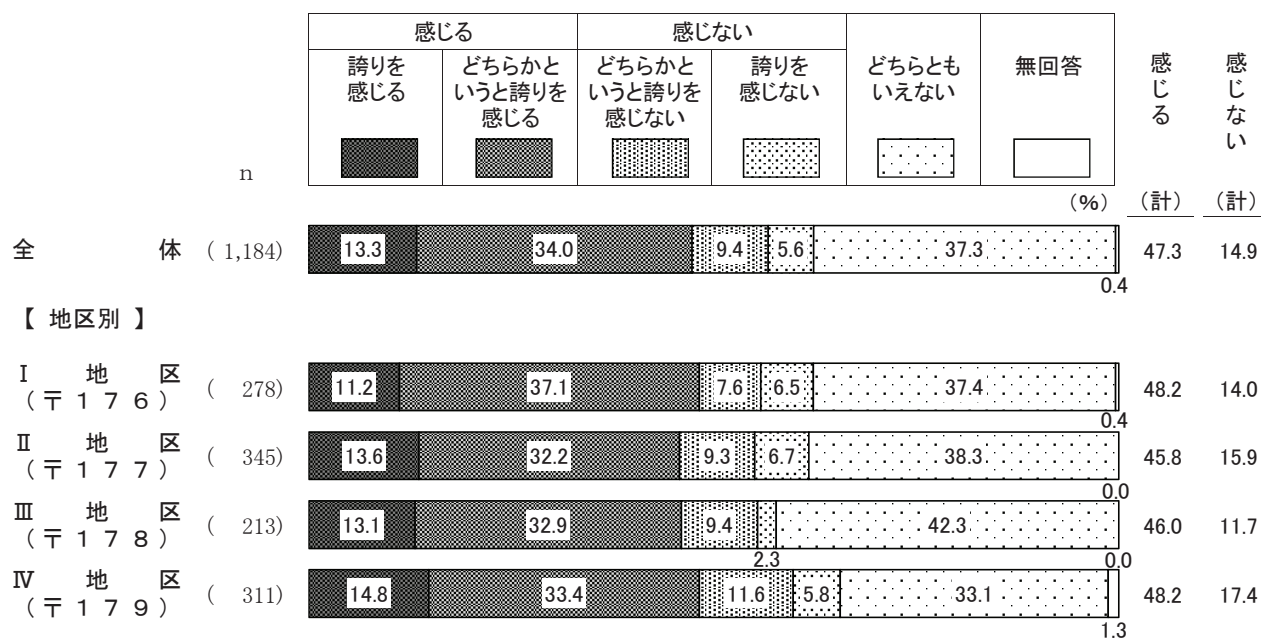
練馬区に誇りを感じるか聞いたところ、「誇りを感じる」(13.3%)と「どちらかというと誇りを感じる」(34.0%)を合わせた、誇りを『感じる』(47.3%)が5割近くとなっている。一方、「どちらかというと誇りを感じない」(9.4%)と「誇りを感じない」(5.6%)を合わせた、誇りを『感じない』(14.9%)は1割台半ばとなっている。(図1-7-1)

図1-7-2 練馬区に対する誇り—過年度比較



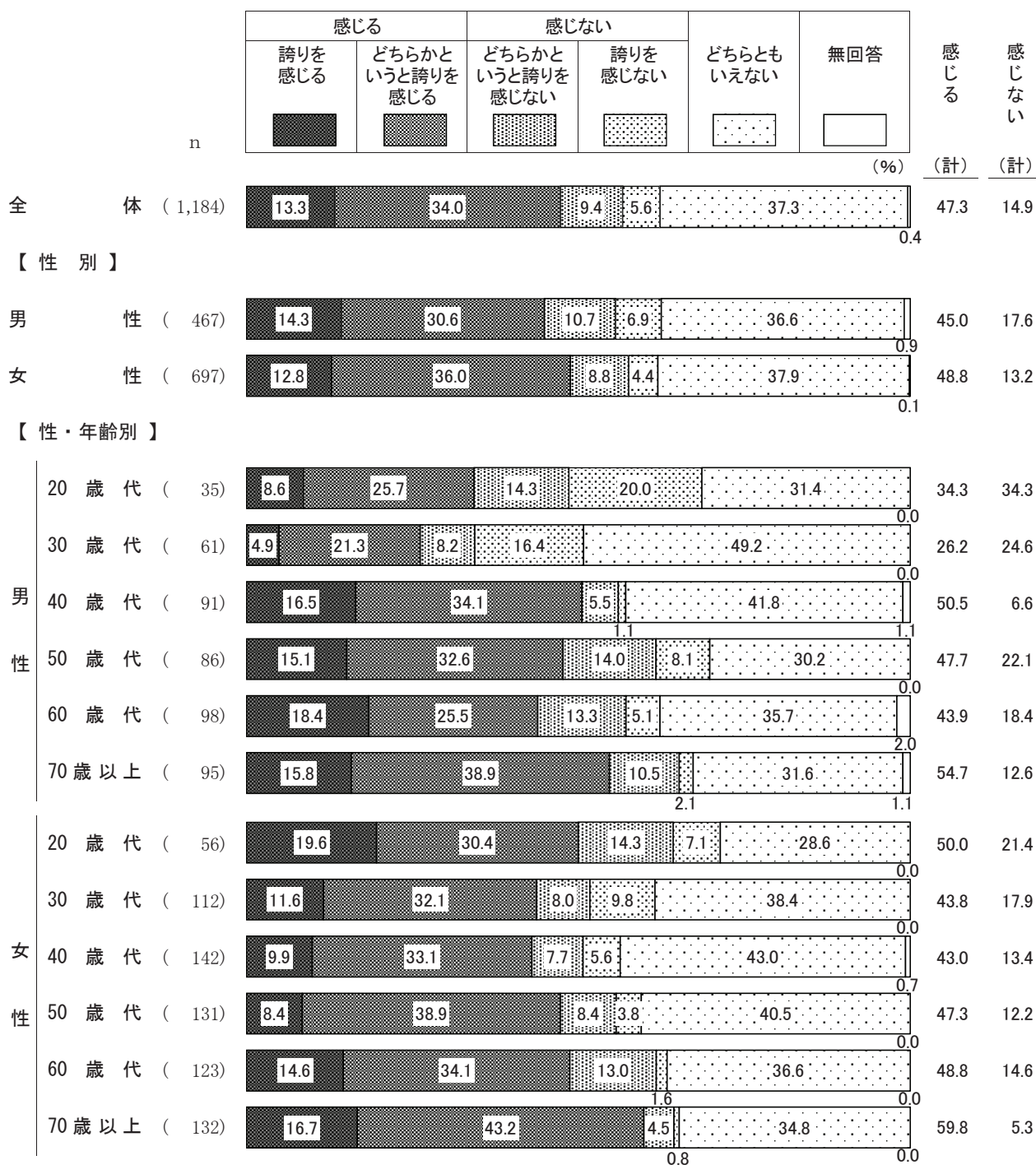
過去の調査と比較すると、誇りを『感じる』は前回調査(平成28年度)と大きな傾向の違いはみられない。(図1-7-2)

図 1-7-3 練馬区に対する誇り—地区別



地区別にみると、地区間で大きな傾向の違いはみられない。(図 1-7-3)

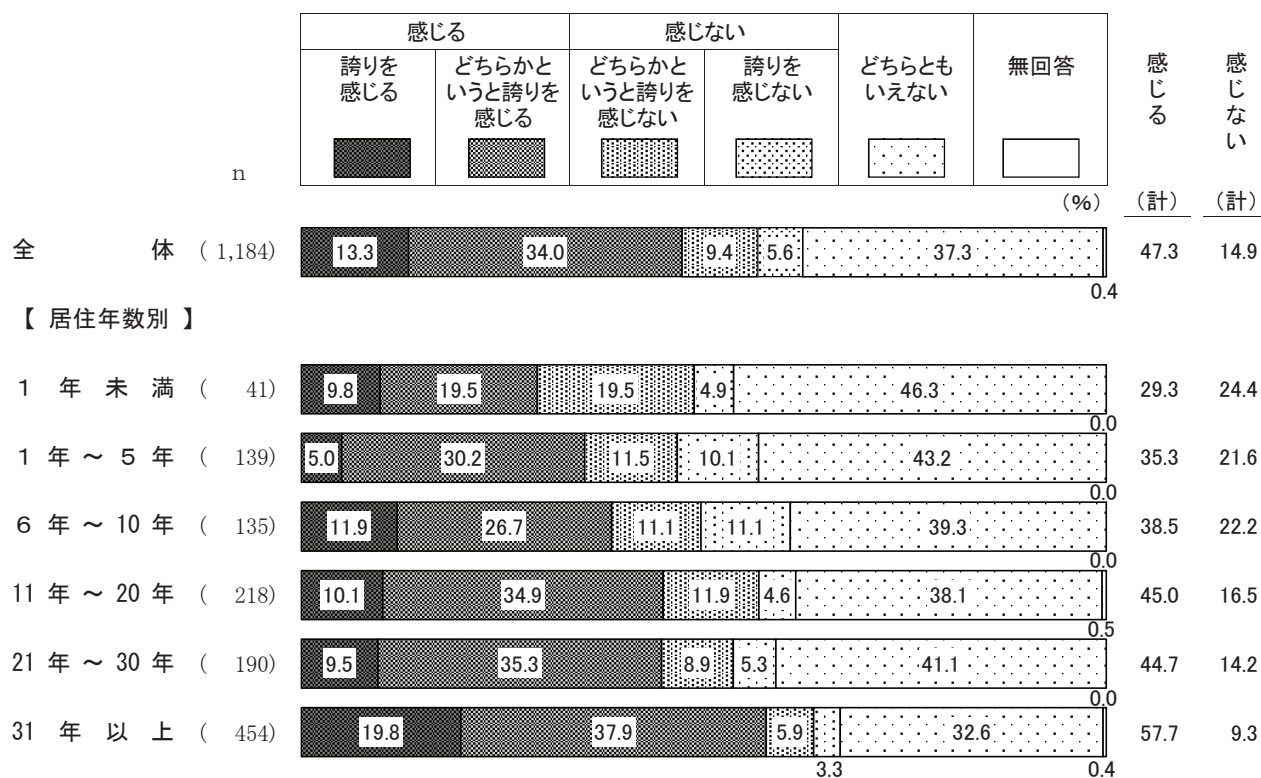
図1-7-4 練馬区に対する誇り—性別／性・年齢別



性別にみると、誇りを『感じる』は女性の方が3.8ポイント高く、5割近くとなっている。

性・年齢別にみると、誇りを『感じる』は女性70歳以上で約6割、男性70歳以上で5割台半ば、男性40歳代で約5割、女性20歳代で5割と多くなっている。一方、誇りを『感じない』は男性20歳代で3割台半ば、男性30歳代で2割台半ばとなっている。(図1-7-4)

図 1-7-5 練馬区に対する誇り—居住年数別



居住年数別にみると、誇りを『感じる』は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で6割近くと多くなっている。(図1-7-5)

(8) 施策への満足度と必要性

- ◇満足度の高い施策は「みどりの保全と創出」「健康づくりの推進」が7割台半ば
- ◇必要性の高い施策は「災害に強い安全なまちづくり」「医療環境の充実」が9割近く、「高齢者福祉」「交通安全対策」「地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり」が8割台半ば

問8 区は様々な施策を行っていますが、あなたは、次にあげる施策にどの程度満足していますか。次の1～28の項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

問11 これらの施策に関する今後の必要性について、どのように考えますか。次の1～28の項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

| | | |
|----------|--------------------------|---|
| 子ども・子育て | 1 子育て支援 | [保育所・学童クラブの充実、幼稚園の預かり保育、一時預かりや親子で交流できる場の拡充、子育ての相談をしやすい体制の整備など] |
| | 2 学校教育 | [学力の定着・向上、教員の質の向上、教育環境の整備、家庭や地域と連携した教育の推進、支援が必要な子どもたちへの取り組みの充実など] |
| | 3 青少年の健全育成 | [子ども向け講座・行事、社会環境の浄化活動、遊び場の確保、青少年館など] |
| 福祉・医療・健康 | 4 高齢者福祉 | [医療・介護等の連携による高齢者の生活支援、高齢者施設の整備、介護予防・介護サービスの充実など] |
| | 5 障害者福祉 | [生活状況に応じた地域生活支援の強化、家族支援、住まいの確保、就労支援など] |
| | 6 医療環境の充実 | [病床の確保、病院整備の促進、在宅療養ネットワークの構築など] |
| | 7 地域福祉の推進 | [地域における平常時の見守り、災害時の要援護者支援の充実、民生委員による福祉活動など] |
| | 8 健康づくりの推進 | [健康診査、がん検診、母子保健、健康相談、食育、感染症対策、精神保健など] |
| | 9 生活の安定に向けた自立支援 | [生活の相談や支援、生活保護など] |
| 都市基盤整備 | 10 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 | [都営大江戸線の延伸、都市計画道路の整備、西武新宿線の立体化、公共交通空白地域の改善など] |
| | 11 災害に強い安全なまちづくり | [建築物の耐震化・不燃化、無電柱化、木造住宅密集地域の改善、都市型水害対策の強化など] |
| | 12 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり | [自主的な防災への取組支援、防犯・防火など] |
| | 13 交通安全対策 | [歩行者空間の確保、自転車対策など] |
| | 14 駅周辺のまちづくり | [駅へのアクセス道路、生活利便性の高い駅前空間、良好な景観の形成など] |

| | |
|------------|---|
| 都市基盤整備（続き） | 15 エネルギー政策の展開 〔災害時のエネルギーセキュリティの確保、住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ向けた取り組み、省エネルギー、地球温暖化防止など〕 |
| | 16 循環型社会づくり 〔ごみの減量・リサイクル・環境学習の推進など〕 |
| | 17 地域環境の保全 〔騒音などの公害問題、たばこのポイ捨て・歩きたばこ防止など〕 |
| | 18 住まいの支援 〔区営住宅の運営、高齢者世帯への住宅支援など〕 |
| 練馬区の魅力 | 19 区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり 〔創業支援、企業活動活性化、個店・商店街支援など〕 |
| | 20 都市農業の振興と都市農地の保全 |
| | 21 みどりの保全と創出 〔公園の整備、樹林地の保全、みどりの美しい街並みづくりなど〕 |
| | 22 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現 〔町会・自治会等の支援、地域集会施設の運営、国際交流など〕 |
| | 23 文化・生涯学習・スポーツの振興 |
| | 24 観光の推進 〔徒歩や自転車によるまち歩き観光、区の魅力・観光情報の発信など〕 |
| 区政運営 | 25 窓口サービス等の利便性の向上 〔窓口の受付日や時間の拡充、窓口の効率化、対応の質の向上、ICT（情報通信技術）の活用など〕 |
| | 26 開かれた区政 〔区報やホームページなどの情報発信の充実、区民参加・協働の推進など〕 |
| | 27 区政改革の取り組み 〔サービスの質の向上や費用対効果、受益と負担のあり方、行政と民間の役割分担等の観点からのサービス・事務の見直しなど〕 |
| | 28 平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 〔啓発イベントや講座、女性に対する各種相談の実施、情報誌の発行など〕 |

満足度

「満足」および「どちらかといえば満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかといえば不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようにになっている。（図1-8-1）

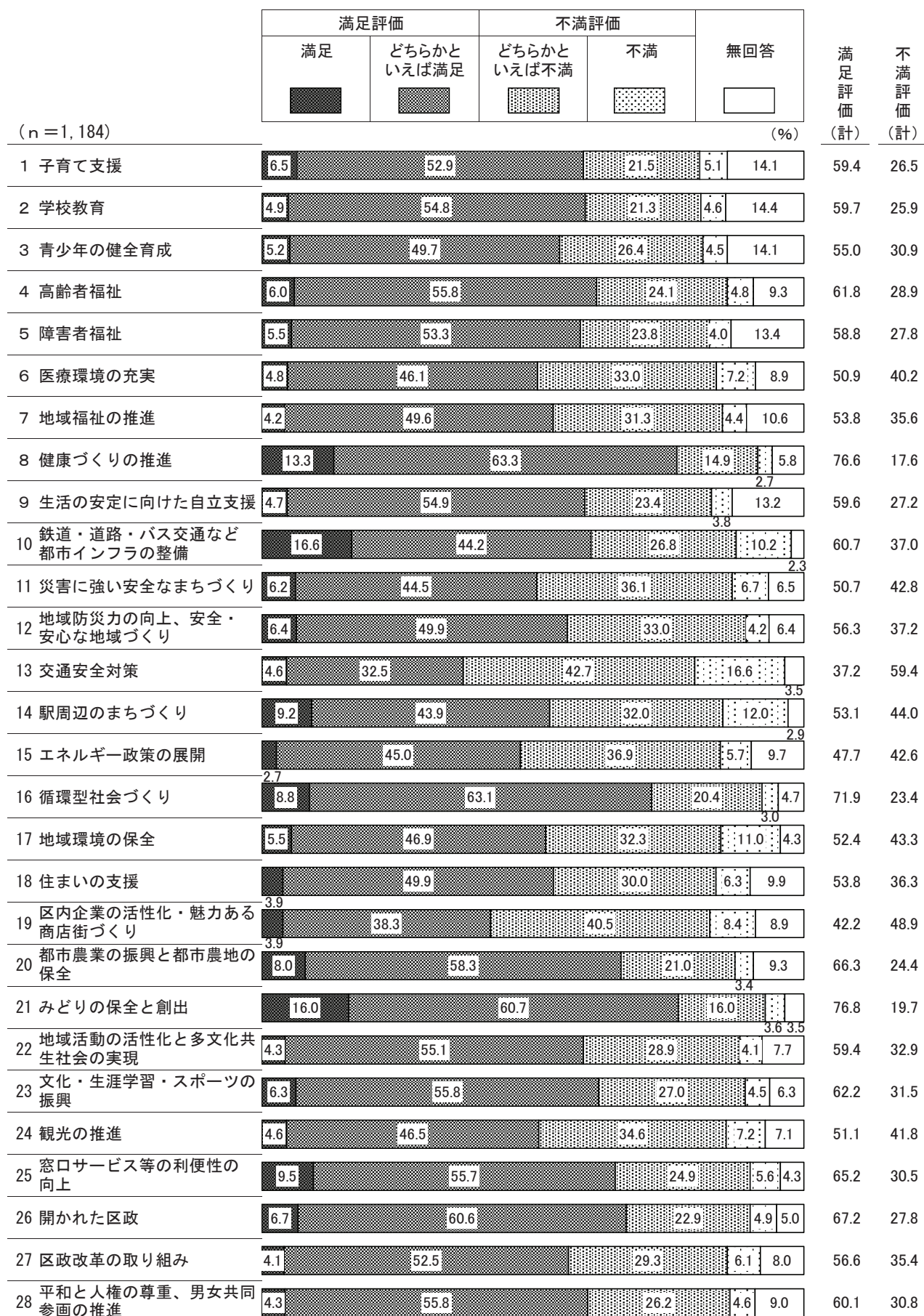
『満足評価』上位5項目

| | |
|------------------|---------|
| ①みどりの保全と創出 | (76.8%) |
| ②健康づくりの推進 | (76.6%) |
| ③循環型社会づくり | (71.9%) |
| ④開かれた区政 | (67.2%) |
| ⑤都市農業の振興と都市農地の保全 | (66.3%) |

『不満評価』上位5項目

| | |
|----------------------|---------|
| ①交通安全対策 | (59.4%) |
| ②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり | (48.9%) |
| ③駅周辺のまちづくり | (44.0%) |
| ④地域環境の保全 | (43.3%) |
| ⑤災害に強い安全なまちづくり | (42.8%) |

図 1 - 8 - 1 施策への満足度



必要性

「とても必要」および「必要」の2項目を合わせた『必要性が高い評価』と、「どちらかといえば必要」および「あまり必要でない」の2項目を合わせた『必要性が低い評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようにになっている。(図1-8-2)

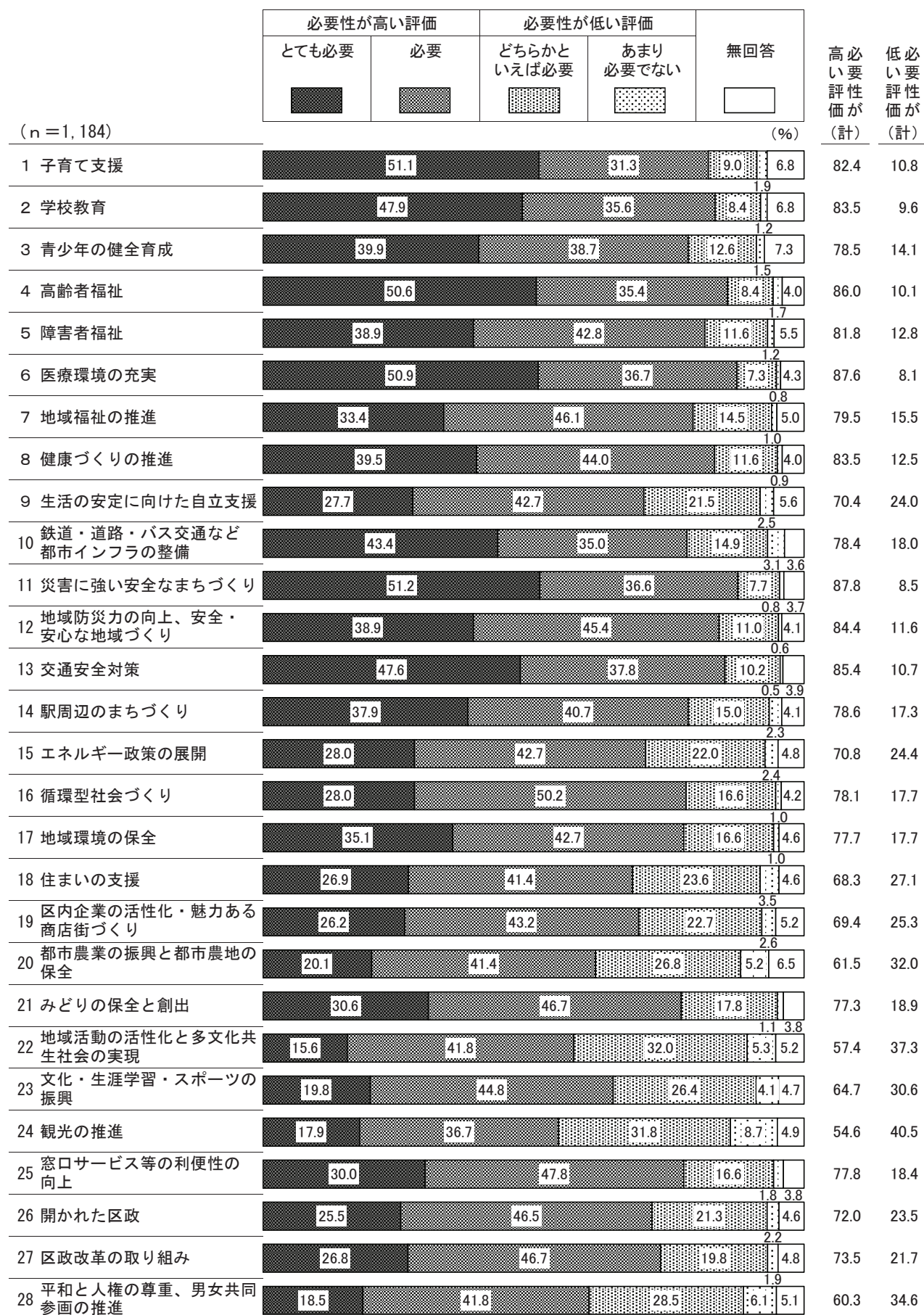
『必要性が高い評価』上位5項目

- | | |
|-----------------------|---------|
| ①災害に強い安全なまちづくり | (87.8%) |
| ②医療環境の充実 | (87.6%) |
| ③高齢者福祉 | (86.0%) |
| ④交通安全対策 | (85.4%) |
| ⑤地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり | (84.4%) |

『必要性が低い評価』上位5項目

- | | |
|----------------------|---------|
| ①観光の推進 | (40.5%) |
| ②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現 | (37.3%) |
| ③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 | (34.6%) |
| ④都市農業の振興と都市農地の保全 | (32.0%) |
| ⑤文化・生涯学習・スポーツの振興 | (30.6%) |

図 1-8-2 施策への必要性



加重平均値

満足度と必要性を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{満足度評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「満足」の回答者数} \times 2) + (\text{「どちらかといえば満足」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -1) + (\text{「不満」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

$$\text{必要性評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「とても必要」の回答者数} \times 2) + (\text{「必要」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかといえば必要」の回答者数} \times -1) + (\text{「あまり必要でない」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

この計算方法では、評価点は+2.0点～-2.0点の間に分布し、中間点の0.0点を境に、+2.0点に近くなるほど満足度・必要性は高くなり、逆に、-2.0点に近くなるほど満足度・必要性が低くなる。

満足度と必要性の加重平均値の上位5項目と下位5項目は、以下のようになっている。

(表1-8-1)

| 『満足度評価点』上位5項目 | | 『満足度評価点』下位5項目 | |
|------------------|--------|----------------------|---------|
| ①健康づくりの推進 | (0.74) | ①交通安全対策 | (-0.35) |
| ②みどりの保全と創出 | (0.72) | ②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり | |
| ③循環型社会づくり | (0.57) | | (-0.12) |
| ④都市農業の振興と都市農地の保全 | (0.51) | ③エネルギー政策の展開 | (0.02) |
| ⑤開かれた区政 | (0.43) | ④地域環境の保全 | (0.04) |
| | | ⑤観光の推進 | (0.07) |
| | | ⑤駅周辺のまちづくり | (0.07) |
| 『必要性評価点』上位5項目 | | 『必要性評価点』下位5項目 | |
| ①医療環境の充実 | (1.35) | ①観光の推進 | (0.25) |
| ①災害に強い安全なまちづくり | (1.35) | ②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現 | |
| ③子育て支援 | (1.30) | | (0.32) |
| ③高齢者福祉 | (1.30) | ③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 | |
| ⑤学校教育 | (1.29) | | (0.40) |
| | | ④都市農業の振興と都市農地の保全 | (0.47) |
| | | ⑤文化・生涯学習・スポーツの振興 | (0.52) |

表1-8-1 施策への満足度と必要性（加重平均値）－地区別

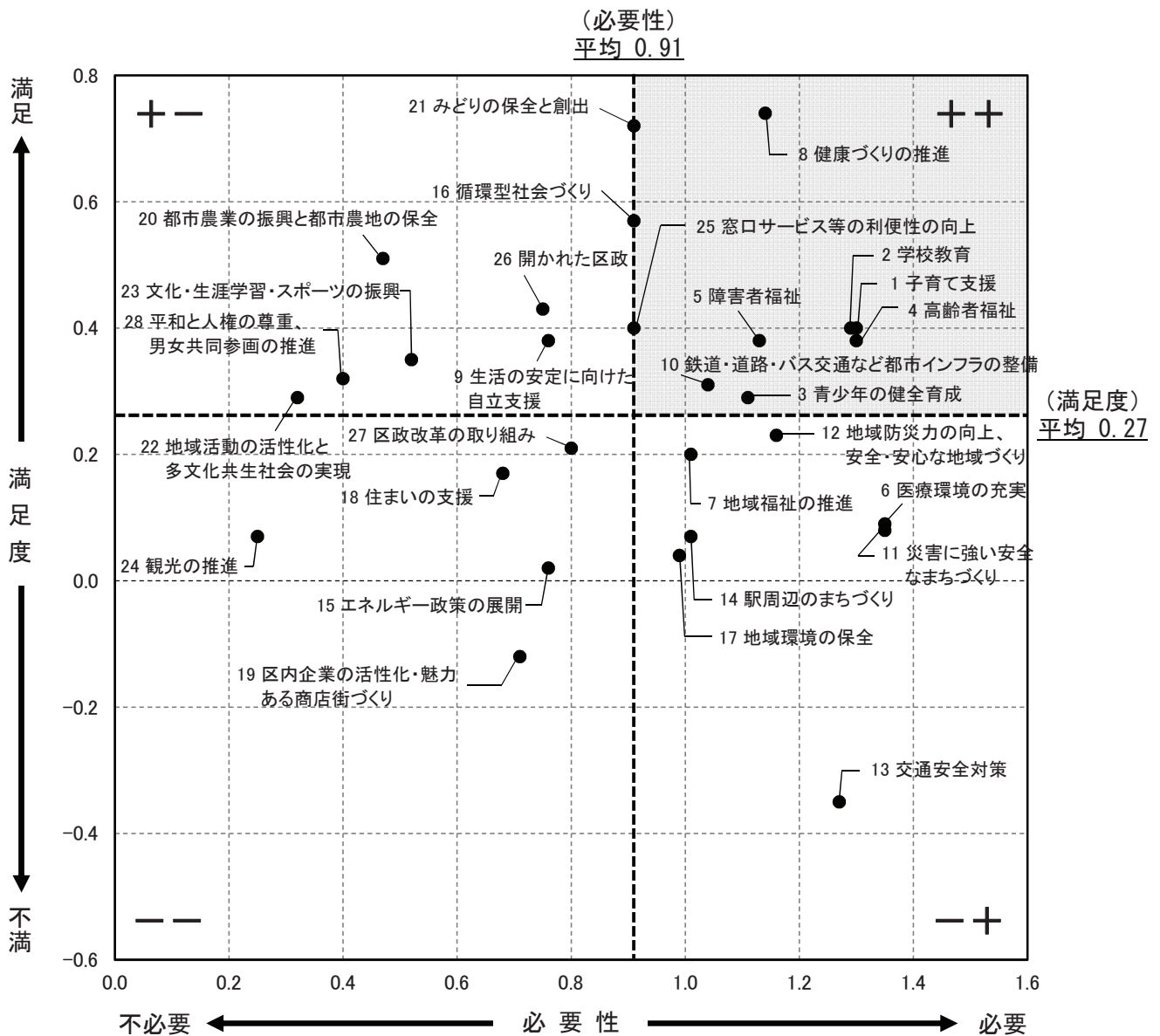
| | | 満足度評価点 | | | | | 必要性評価点 | | | | |
|----------|------------------------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|
| | | 区 全 体 | I 地 区 | II 地 区 | III 地 区 | IV 地 区 | 区 全 体 | I 地 区 | II 地 区 | III 地 区 | IV 地 区 |
| 子ども・子育て | 1 子育て支援 | 0.40 | 0.25 | 0.40 | 0.47 | 0.47 | 1.30 | 1.36 | 1.25 | 1.30 | 1.29 |
| | 2 学校教育 | 0.40 | 0.39 | 0.41 | 0.51 | 0.33 | 1.29 | 1.32 | 1.22 | 1.33 | 1.33 |
| | 3 青少年の健全育成 | 0.29 | 0.19 | 0.22 | 0.32 | 0.46 | 1.11 | 1.09 | 1.03 | 1.19 | 1.14 |
| 福祉・医療・健康 | 4 高齢者福祉 | 0.38 | 0.33 | 0.36 | 0.39 | 0.42 | 1.30 | 1.23 | 1.36 | 1.27 | 1.30 |
| | 5 障害者福祉 | 0.38 | 0.27 | 0.39 | 0.39 | 0.44 | 1.13 | 1.14 | 1.15 | 1.08 | 1.12 |
| | 6 医療環境の充実 | 0.09 | 0.07 | 0.07 | 0.03 | 0.16 | 1.35 | 1.27 | 1.39 | 1.34 | 1.39 |
| | 7 地域福祉の推進 | 0.20 | 0.27 | 0.13 | 0.19 | 0.22 | 1.01 | 0.95 | 1.04 | 0.98 | 1.04 |
| | 8 健康づくりの推進 | 0.74 | 0.73 | 0.74 | 0.74 | 0.76 | 1.14 | 1.17 | 1.12 | 1.02 | 1.19 |
| | 9 生活の安定に向けた自立支援 | 0.38 | 0.42 | 0.38 | 0.36 | 0.37 | 0.76 | 0.75 | 0.73 | 0.72 | 0.75 |
| 都市基盤整備 | 10 鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備 | 0.31 | 0.75 | 0.06 | -0.10 | 0.47 | 1.04 | 0.87 | 1.05 | 1.32 | 0.98 |
| | 11 災害に強い安全なまちづくり | 0.08 | 0.13 | -0.01 | -0.11 | 0.21 | 1.35 | 1.34 | 1.33 | 1.40 | 1.34 |
| | 12 地域防災力の向上、安全・安心な 地域づくり | 0.23 | 0.25 | 0.14 | 0.16 | 0.33 | 1.16 | 1.16 | 1.11 | 1.18 | 1.19 |
| | 13 交通安全対策 | -0.35 | -0.33 | -0.46 | -0.50 | -0.15 | 1.27 | 1.30 | 1.28 | 1.33 | 1.19 |
| | 14 駅周辺のまちづくり | 0.07 | 0.16 | -0.05 | -0.13 | 0.23 | 1.01 | 0.96 | 1.01 | 1.17 | 0.97 |
| | 15 エネルギー政策の展開 | 0.02 | -0.01 | -0.03 | 0.02 | 0.10 | 0.76 | 0.79 | 0.71 | 0.74 | 0.78 |
| | 16 循環型社会づくり | 0.57 | 0.47 | 0.54 | 0.63 | 0.63 | 0.91 | 0.87 | 0.82 | 0.92 | 1.03 |
| | 17 地域環境の保全 | 0.04 | -0.03 | 0.01 | 0.19 | 0.00 | 0.99 | 1.06 | 0.95 | 0.93 | 1.00 |
| | 18 住まいの支援 | 0.17 | 0.12 | 0.15 | 0.19 | 0.24 | 0.68 | 0.76 | 0.61 | 0.57 | 0.71 |
| 練馬区の魅力 | 19 区内企業の活性化・魅力ある商店街 づくり | -0.12 | -0.01 | -0.13 | -0.22 | -0.13 | 0.71 | 0.76 | 0.66 | 0.79 | 0.68 |
| | 20 都市農業の振興と都市農地の保全 | 0.51 | 0.43 | 0.50 | 0.59 | 0.57 | 0.47 | 0.42 | 0.46 | 0.61 | 0.45 |
| | 21 みどりの保全と創出 | 0.72 | 0.53 | 0.68 | 0.76 | 0.91 | 0.91 | 0.94 | 0.93 | 0.99 | 0.82 |
| | 22 地域活動の活性化と多文化共生社会 の実現 | 0.29 | 0.30 | 0.23 | 0.31 | 0.34 | 0.32 | 0.36 | 0.26 | 0.31 | 0.33 |
| | 23 文化・生涯学習・スポーツの振興 | 0.35 | 0.37 | 0.24 | 0.34 | 0.43 | 0.52 | 0.59 | 0.49 | 0.47 | 0.52 |
| | 24 観光の推進 | 0.07 | 0.15 | -0.01 | -0.06 | 0.15 | 0.25 | 0.32 | 0.17 | 0.24 | 0.27 |
| 区政運営 | 25 窓口サービス等の利便性の向上 | 0.40 | 0.39 | 0.36 | 0.47 | 0.40 | 0.91 | 0.89 | 0.97 | 0.87 | 0.90 |
| | 26 開かれた区政 | 0.43 | 0.37 | 0.50 | 0.42 | 0.42 | 0.75 | 0.73 | 0.80 | 0.72 | 0.74 |
| | 27 区政改革の取り組み | 0.21 | 0.17 | 0.17 | 0.22 | 0.27 | 0.80 | 0.78 | 0.85 | 0.79 | 0.81 |
| | 28 平和と人権の尊重、男女共同参画 の推進 | 0.32 | 0.34 | 0.22 | 0.26 | 0.42 | 0.40 | 0.42 | 0.40 | 0.42 | 0.37 |

満足度と必要性の相関

満足度と必要性の相関を加重平均値でみると、下の図1-8-3のようになっている。
この相関図では、●の点が上に分布するほど満足度が高く、右に分布するほど必要性が高くなる。

さらに、満足度の平均（0.27点）および必要性の平均（0.91点）を相関図上に点線を引いて4つに分割し、平均より上位であるか下位であるかが明確になるように示した。

図1-8-3 施策への満足度と必要性（加重平均値）の相関



これによると、満足度も必要性も高い（++：網かけ部分）のは、「健康づくりの推進」「子育て支援」「学校教育」「高齢者福祉」「障害者福祉」などである。
満足度が高いが必要性が低い（+-）のは、「都市農業の振興と都市農地の保全」「文化・生涯学習・スポーツの振興」「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」などである。
満足度が低いが必要性が高い（-+）のは、「交通安全対策」「災害に強い安全なまちづくり」「医療環境の充実」「地域環境の保全」「駅周辺のまちづくり」などである。
満足度も必要性も低い（--）のは、「観光の推進」「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」「エネルギー政策の展開」などである。（図1-8-3）

満足度の区全体と地区別比較

【I地区（〒176）】

全体と比較して満足度が高いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（+0.44点）、「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」（+0.11点）、「駅周辺のまちづくり」（+0.09点）などである。

満足度が低いのは「みどりの保全と創出」（-0.19点）、「子育て支援」（-0.15点）、「障害者福祉」（-0.11点）などである。（図1-8-4）

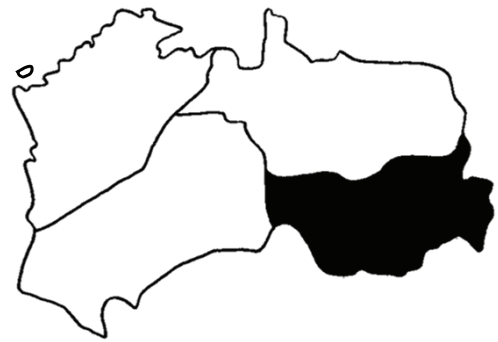
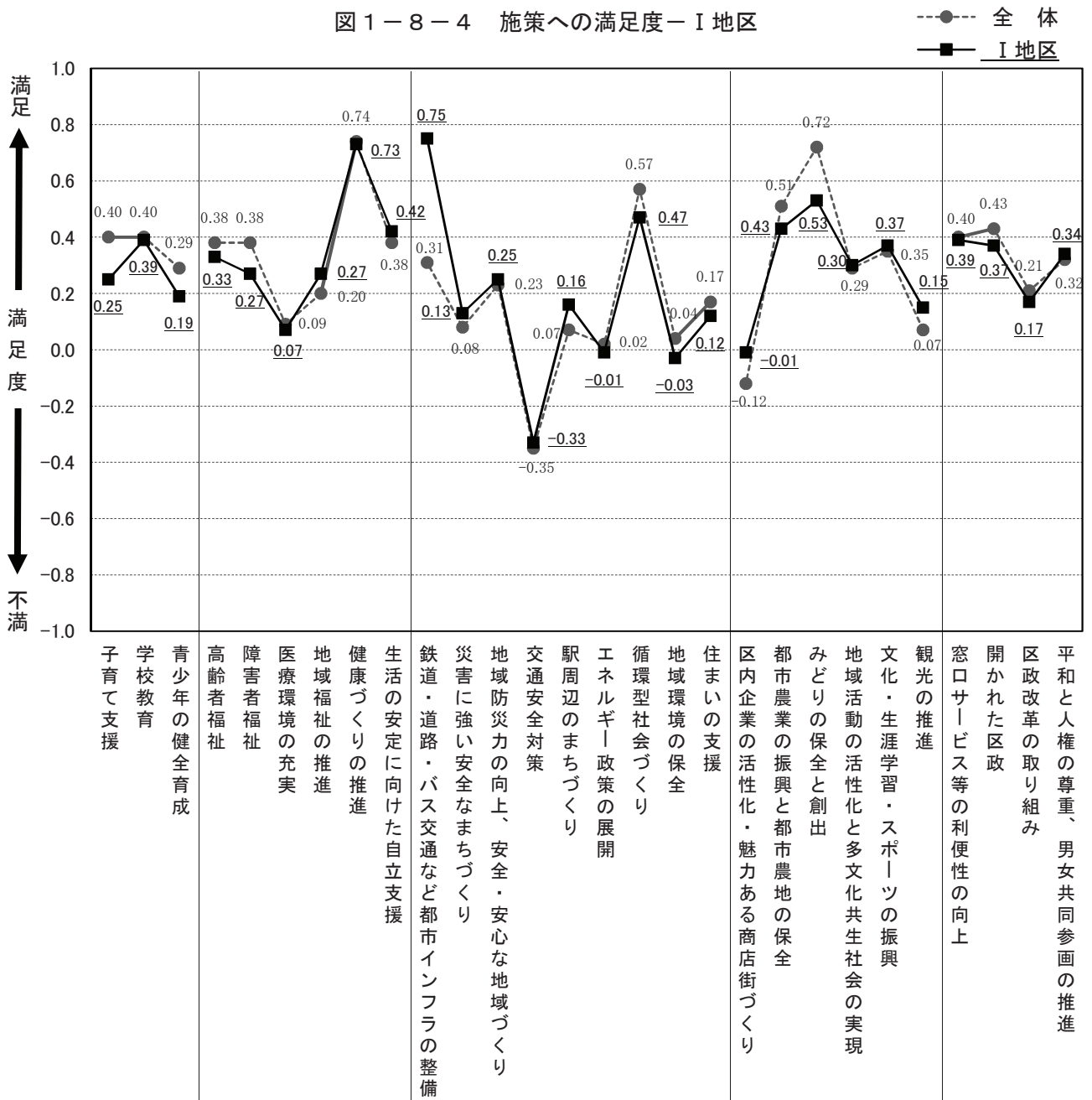


図1-8-4 施策への満足度－I地区



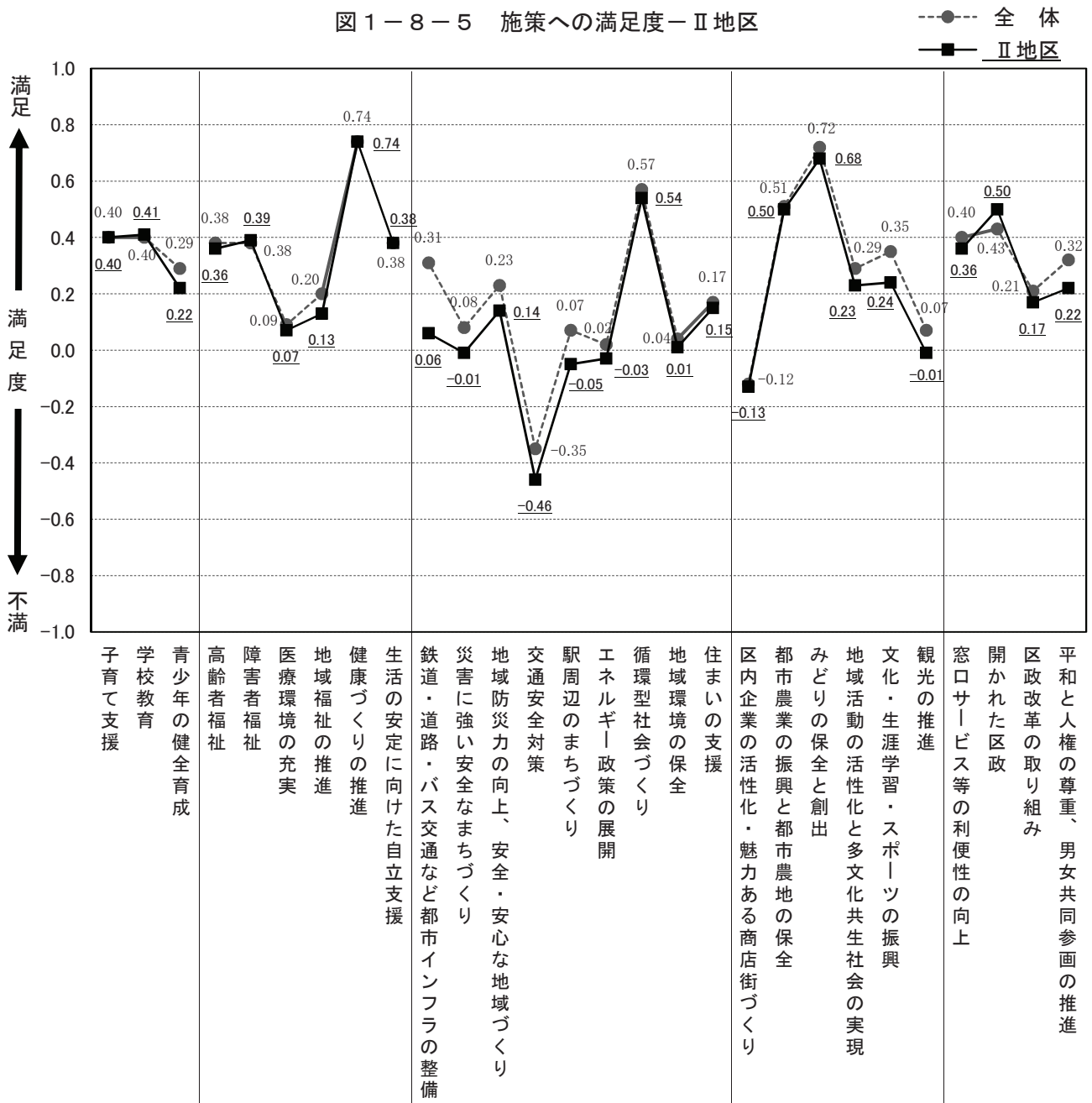
【Ⅱ地区（〒177）】

全体と比較して満足度が高いのは「開かれた区政」（+0.07点）である。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（-0.25点）、「駅周辺のまちづくり」（-0.12点）、「交通安全対策」「文化・生涯学習・スポーツの振興」（ともに-0.11点）などである。（図1-8-5）



図1-8-5 施策への満足度－Ⅱ地区



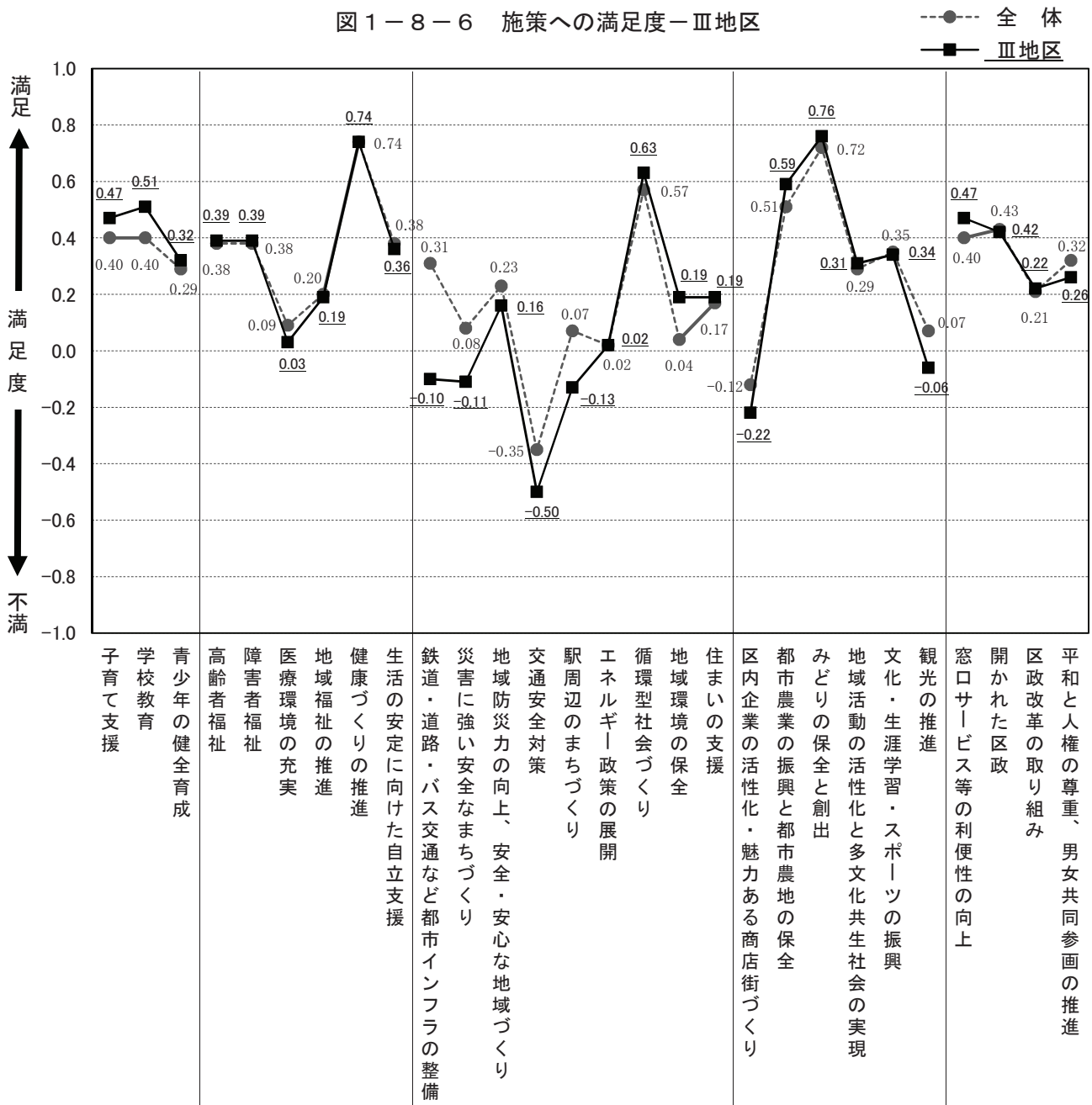
【Ⅲ地区（〒178）】

全体と比較して満足度が高いのは「地域環境の保全」（+0.15点）、「学校教育」（+0.11点）、「都市農業の振興と都市農地の保全」（+0.08点）などである。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（-0.41点）、「駅周辺のまちづくり」（-0.20点）、「災害に強い安全なまちづくり」（-0.19点）、「交通安全対策」（-0.15点）などである。（図1-8-6）



図1-8-6 施策への満足度－Ⅲ地区



【IV地区（〒179）】

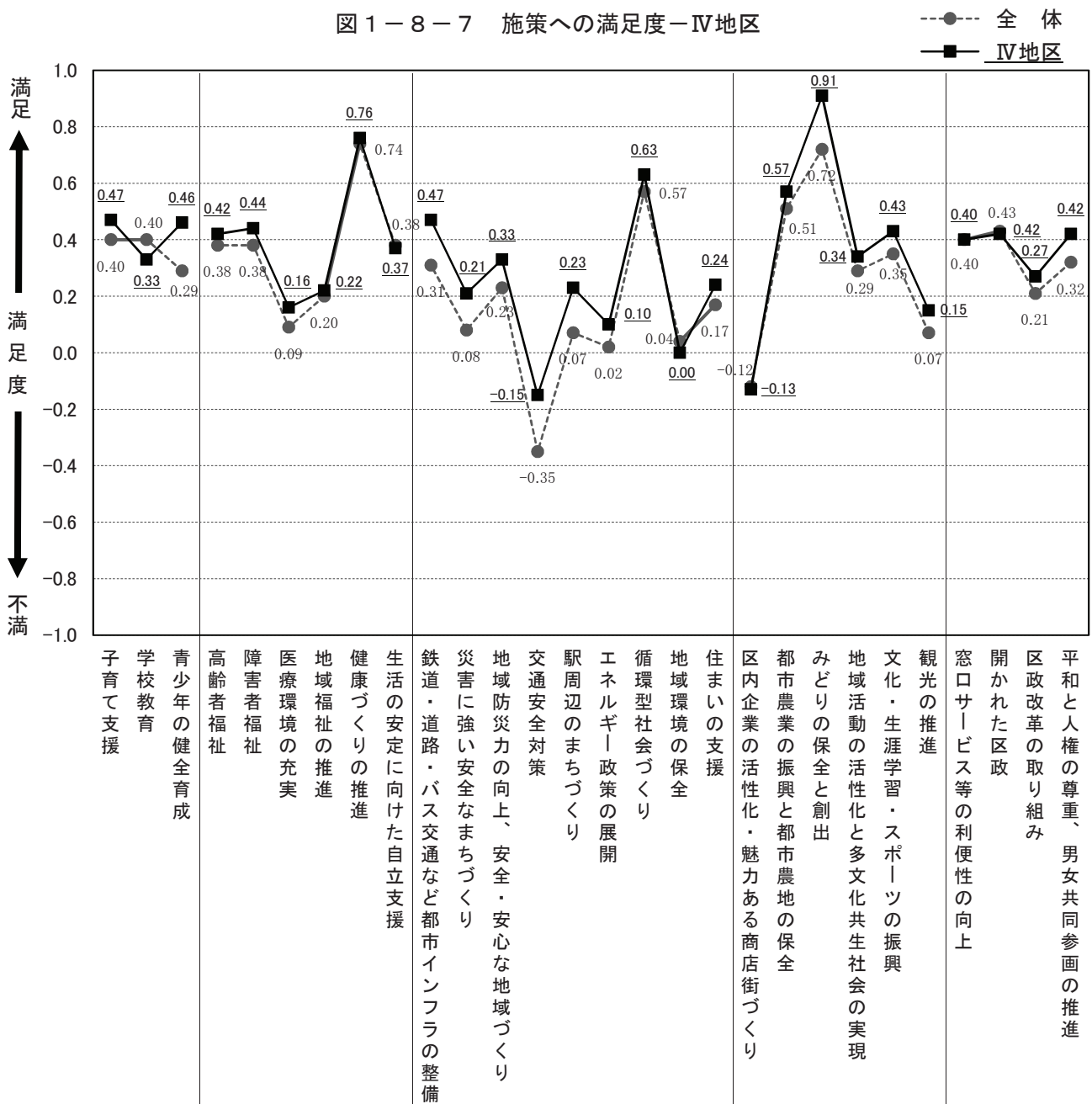
全体と比較して満足度が高いのは「交通安全対策」（+0.20点）、「みどりの保全と創出」（+0.19点）、「青少年の健全育成」（+0.17点）、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「駅周辺のまちづくり」（ともに+0.16点）などである。

満足度が低いのは「学校教育」（-0.07点）、「地域環境の保全」（-0.04点）などである。

（図1-8-7）



図1-8-7 施策への満足度—IV地区

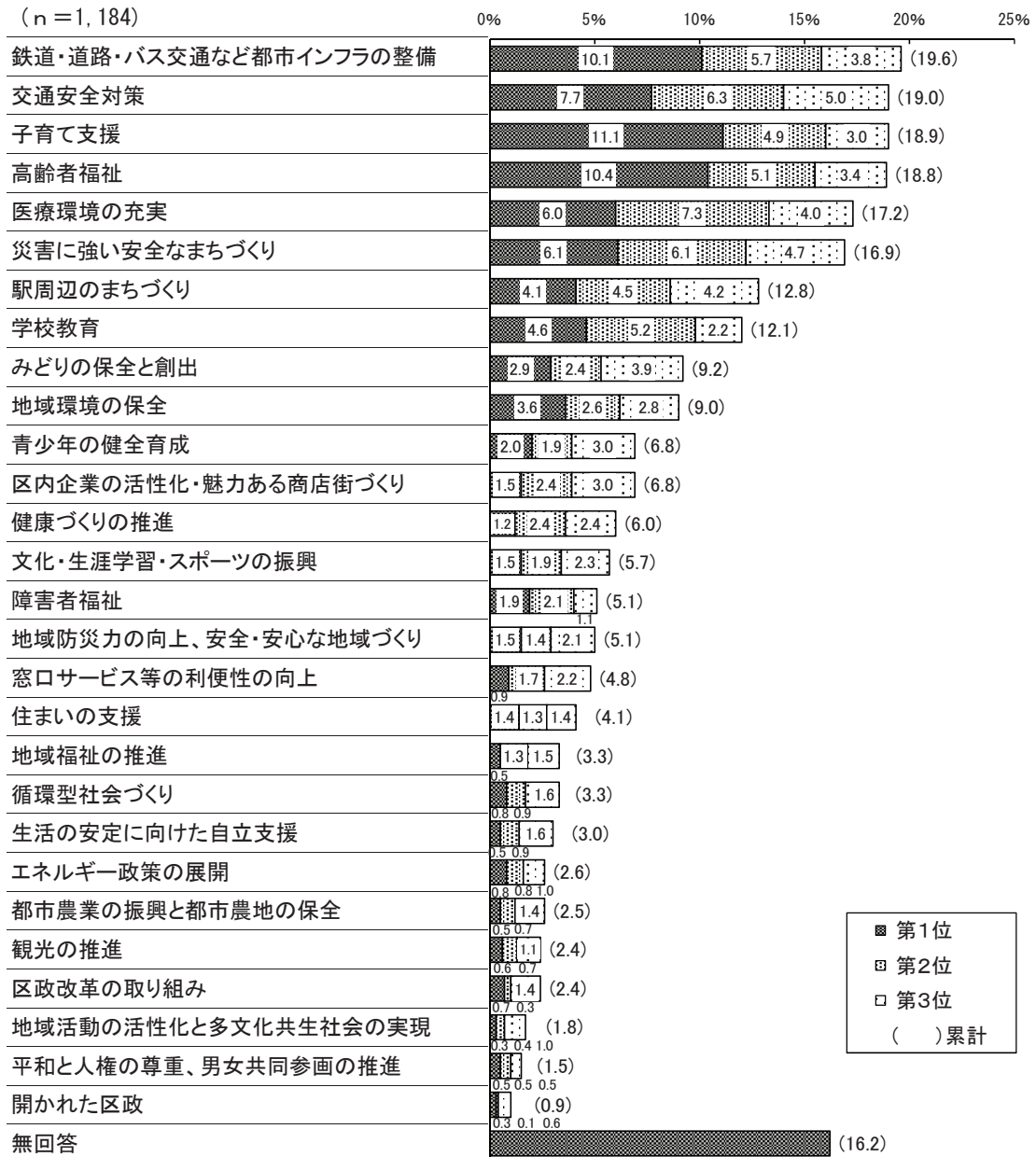


(9) 施策への要望

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「交通安全対策」が約2割

問9 練馬区の施策（問8の1～28）の中で、あなたが特に力を入れてほしいと思うものを、第1位、第2位、第3位と順位をつけて、その番号を下の該当する欄に記入してください。

図1-9-1 施策への要望



特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(19.6%)が約2割と最も多く、次いで「交通安全対策」(19.0%)、「子育て支援」(18.9%)、「高齢者福祉」(18.8%)、「医療環境の充実」(17.2%)、「災害に強い安全なまちづくり」(16.9%)などの順となっている。(図1-9-1)

表 1-9-1 施策への要望一過年度比較

| | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 | 第 4 位 | 第 5 位 |
|--------|-----------------------|----------|------------------|---------|-------------|
| 平成29年度 | 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 | 交通安全対策 | 子育て支援 | 高齢者福祉 | 医療環境の充実 |
| 平成28年度 | 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 | 交通安全対策 | 高齢者福祉 | 子育て支援 | 駅周辺のまちづくり |
| 平成27年度 | 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 | 高齢者福祉 | 交通安全対策 | 子育て支援 | 医療環境の充実 |
| 平成26年度 | 交通安全対策 | 高齢者福祉 | 子育て支援 | 医療体制の確立 | 道路や公共交通の整備 |
| 平成25年度 | 医療体制の確立 | 高齢者福祉 | 防犯・防火・防災 | 交通安全対策 | 子育て支援 |
| 平成24年度 | 防犯・防火・防災 | 交通安全対策 | 災害に強く生活しやすいまちづくり | 子育て支援 | 医療体制の確立 |
| 平成23年度 | 子育て支援 | 防犯・防火・防災 | 災害に強く生活しやすいまちづくり | 医療体制の確立 | 高齢者福祉 |
| 平成22年度 | 医療体制の確立 | 高齢者福祉 | 子育て支援 | 交通安全対策 | 防犯・防火・防災 |
| 平成21年度 | 高齢者福祉 | 子育て支援 | 防犯・防火・防災 | 交通安全対策 | 生活しやすいまちづくり |
| 平成20年度 | 高齢者福祉 | 防犯・防火・防災 | 交通安全対策 | 子育て支援 | 学校教育 |

過去の調査と比較すると、^{注1}「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が3年連続で第1位、「交通安全対策」が2年連続で第2位となっており、「子育て支援」「高齢者福祉」は前回調査（平成28年度）同様4位以内に入っている。^{注1}「医療環境の充実」は前々回調査（平成27年度）同様5位となっている。（表1-9-1）

注1) 「医療環境の充実」は平成26年度までは「医療体制の確立」としていた。
「地域福祉の推進」は平成26年度までは「地域で支える福祉」としていた。
「健康づくりの推進」は平成26年度までは「健康づくり」としていた。
「生活の安定に向けた自立支援」は平成26年度までは「生活の安定のための支援」としていた。
「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は平成26年度までは「道路や公共交通（鉄道やバスなど）の整備」としていた。
「災害に強い安全なまちづくり」は平成26年度までは「災害に強く生活しやすいまちづくり」としていた。
「地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり」は平成26年度までは「防犯・防火・防災」としていた。
「住まいの支援」は平成26年度までは「公共住宅の整備や住まいづくりの情報提供」としていた。
「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」は平成26年度までは「中小企業・商店街の振興」としていた。
「都市農業の振興と都市農地の保全」は平成26年度までは「都市農業の振興・農地の保全」としていた。
「みどりの保全と創出」は平成26年度までは「みどりの保全と創造」としていた。
「地域活動の活性化と多文化共生社会の実現」は平成26年度までは「地域活動の支援」「地域の国際交流」としていた。
「文化・生涯学習・スポーツの振興」は平成26年度までは「文化芸術・生涯学習活動、スポーツ活動の支援」としていた。
「窓口サービス等の利便性の向上」は平成26年度までは「区の窓口サービスの向上」としていた。
「開かれた区政」は平成26年度までは「開かれた行政運営」としていた。
「区政改革の取り組み」は平成27年度は「持続可能な行財政改革の取組」、平成26年度までは「行財政改革の取組」としていた。
「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」は平成26年度までは「平和と人権の尊重や男女共同参画の推進」としていた。

注2) 「駅周辺のまちづくり」「エネルギー政策の展開」は平成27年度から追加された選択肢。

表 1 - 9 - 2 施策への要望—地区別／性別／性・年齢別

(%)

| | | AA (50%以上) | A (40～50%未満) | B (30～40%未満) | C (20～30%未満) | |
|-------|------------------|---------------|--|-------------------------------------|--|---|
| 全 体 | | | | | | |
| 地区別 | I 地区 (〒176) | | | | ・子育て支援 24.1 | |
| | II 地区 (〒177) | | | | ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 25.5 | |
| | III 地区 (〒178) | | | ・鉄道・道路・バス 交通など都市 インフラの整備 31.0 | ・交通安全対策 26.8 | |
| | IV 地区 (〒178) | | | | ・高齢者福祉 20.9 ・医療環境の充実 20.3 | |
| 性別 | 男 性 | | | | ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 21.6 | |
| | 女 性 | | | | ・子育て支援 20.1 | |
| 性・年齢別 | 男 | 20 歳代 | ・鉄道・道路・バス 交通など都市 インフラの整備 45.7 | ・駅周辺のまちづくり 31.4 | ・子育て支援 20.0 ・交通安全対策 20.0 | |
| | | 30 歳代 | ・子育て支援 52.5 | | ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 29.5 ・学校教育 27.9 ・交通安全対策 26.2 ・駅周辺のまちづくり 26.2 | |
| | | 40 歳代 | | ・鉄道・道路・バス 交通など都市 インフラの整備 34.1 | ・駅周辺のまちづくり 24.2 ・学校教育 23.1 ・子育て支援 22.0 | |
| | | 50 歳代 | | | ・高齢者福祉 23.3 ・交通安全対策 23.3 | |
| | | 60 歳代 | | | | |
| | | 70歳以上 | | | ・高齢者福祉 29.5 ・医療環境の充実 23.2 | |
| | 女 | 20 歳代 | | | | ・子育て支援 28.6 ・災害に強い安全なまちづくり 26.8 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 25.0 ・交通安全対策 25.0 |
| | | 30 歳代 | | ・子育て支援 48.2 | | ・学校教育 24.1 |
| | | 40 歳代 | | | | ・交通安全対策 26.8 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 24.6 |
| | | 50 歳代 | | | ・高齢者福祉 30.5 | ・災害に強い安全なまちづくり 29.0 ・医療環境の充実 27.5 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 23.7 ・交通安全対策 20.6 |
| | | 60 歳代 | | | | ・医療環境の充実 27.6 ・高齢者福祉 24.4 ・災害に強い安全なまちづくり 20.3 |
| | | 70歳以上 | | | | ・高齢者福祉 23.5 |

次に、要望の大きさを、比率に応じてAA（50%以上）、A（40～50%未満）、B（30～40%未満）、C（20～30%未満）の4つのランクに分けて、地区別、性別、性・年齢別に分類した。その結果が表1-9-2である。

地区別にみると、各地区ともにAAランク、Aランクに入る施策はない。

Bランク以下をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」がⅢ地区（〒178）でBランク、Ⅱ地区（〒177）でCランクとなっている。

性別にみると、男女ともAAランク、Aランク、Bランクに入る施策はない。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が男性でCランク、「子育て支援」が女性でCランクとなっている。

性・年齢別にみると、「子育て支援」は男性30歳代でAAランク、女性30歳代でAランク、男性20歳代と40歳代、女性20歳代でCランクとなっている。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は男性20歳代でAランク、男性40歳代でBランク、男性30歳代、女性20歳代と40歳代と50歳代でCランクとなっている。

「駅周辺のまちづくり」は男性20歳代でBランク、男性30歳代と40歳代でCランクとなっている。

「交通安全対策」は男性20歳代と30歳代と50歳代、女性20歳代と40歳代と50歳代でCランクとなっている。

「学校教育」は男性30歳代と40歳代、女性30歳代でCランクとなっている。

「高齢者福祉」は女性50歳代でBランク、男性50歳代と70歳以上、女性60歳代、70歳以上でCランクとなっている。

「医療環境の充実」は男性70歳以上、女性50歳代と60歳代でCランクとなっている。

「災害に強い安全なまちづくり」は女性20歳代と50歳代と60歳代でCランクとなっている。

（表1-9-2）

《 施策への満足度・要望（「住みよい」と答えた方） 》

練馬区の住みごころ（問2・61ページ参照）の評価は、28項目の施策への満足度（問8・86～88ページ参照）および施策への要望（問9・98ページ参照）とどのような関係があるのかをみる。

練馬区が「住みよい」と答えた方（456人）の政策への満足度（問8）をみると、「満足」および「どちらかといえば満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかといえば不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。（図1-9-2）

| 『満足評価』上位5項目 | | 『不満評価』上位5項目 | |
|-----------------|---------|----------------------|---------|
| ①健康づくりの推進 | (84.2%) | ①交通安全対策 | (45.2%) |
| ②みどりの保全と創出 | (82.9%) | ②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり | (36.0%) |
| ③循環型社会づくり | (79.2%) | ③地域環境の保全 | (35.7%) |
| ④開かれた区政 | (78.9%) | ④医療環境の充実 | (31.4%) |
| ⑤窓口サービス等の利便性の向上 | (75.7%) | ⑤エネルギー政策の展開 | (30.3%) |

図1-9-2 練馬区の住みごちが「住みよい」と答えた方の施策への満足度

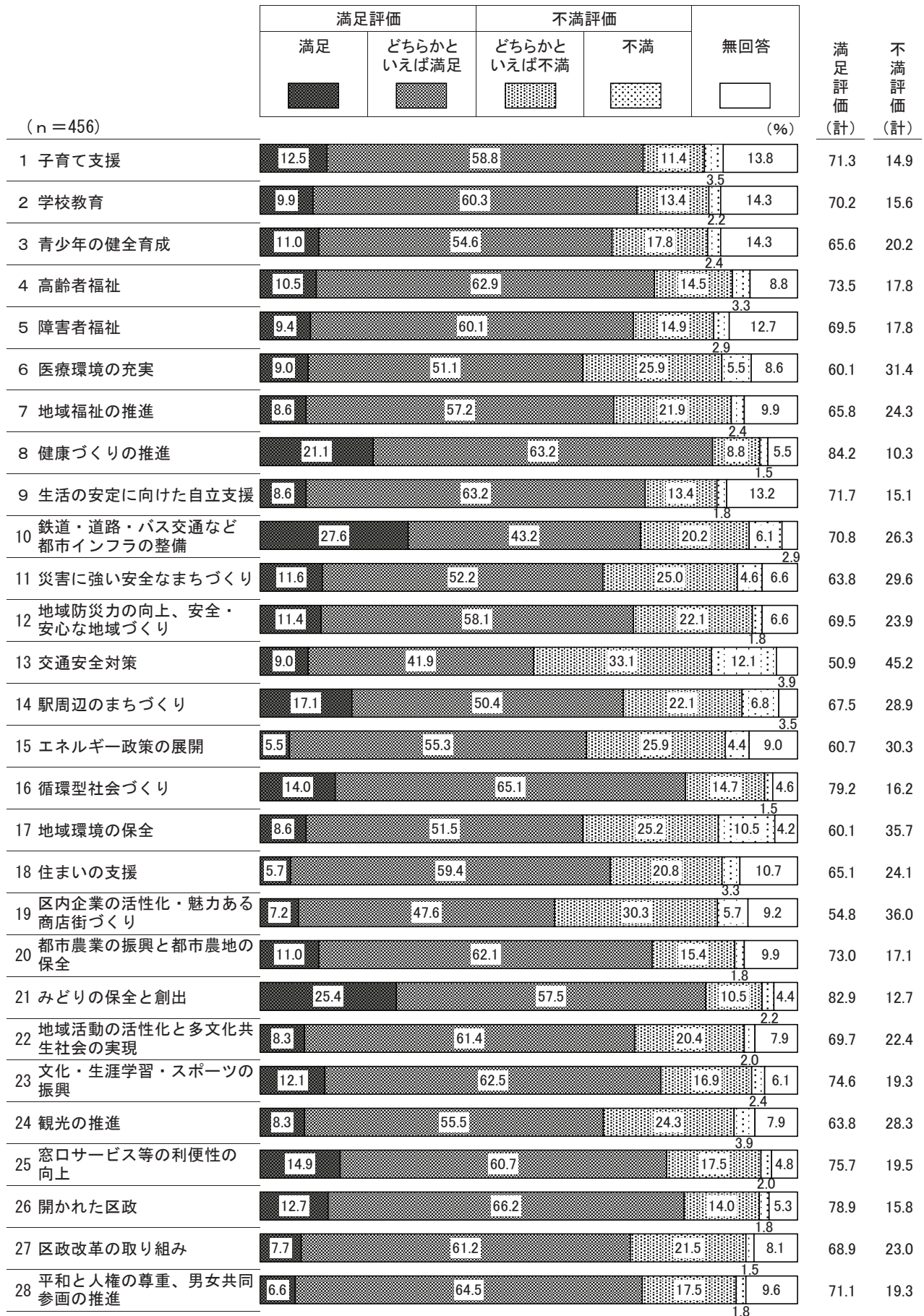
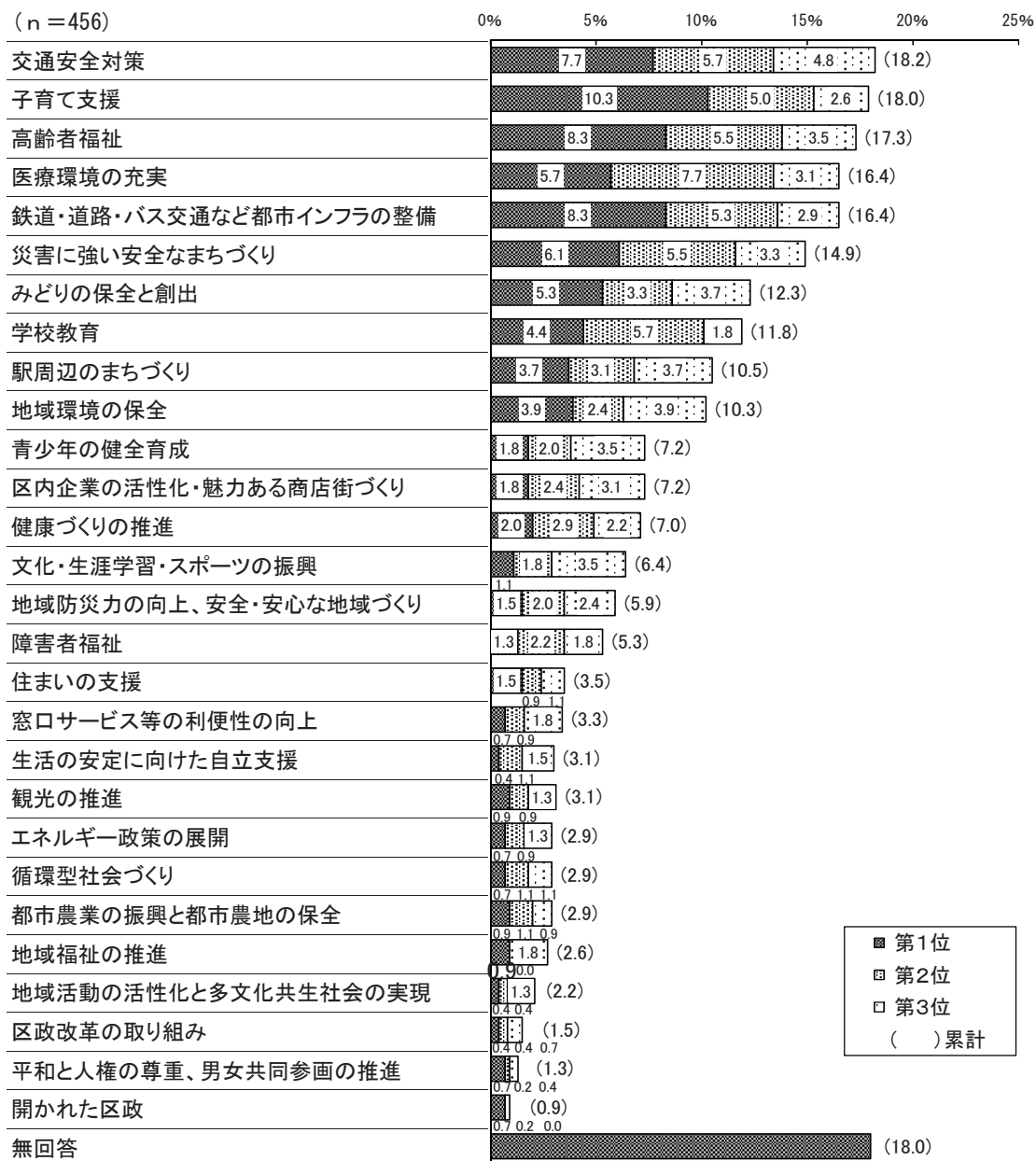


図1-9-3 練馬区の住みごちが「住みよい」と答えた方の施策への要望



練馬区が「住みよい」と答えた方（456人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「交通安全対策」（18.2%）、「子育て支援」（18.0%）が2割近くと多く、次いで「高齢者福祉」（17.3%）、「医療環境の充実」「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（ともに16.4%）、「災害に強い安全なまちづくり」（14.9%）などの順となっている。（図1-9-3）

《 施策への満足度・要望（「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方） 》

次に、練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（47人）の政策への満足度（問8）をみると、『満足評価』と『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。（図1-9-4）

| 『満足評価』上位5項目 | 『不満評価』上位5項目 |
|-----------------------------|------------------------------------|
| ①都市農業の振興と都市農地の保全 (46.8%) | ①交通安全対策 (87.2%) |
| ②みどりの保全と創出 (44.7%) | ②駅周辺のまちづくり (85.1%) |
| ③健康づくりの推進 (42.6%) | ③鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備 (78.7%) |
| ④循環型社会づくり (36.2%) | ③区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり (78.7%) |
| ④文化・生涯学習・スポーツの振興 (36.2%) | ⑤医療環境の充実 (72.3%) |
| ④窓口サービス等の利便性の向上 (36.2%) | |

図1-9-4 練馬区の住みごちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方の施策への満足度

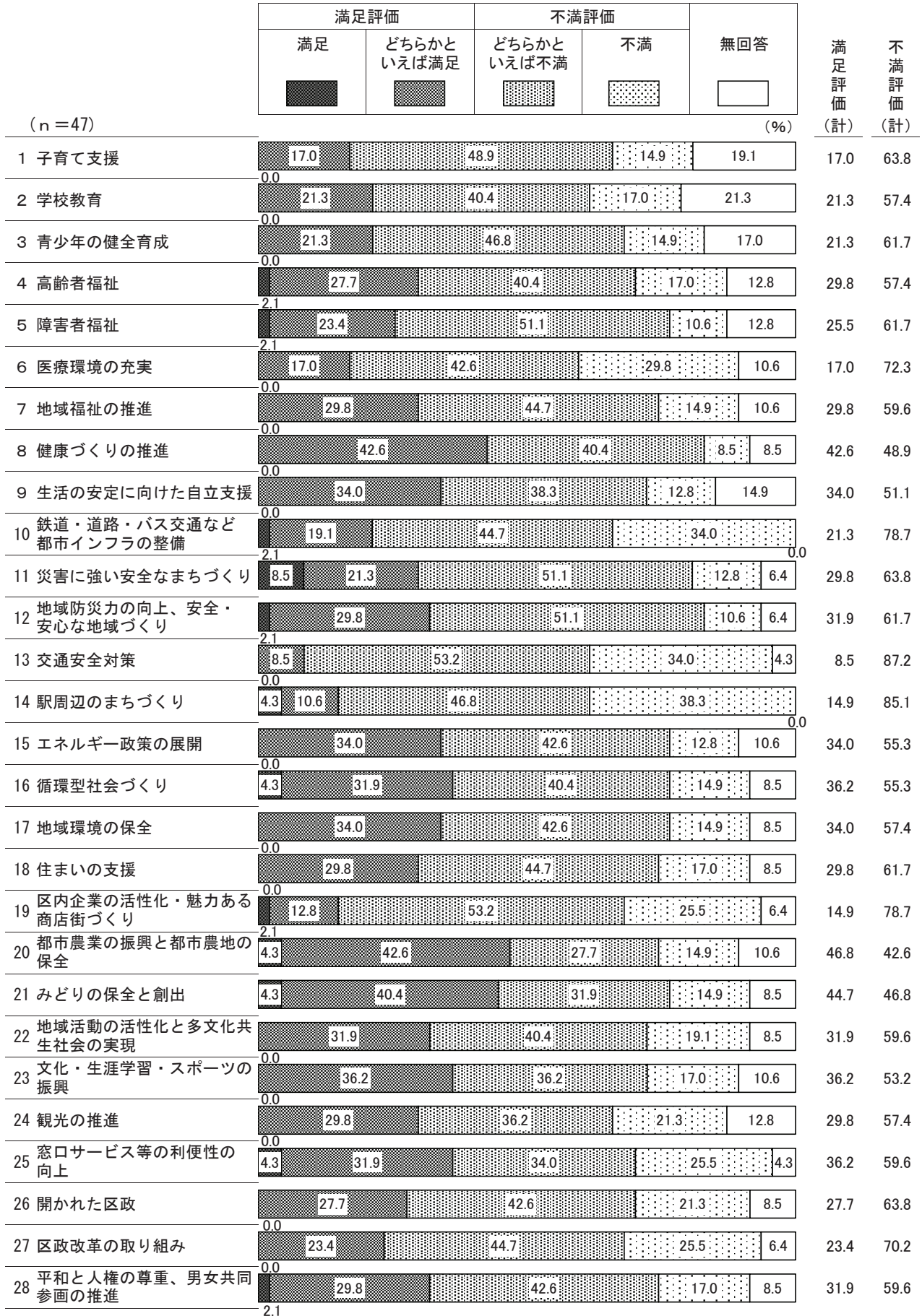
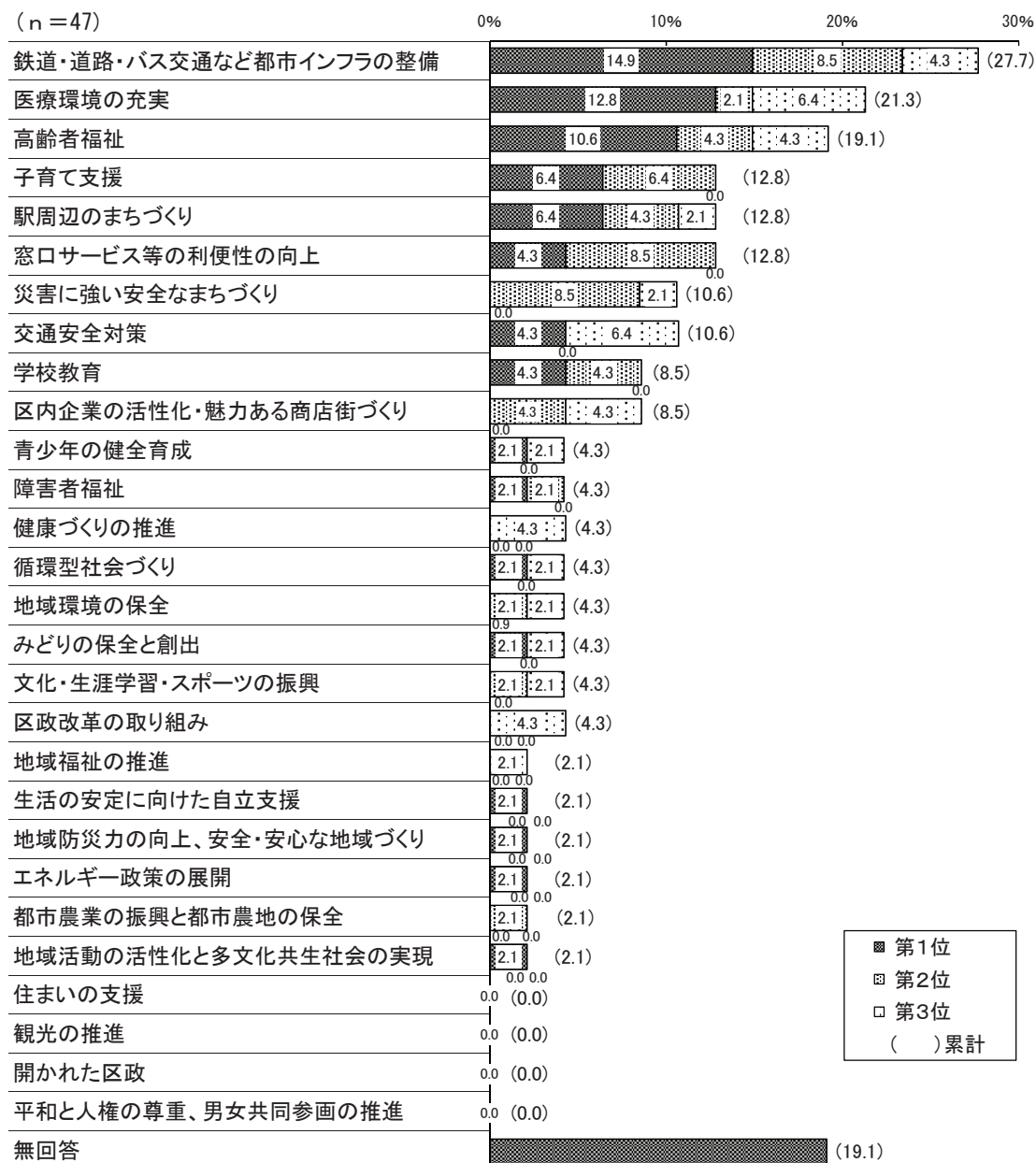


図1-9-5 練馬区の住みごちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方の施策への要望



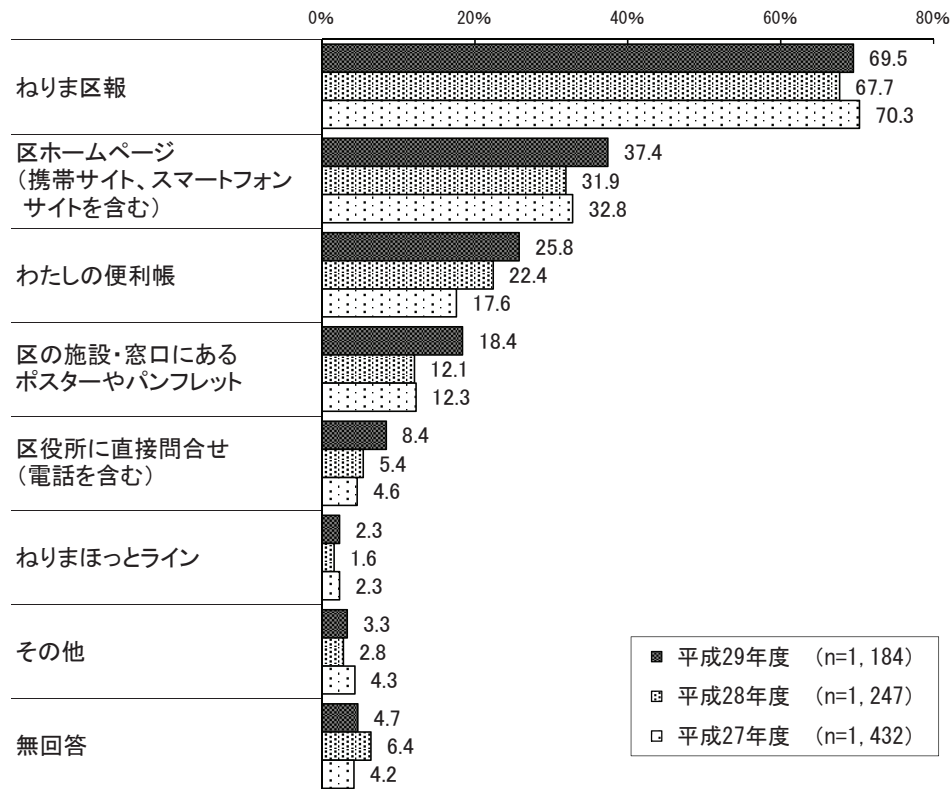
練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方(47人)の施策への要望(問9)をみると、第1位から第3位までの累計は、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(27.7%)が3割近くと最も多く、次いで「医療環境の充実」(21.3%)、「高齢者福祉」(19.1%)、「子育て支援」「駅周辺のまちづくり」「窓口サービス等の利便性の向上」(いずれも12.8%)などの順となっている。(図1-9-5)

(10) 区政情報の入手先

◇「ねりま区報」が約7割

問13 あなたは、区政の情報を主に何から入手していますか。
次の中から2つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。（2つまで）

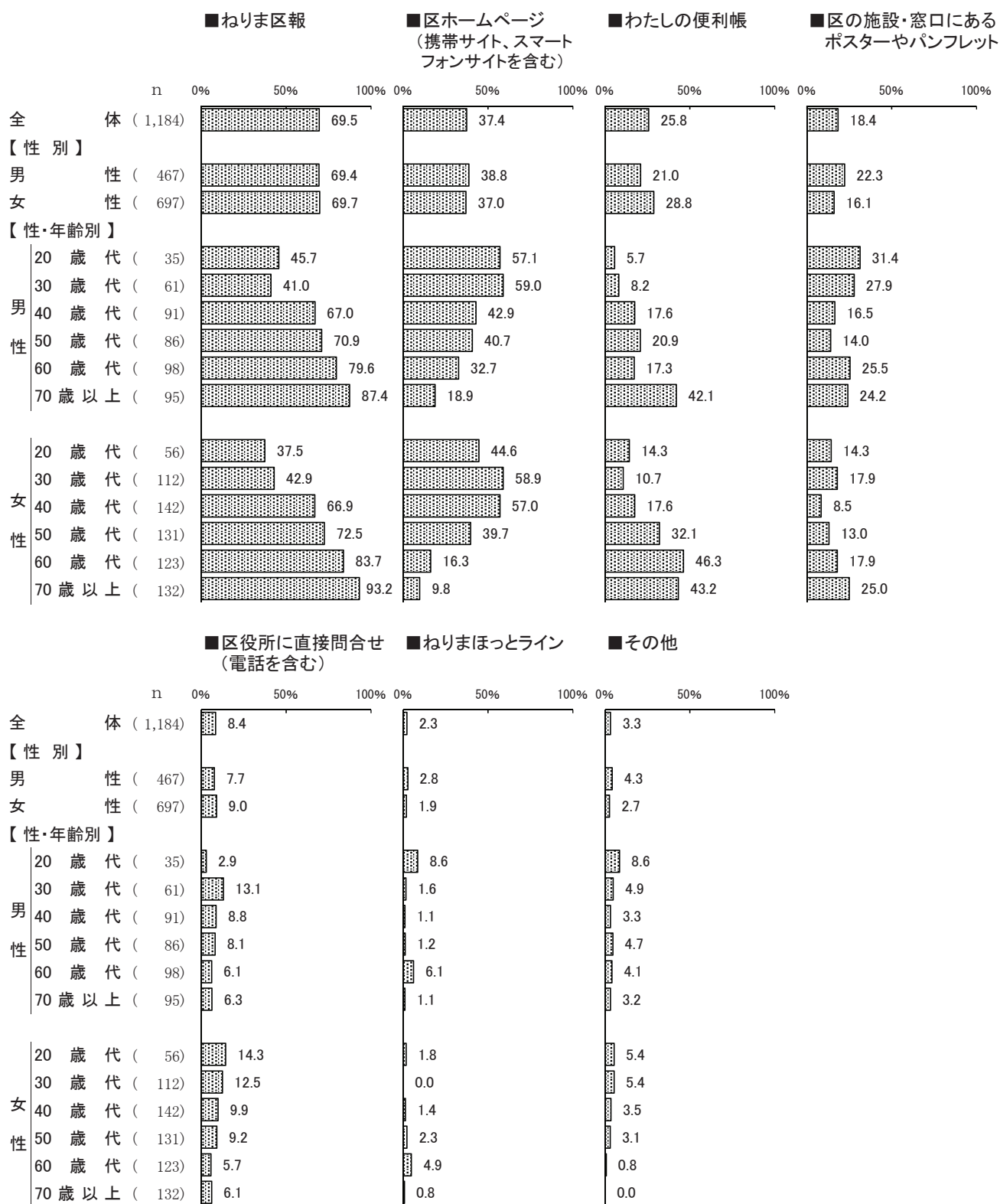
図1-10-1 区政情報の入手先



区政の情報を主に何から入手しているか聞いたところ、「ねりま区報」（69.5%）が約7割と最も多く、次いで「区ホームページ（携帯サイト、スマートフォンサイトを含む）」（37.4%）、「わたしの便利帳」（25.8%）、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」（18.4%）、「区役所に直接問合せ（電話を含む）」（8.4%）などの順となっている。

過去の調査と比較すると、前回調査（平成28年度）より「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」は6.3ポイント、「区ホームページ（携帯サイト、スマートフォンサイトを含む）」は5.5ポイント、「わたしの便利帳」は3.4ポイント増加している。（図1-10-1）

図 1-10-2 区政情報の入手先—性別／性・年齢別



性別にみると、「わたしの便利帳」は女性の方が7.8ポイント、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」は男性の方が6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ねりま区報」や「わたしの便利帳」は男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多い傾向となっている。「区ホームページ（携帯サイト、スマートフォンサイトを含む）」は男性20歳代・30歳代、女性30歳代・40歳代で6割近くと多くなっている。

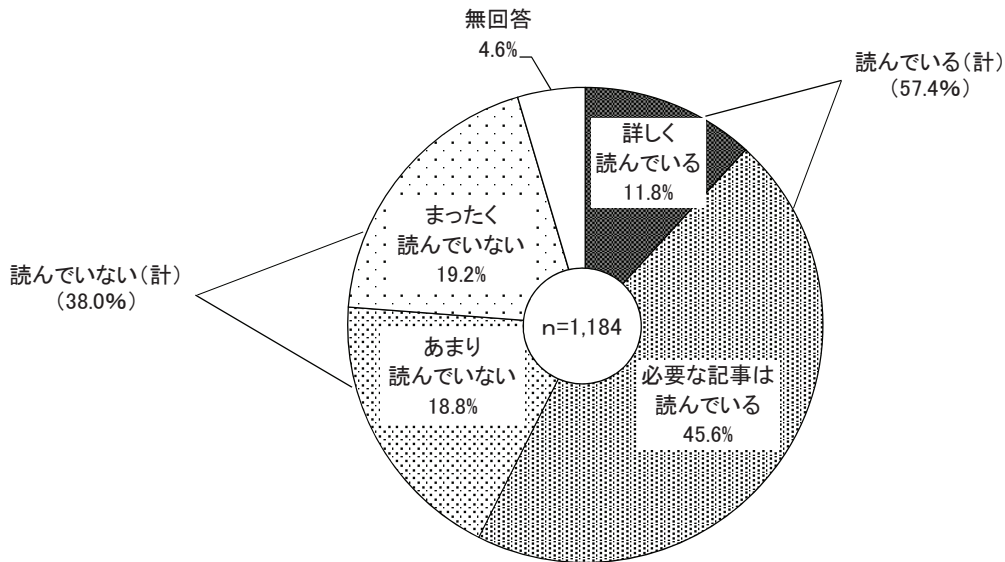
(図 1-10-2)

(11) 『ねりま区報』の閲読度

◇『読んでいる』が6割近く

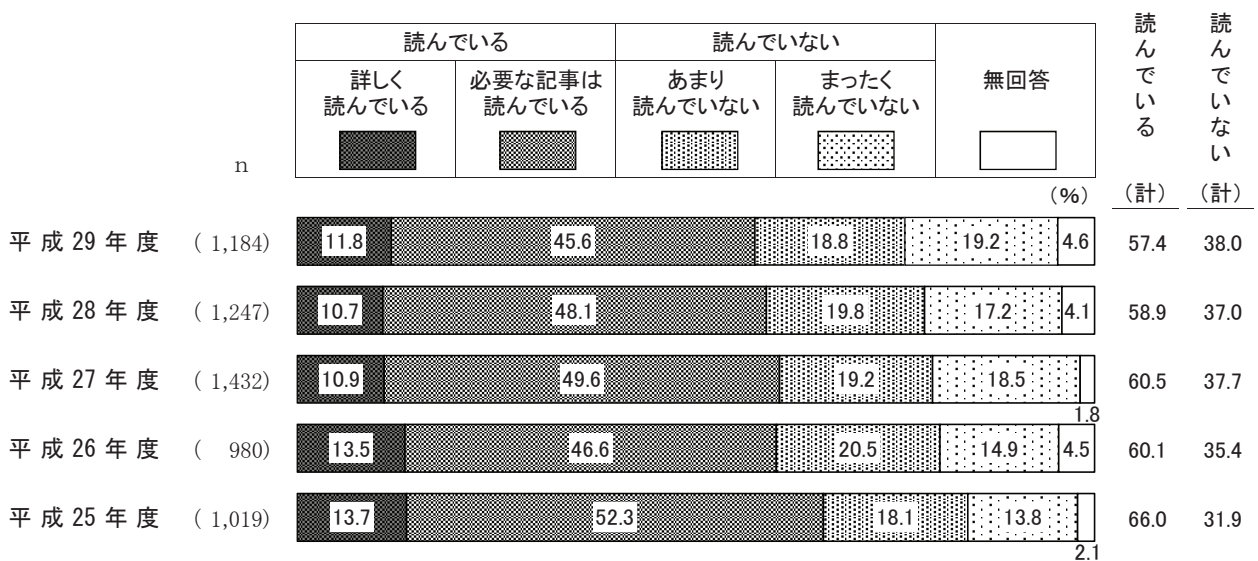
問14 あなたは、『ねりま区報』をどの程度読んでいますか。(○は1つ)

図1-11-1 『ねりま区報』の閲読度



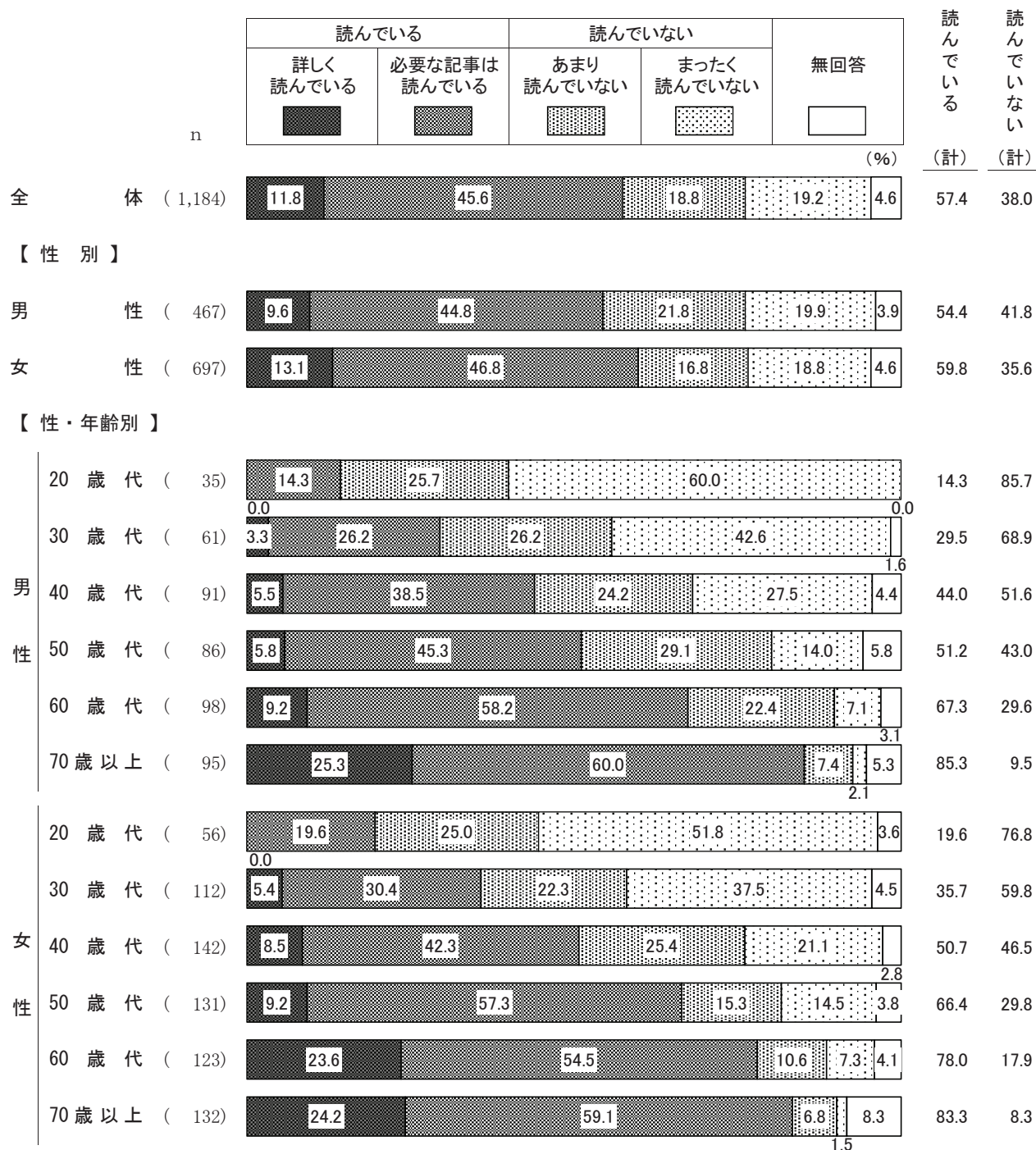
『ねりま区報』をどの程度読んでいるか聞いたところ、「詳しく読んでいる」(11.8%)と「必要な記事は読んでいる」(45.6%)を合わせた『読んでいる』(57.4%)は6割近くとなっている。一方、「あまり読んでいない」(18.8%)と「まったく読んでいない」(19.2%)を合わせた『読んでいない』(38.0%)は4割近くとなっている。(図1-11-1)

図1-11-2 『ねりま区報』の閲読度—過年度比較



過去の調査と比較すると、「詳しく読んでいる」は平成27年度以降約1割で推移している。『読んでいる』は前回調査(平成28年度)と大きな傾向の違いはみられない。(図1-11-2)

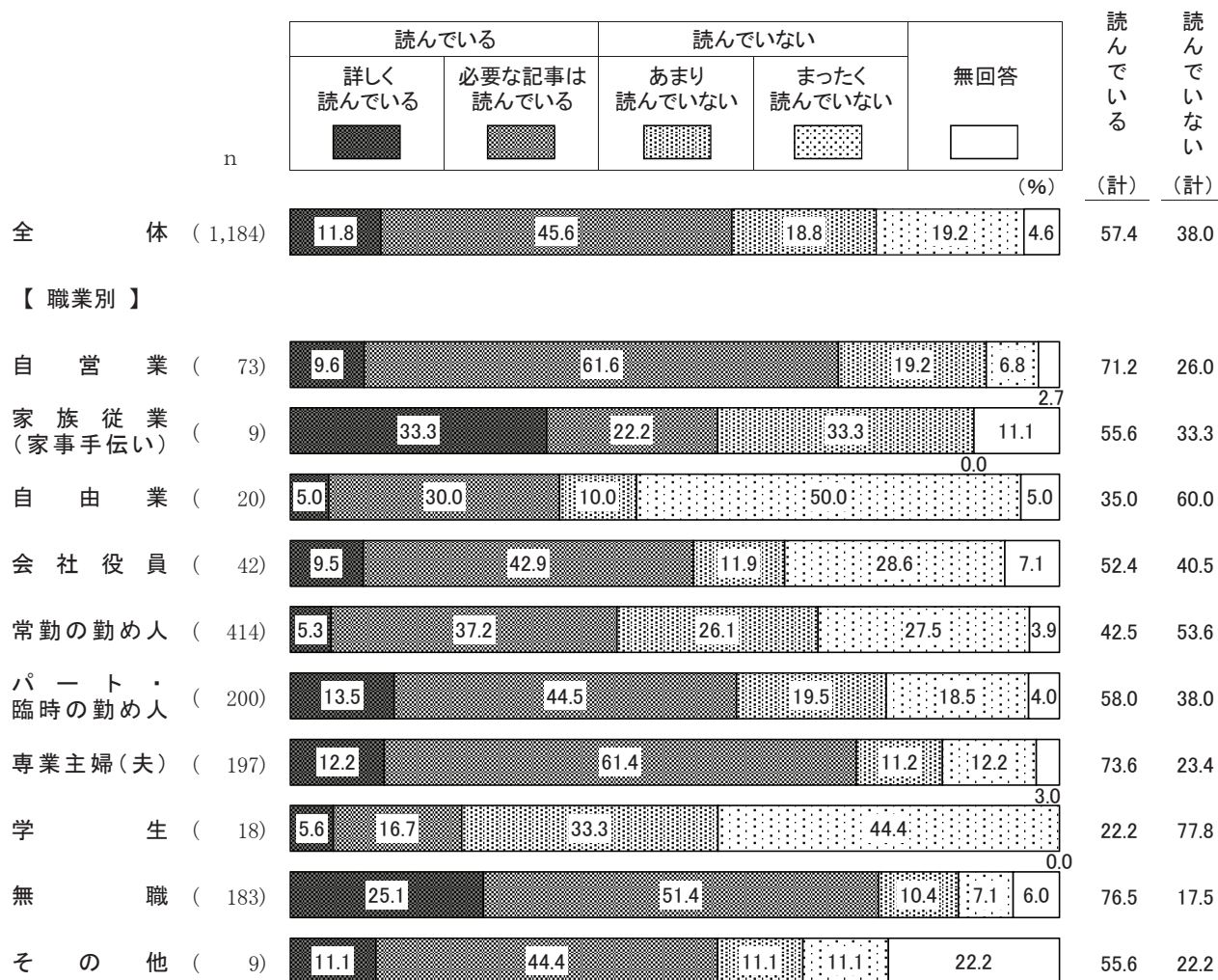
図1-11-3 『ねりま区報』の閲読度－性別／性・年齢別



性別にみると、『読んでいる』は女性の方が5.4ポイント高く、約6割となっている。

性・年齢別にみると、『読んでいる』は男女ともに年代が上がるほど割合が多くなり、男性70歳以上、女性70歳以上で8割を超えている。一方、『読んでいない』は男性20歳代で8割台半ば、女性20歳代で7割台半ばと多くなっている。(図1-11-3)

図 1-11-4 『ねりま区報』の閲読度－職業別



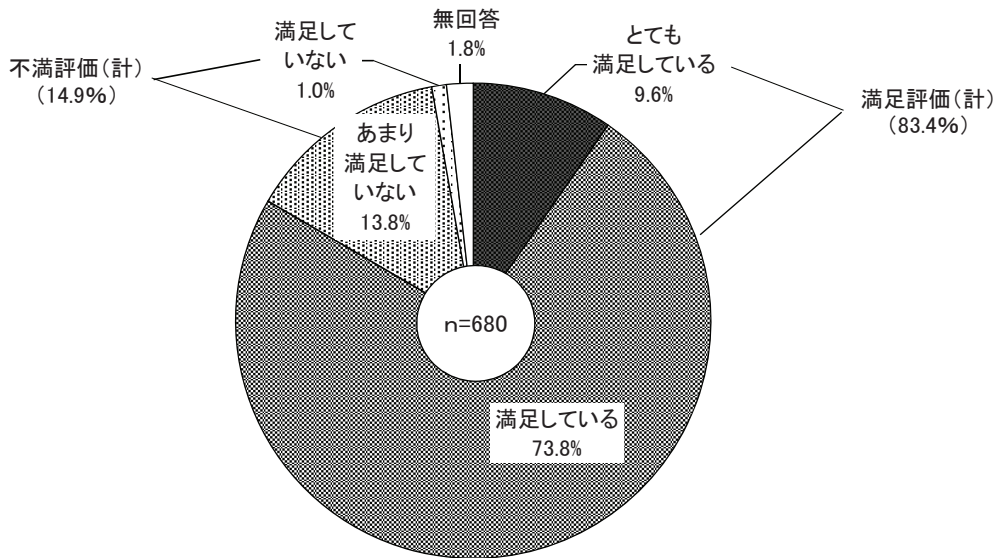
職業別にみると、『読んでいる』は無職で7割台半ば、専業主婦（夫）と自営業で7割を超えて多くなっている。（図 1-11-4）

(11-1) 『ねりま区報』の満足度

◇『満足評価』が8割を超える

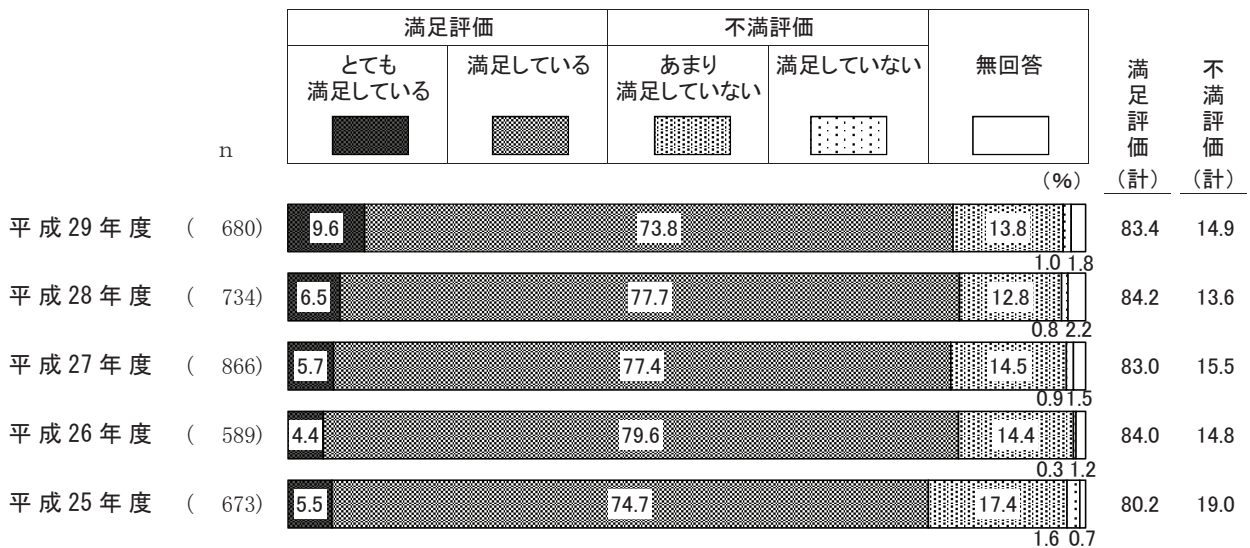
(問14で「1 詳しく読んでいる」または「2 必要な記事は読んでいる」と答えた方へ)
 問14-1 あなたは、『ねりま区報』にどの程度満足していますか。(○は1つ)

図1-11-5 『ねりま区報』の満足度



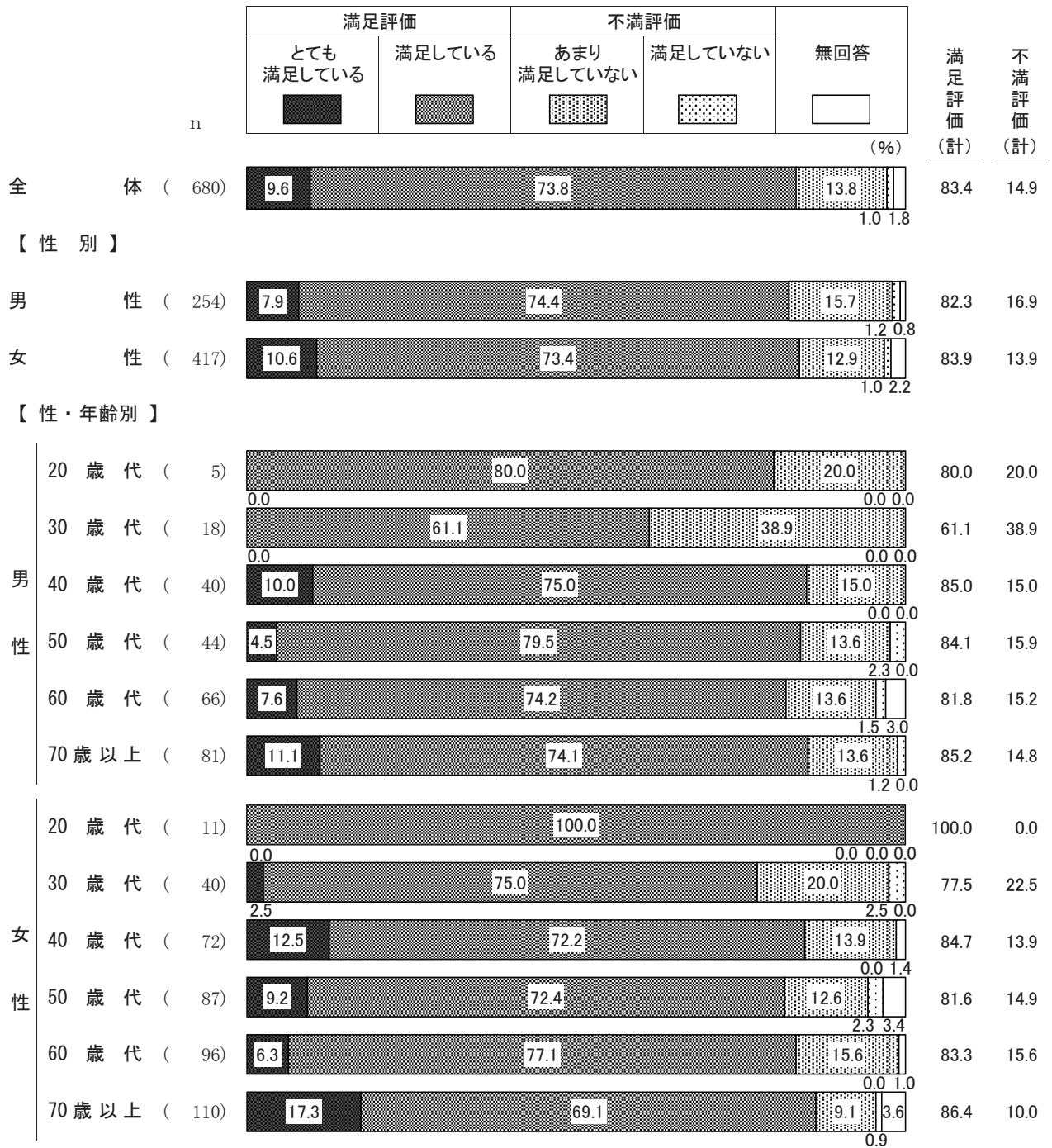
『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(680人)に、『ねりま区報』にどの程度満足しているか聞いたところ、「とても満足している」(9.6%)と「満足している」(73.8%)を合わせた『満足評価』(83.4%)は8割を超えている。一方、「あまり満足していない」(13.8%)と「満足していない」(1.0%)を合わせた『不満評価』(14.9%)は1割台半ばとなっている。(図1-11-5)

図1-11-6 『ねりま区報』の満足度一過年度比較



過去の調査と比較すると、「とても満足している」は前回調査(平成28年度)より3.1ポイント増加している。『満足評価』は平成25年度以降8割台で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。(図1-11-6)

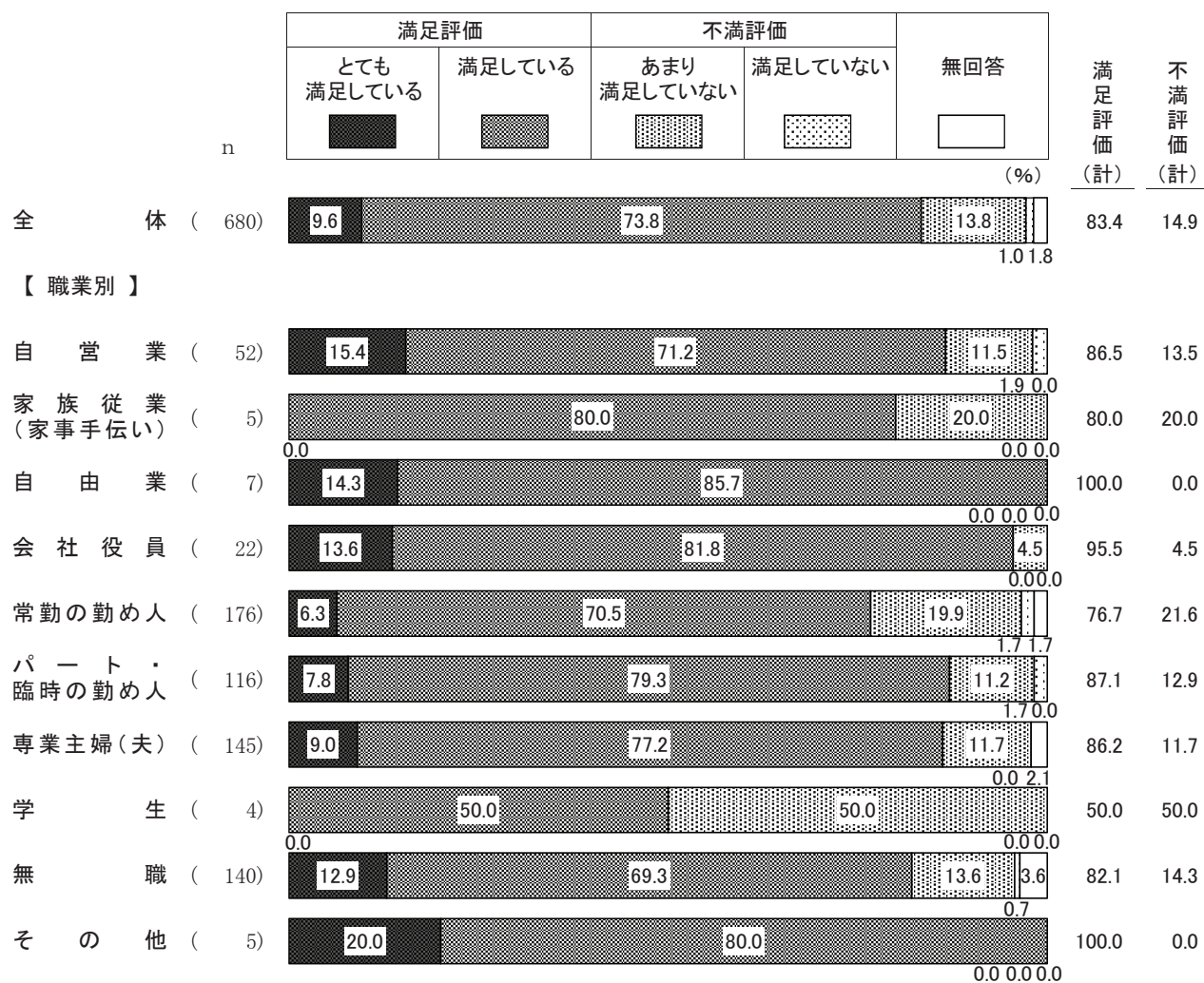
図1-11-7 『ねりま区報』の満足度－性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『満足評価』は女性30歳代を除く性・年代で8割を超えている。『不満評価』は女性30歳代で2割を超えて多くなっている。(図1-11-7)

図 1-11-8 『ねりま区報』の満足度—職業別



職業別にみると、『満足評価』は常勤の勤め人を除く職業で8割を超えている。一方、『不満評価』は常勤の勤め人で2割を超えて多くなっている。(図 1-11-8)

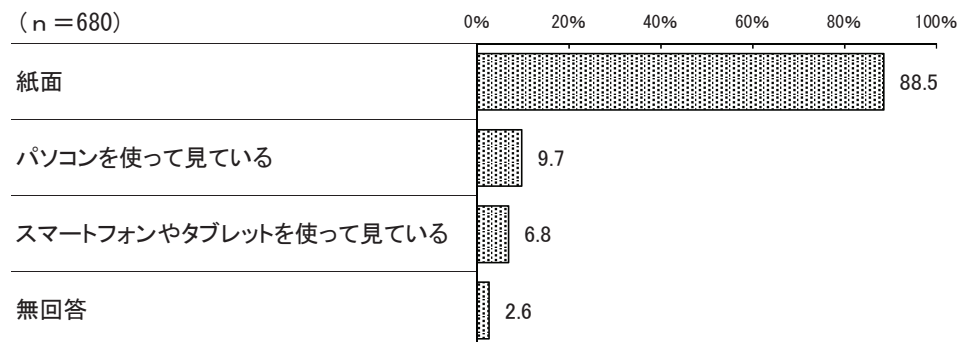
(11-2) 『ねりま区報』の閲覧手段

◇「紙面」が9割近く

(問14で「1 詳しく読んでいる」または「2 必要な記事は読んでいる」と答えた方へ)

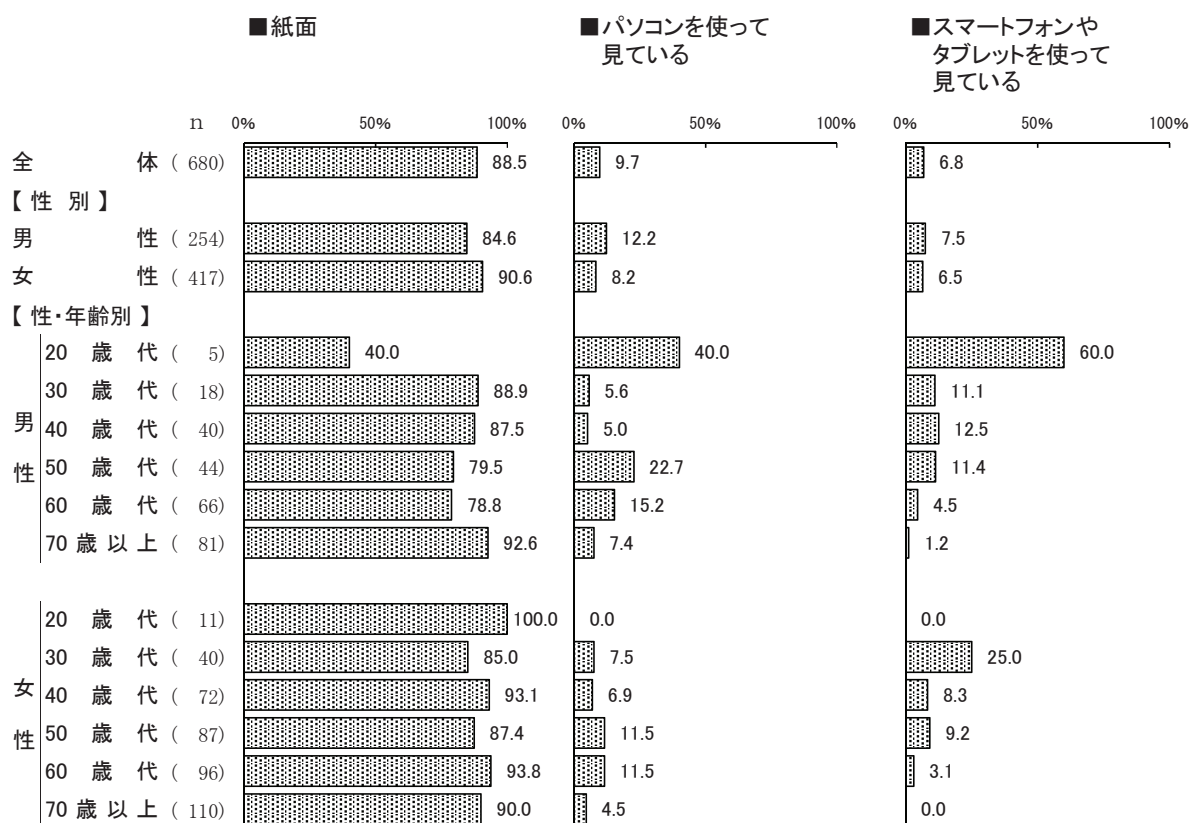
問14-2 『ねりま区報』は、紙面のほかにインターネットを使って区ホームページからもご覧になることができます。区報をどのような手段でご覧になっていますか。(〇はいくつでも)

図1-11-9 『ねりま区報』の閲覧手段



『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(680人)に、『ねりま区報』の閲覧手段を聞いたところ、「紙面」(88.5%)が9割近くと最も多く、「パソコンを使って見ている」(9.7%)が約1割、「スマートフォンやタブレットを使って見ている」(6.8%)が1割未満となっている。(図1-11-9)

図1-11-10 『ねりま区報』の閲覧手段－性別／性・年齢別



性別にみると、「紙面」は女性の方が6.0ポイント高く、「パソコンを使って見ている」は男性の方が4.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「紙面」は男性70歳以上、女性40歳代・60歳代・70歳以上で9割を超えて多くなっている。「パソコンを使って見ている」は男性50歳代で2割を超え、「スマートフォンやタブレットを使って見ている」は女性30歳代で2割台半ばと多くなっている。

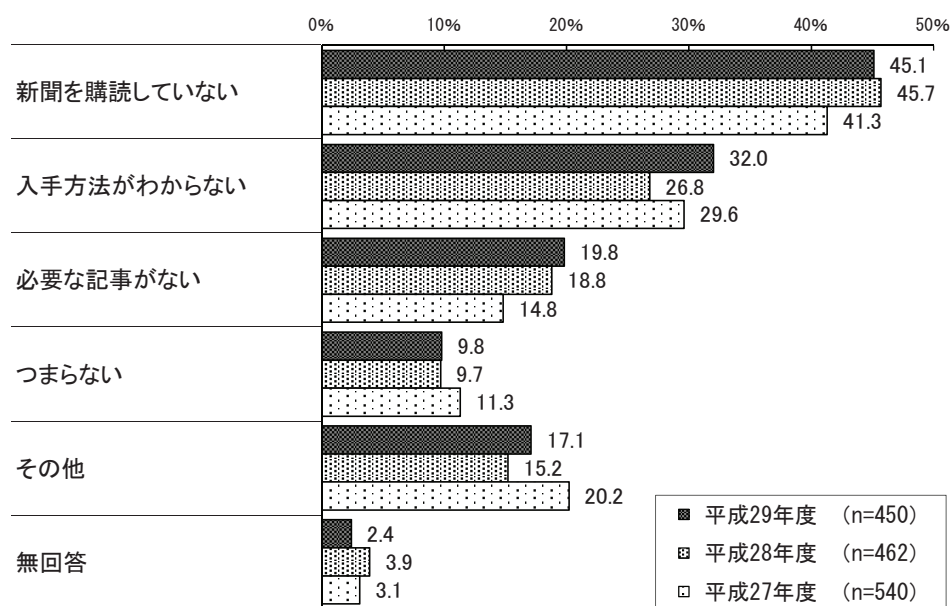
(図1-11-10)

(11-3) 『ねりま区報』を読んでいない理由

◇「新聞を購読していない」が4割台半ば

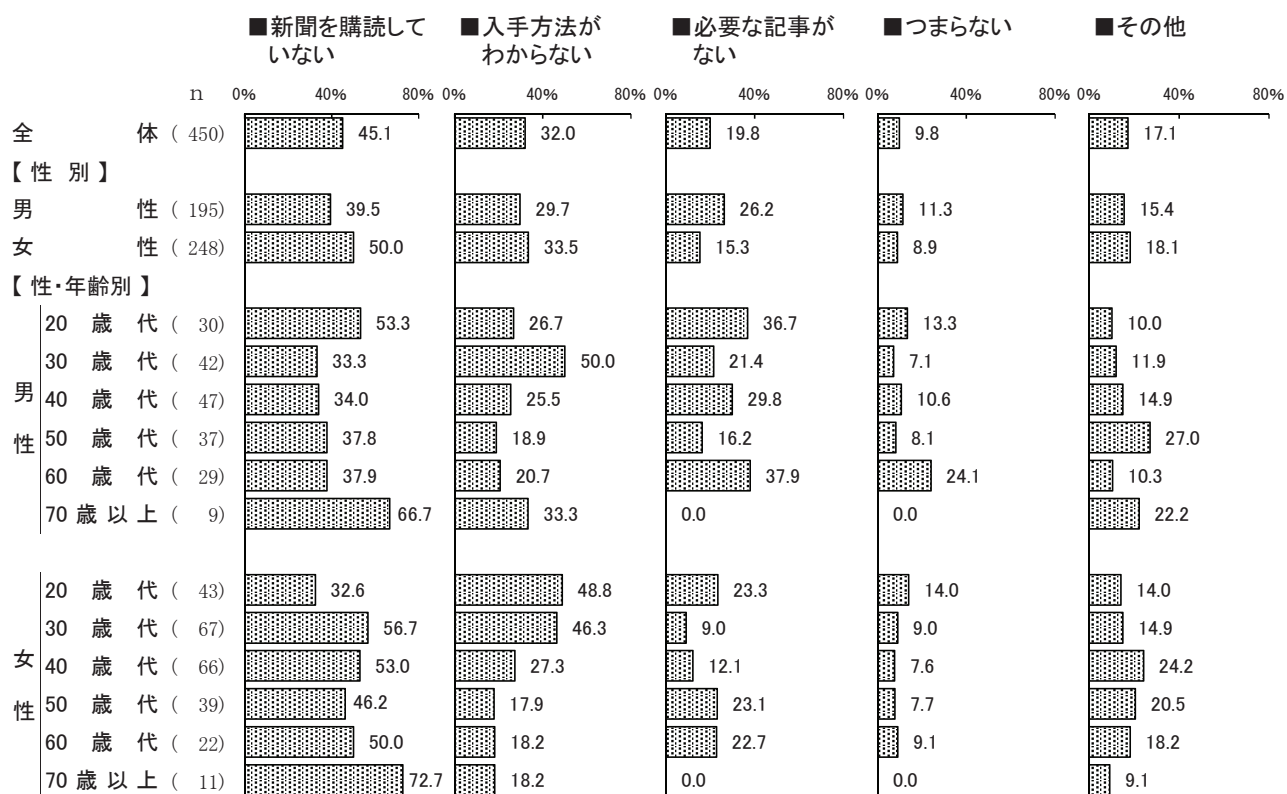
(問14で「3 あまり読んでいない」または「4 まったく読んでいない」と答えた方へ)
 問14-3 あなたが、『ねりま区報』を読んでいない理由はなぜですか。
 (〇はいくつでも)

図1-11-11 『ねりま区報』を読んでいない理由



『ねりま区報』を「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」と答えた方(450人)に、その理由を聞いたところ、「新聞を購読していない」(45.1%)が4割台半ばと最も多く、次いで「入手方法がわからない」(32.0%)、「必要な記事がない」(19.8%)、「つまらない」(9.8%)の順となっている。(図1-11-11)

図 1-11-12 『ねりま区報』を読んでいない理由—性別／性・年齢別



性別にみると、「新聞を購読していない」は女性の方が10.5ポイント高くなっている。「必要な記事がない」は男性の方が10.9ポイント高くなっている。

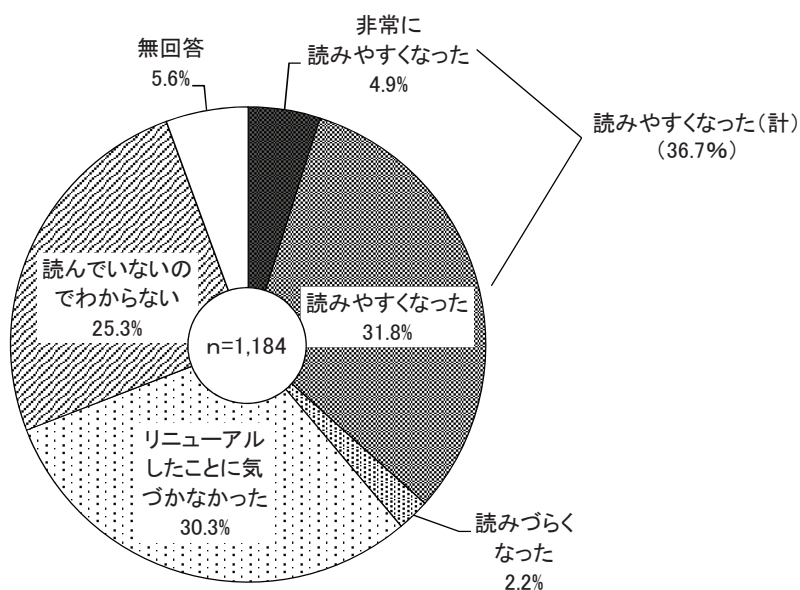
性・年齢別にみると、「新聞を購読していない」は女性30歳代・40歳代で5割を超えて多くなっている。「入手方法がわからない」は男性30歳代で5割、女性20歳代で5割近く、女性30歳代で4割台半ばと多くなっている。(図1-11-12)

(11-4) リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象

◇『読みやすくなった』が3割台半ば、「リニューアルしたことに気づかなかった」が約3割

問15 『ねりま区報』は、時代の流れとともにヨコ書きの記事が大半を占めてきたため、29年1月からヨコ書きに統一し左とじに変更し、題字を含めたリニューアルをしました。また、今まで以上に読者を意識した特集記事を掲載しています。リニューアル後の『ねりま区報』についてどう思いますか。(○は1つ)

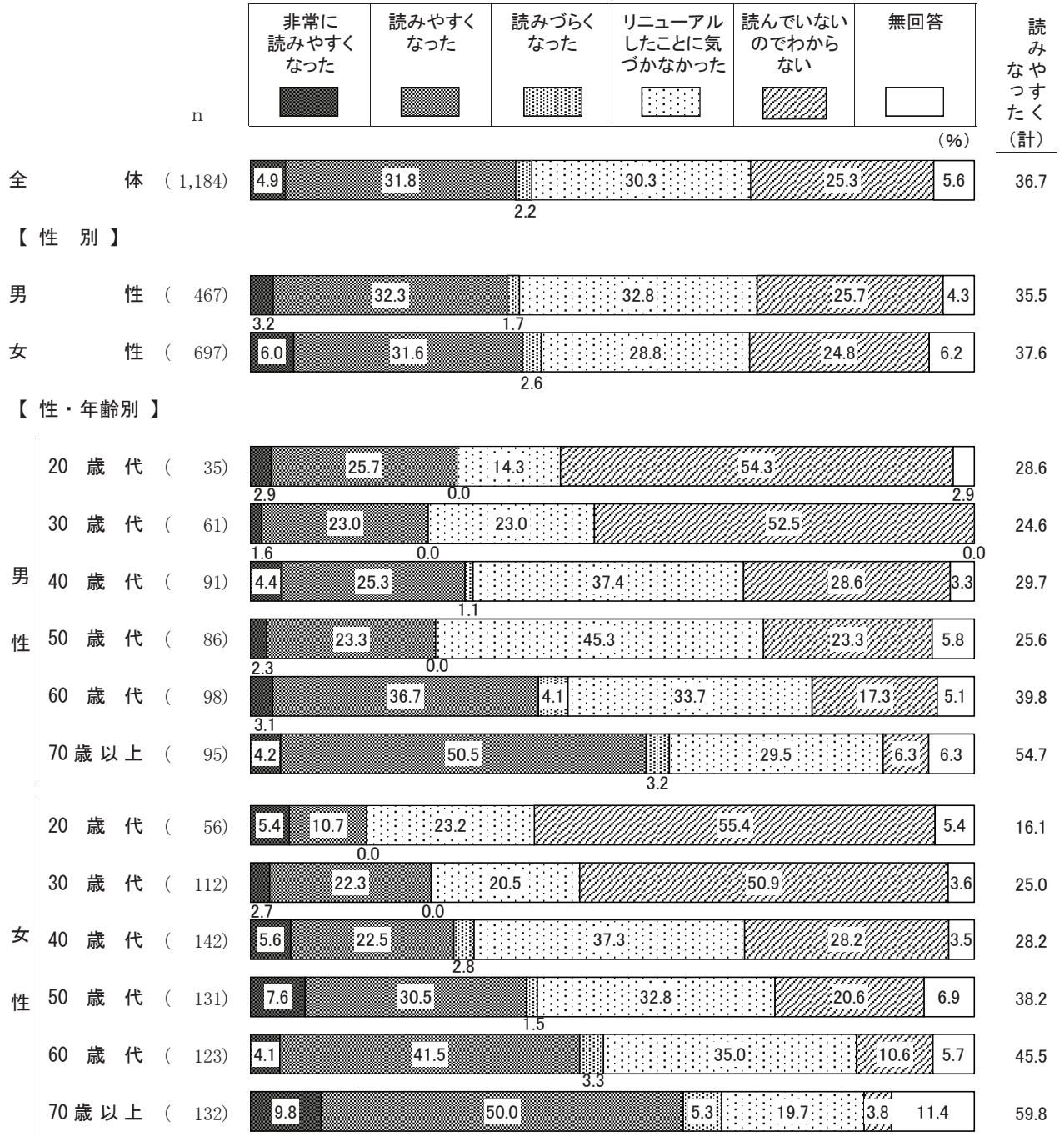
図1-11-13 リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象



リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象を聞いたところ、「非常に読みやすくなった」(4.9%)と「読みやすくなった」(31.8%)を合わせた『読みやすくなった』(36.7%)は3割台半ばとなっている。一方、「読みづらくなった」(2.2%)は1割に満たない。「リニューアルしたことに気づかなかった」(30.3%)は約3割となっている。

(図1-11-13)

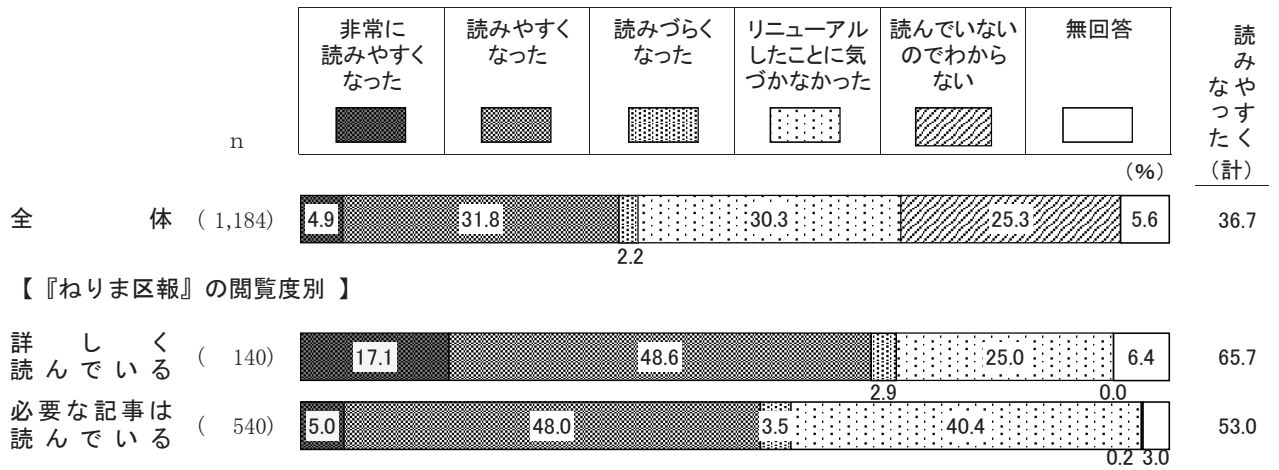
図 1-11-14 リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象—性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『読みやすくなった』は女性70歳以上で約6割、男性70歳以上で5割台半ば、女性60歳代で4割台半ばと多くなっている。(図 1-11-14)

図1-11-15 リニューアル後の『ねりま区報』の読みやすさの印象－『ねりま区報』の閲覧度別



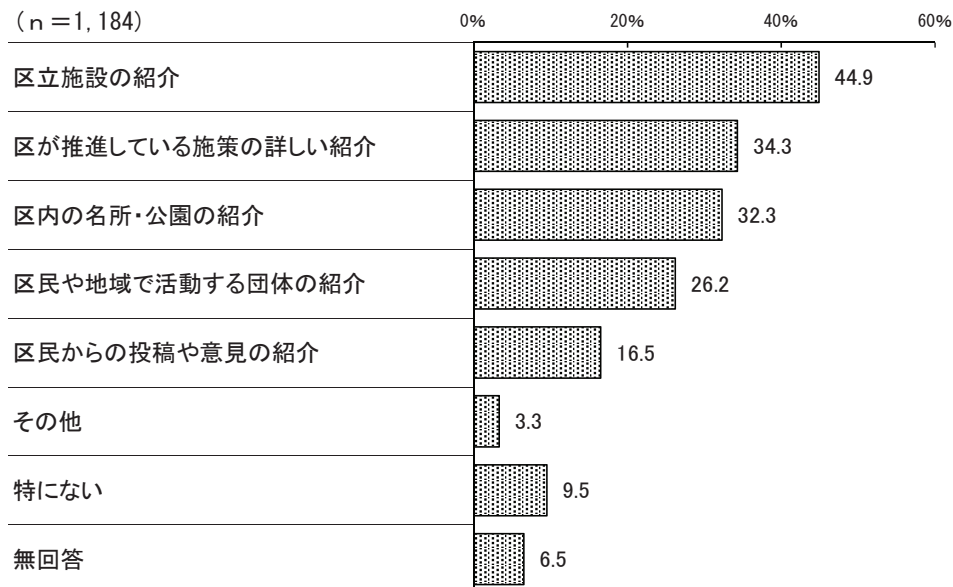
『ねりま区報』の閲覧度別にみると、『読みやすくなった』は詳しく読んでいる人で6割台半ば、必要な記事は読んでいる人で5割を超えている。(図1-11-15)

(11-5) 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容(企画)

◇「区立施設の紹介」が4割台半ば

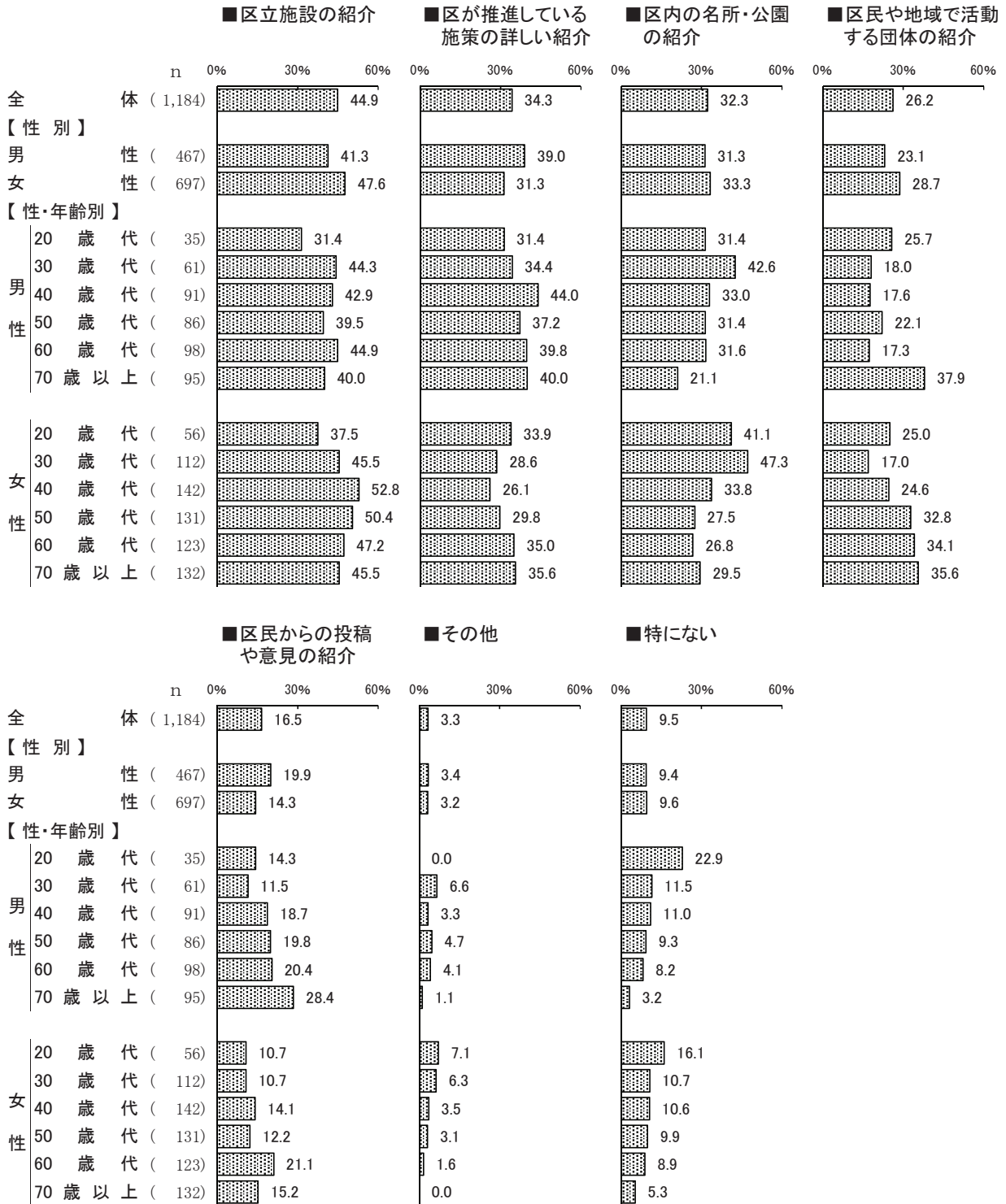
問16 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容(企画)はありますか。
次の中から2つまで、右の欄に番号をご記入ください。(2つまで)

図1-11-16 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容(企画)



『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容(企画)を聞いたところ、「区立施設の紹介」(44.9%)が4割台半ばと最も多く、次いで「区が推進している施策の詳しい紹介」(34.3%)、「区内の名所・公園の紹介」(32.3%)、「区民や地域で活動する団体の紹介」(26.2%)などの順となっている。(図1-11-16)

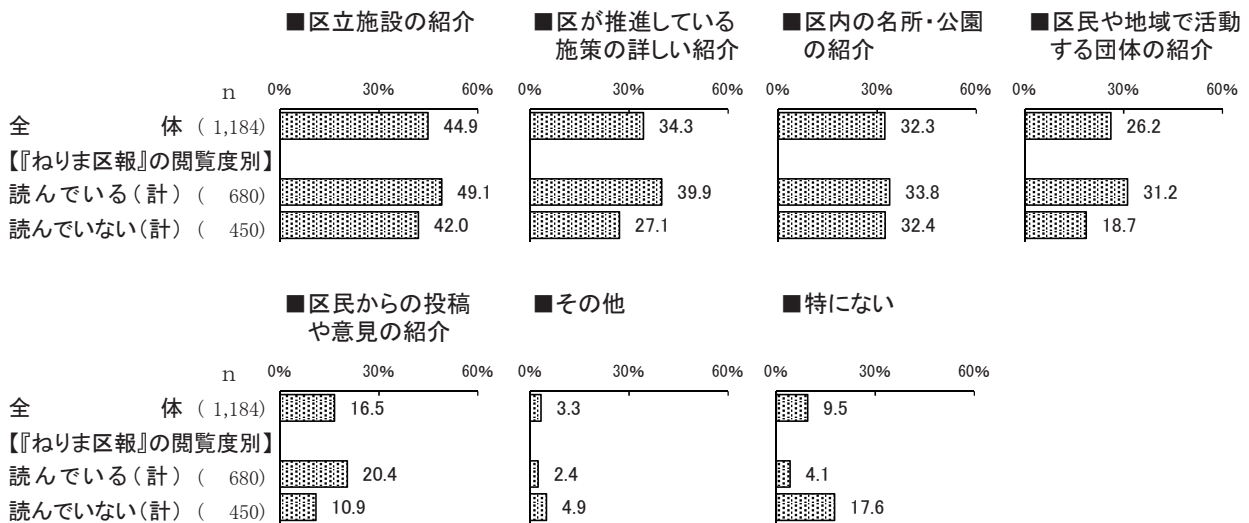
図1-11-17 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）－性別／性・年齢別



性別にみると、「区が推進している施策の詳しい紹介」は男性の方が7.7ポイント、「区民からの投稿や意見の紹介」は男性の方が5.6ポイント高く、「区立施設の紹介」は女性の方が6.3ポイント、「区民や地域で活動する団体の紹介」は女性の方が5.6ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「区立施設の紹介」は女性40歳代・50歳代で5割を超えて多くなっている。「区が推進している施策の詳しい紹介」は男性40歳代で4割台半ば、男性70歳以上で4割と多くなっている。「区内の名所・公園の紹介」は女性30歳代で5割近く、男性30歳代、女性20歳代で4割を超えて多くなっている。(図1-11-17)

図 1-11-18 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）－『ねりま区報』の閲覧度別



『ねりま区報』の閲覧度別にみると、読んでいる（計）は読んでいない（計）に比べ、全般に割合が多く、読んでいる（計）は「区立施設の紹介」が約5割、「区が推進している施策の詳細な紹介」が約4割と多くなっている。（図1-11-18）

(12) 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度

◇「知っている」が3割近く、「知らない」が7割近く

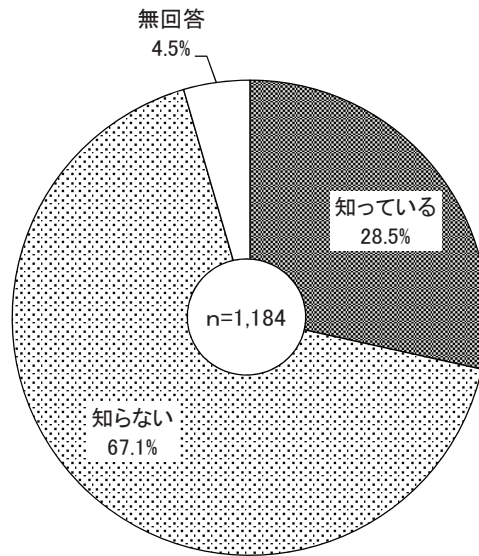
問17 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を知っていますか。

(○は1つ)

※練馬区情報番組『ねりまほっとライン』は、ケーブルテレビJ：COM東京（デジタル：11チャンネル）で毎日放映しています。区の事業やできごとなどを紹介し、区民のみなさまに、区政に関心を持っていただくことを目的としています。

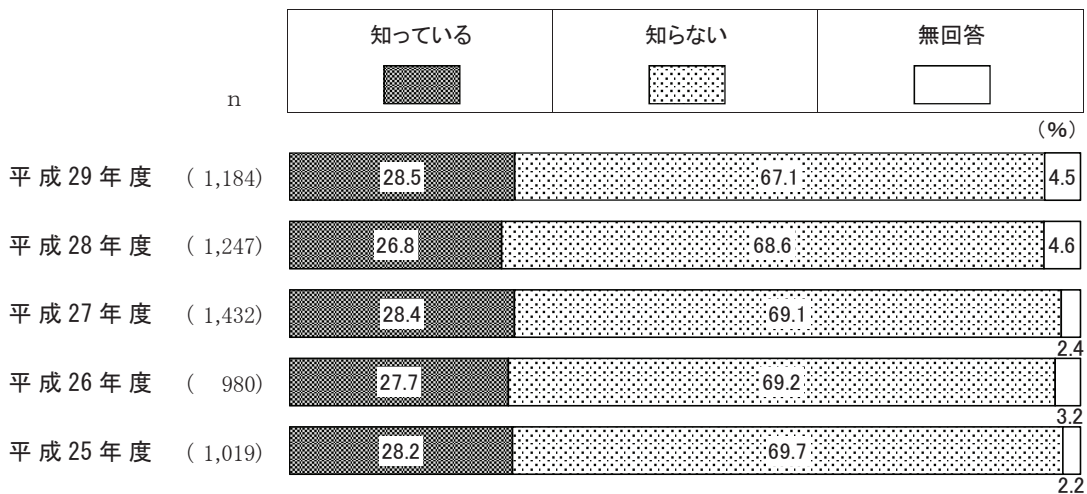
※放送時間は、毎日9時、正午、午後8時の3回です（1回15分）。

図1-12-1 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度



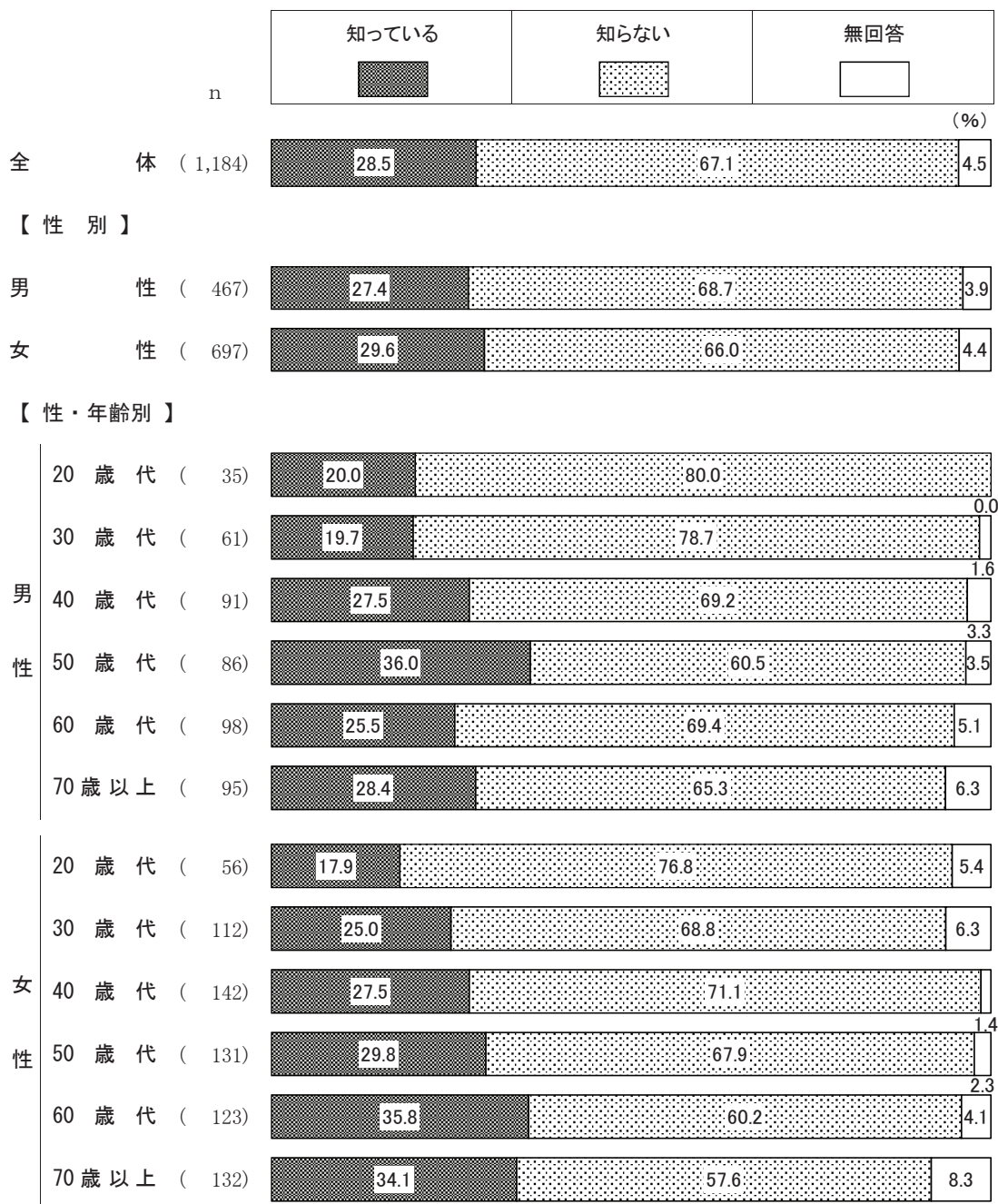
『練馬区情報番組ねりまほっとライン』を知っているか聞いたところ、「知っている」(28.5%)は3割近くとなっている。一方、「知らない」(67.1%)は7割近くとなっている。(図1-12-1)

図1-12-2 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度—過年度比較



過去の調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-12-2)

図 1-12-3 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度—性別／性・年齢別



性別にみると、「知っている」は女性の方が2.2ポイント高く、約3割となっている。

性・年齢別にみると、「知っている」は男性50歳代、女性60歳代・70歳以上で3割台半ばと多くなっている。「知らない」は男性20歳代で8割、女性20歳代で7割台半ばと多くなっている。(図1-12-3)

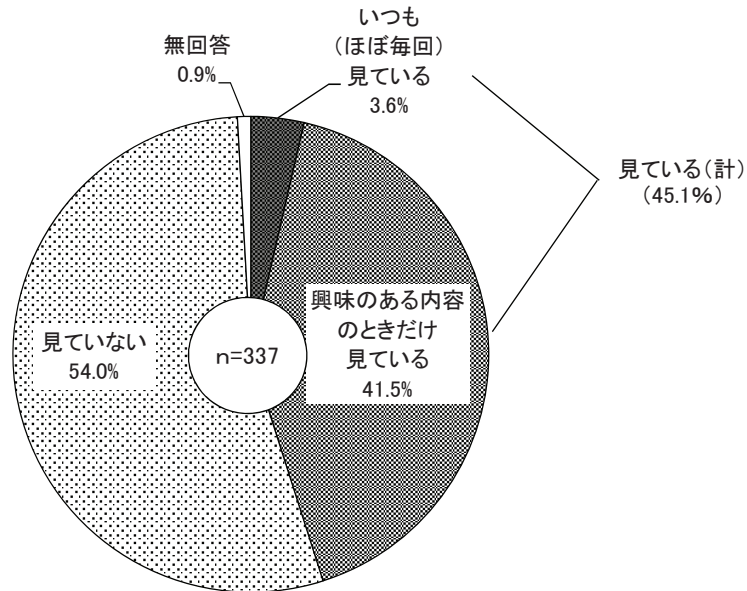
(12-1) 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度

◇『見ている』が4割台半ば、「見ていない」は5割台半ば

(問17で「1 知っている」と答えた方へ)

問17-1 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を見ていますか。
(○は1つ)

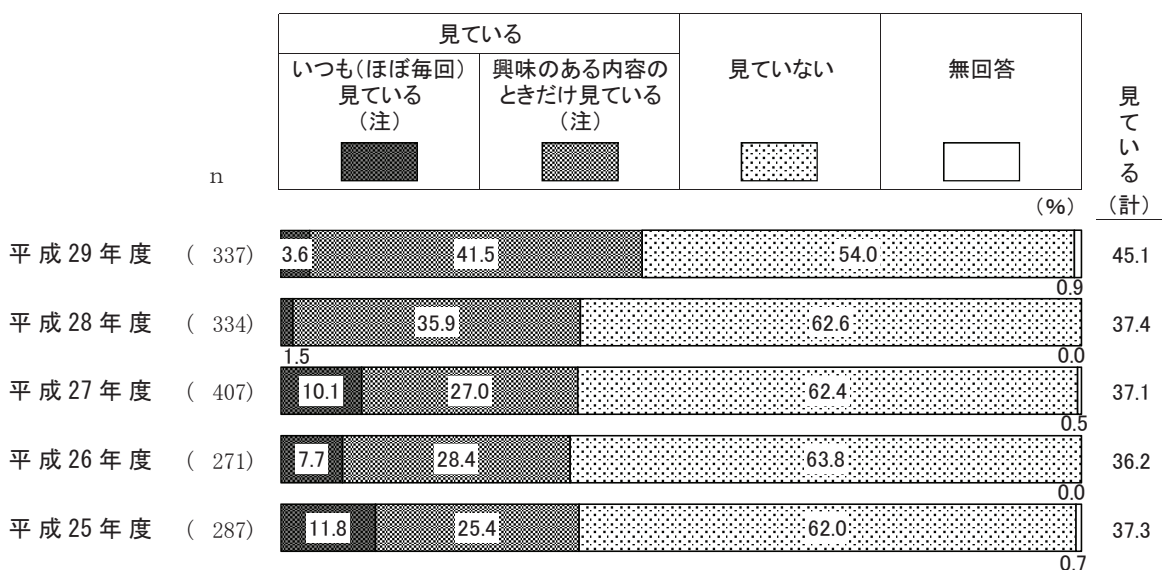
図1-12-4 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度



『練馬区情報番組ねりまほっとライン』を「知っている」と答えた方(337人)に、番組の視聴度を聞いたところ、「いつも(ほぼ毎回)見ている」(3.6%)と「興味のある内容のときだけ見ている」(41.5%)を合わせた『見ている』(45.1%)は4割台半ばとなっている。

(図1-12-4)

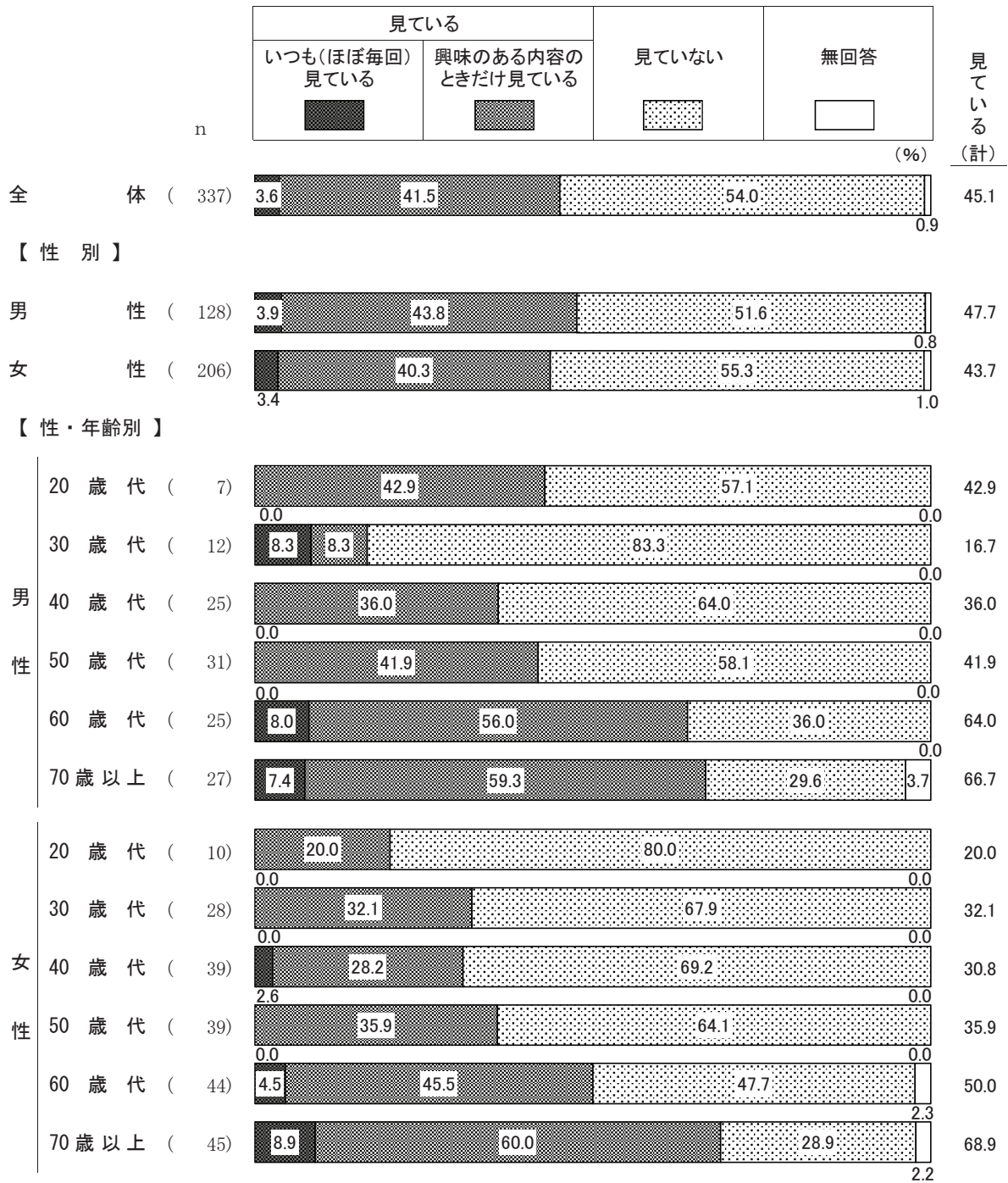
図1-12-5 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度一過年度比較



(注) 平成27年度以前は「いつも(ほぼ毎回)見ている」は「見ている」、「興味のある内容のときだけ見ている」は「面白そうなコーナーだけ見ている」としていた。

過去の調査と比較すると、『見ている』は前回調査(平成28年度)より7.7ポイント増加している。(図1-12-5)

図 1-12-6 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度—性別／性・年齢別



性別にみると、「見ている」は男性の方が4.0ポイント高く、5割近くとなっている。

性・年齢別にみると、『見ている』は女性70歳以上で7割近くと多くなっている。

(図 1-12-6)